

Nikon

デジタルカメラ

Z 7

Z 6

使用説明書

※ この説明書は、カメラのファームウェアがVer.3.00以上であることを前提に操作の説明を行っています。最新のファームウェアはニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- 「安全上のご注意」(ixページ)も必ずお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。



詳細な操作説明はこちらをご覧ください。

ニコン オンラインマニュアル Z7  Z6 

このカメラには、目的別に3種類の説明書を用意しています。

✓ 使用説明書 (本書)

基本操作や特徴的な機能について説明しています。

- 目次iv
- 各部の名称と機能 1
- 準備をする 27
- 撮影と再生の基本操作 41
- カメラの基本機能と設定 52
- ボタンなどを使った応用撮影 71
- **i**メニューを使う 95
- メニュー一覧 125
- 困ったときは 159



✓ ネットワークガイド (PDF)

カメラをパソコンやスマートフォンと無線で接続する方法や、ワイヤレストランスミッター WT-7 を使用してできることなどを説明しています。



■ ネットワークガイドは、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

ニコン ダウンロードセンター Z7 🔍 Z6 🔍

Z7 : https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/492/Z_7.html

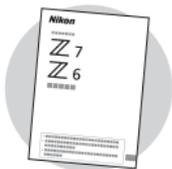
Z6 : https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/493/Z_6.html

Z7 Model Name: N1710

Z6 Model Name: N1711

活用ガイド (PDF)

使用説明書(本書)の内容に加え、メニューの説明や他の機器との接続などが詳しく記載されています。



■ 活用ガイドの主な内容

- 撮影と再生の基本操作
- 応用撮影
- カメラのメニューガイド
- パソコン、プリンター、HDMI機器との接続
- 別売スピードライトを使用した撮影など



※ 無線ネットワーク関連については「ネットワークガイド」をご覧ください。

■ 活用ガイド (PDF) は、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

ニコン ダウンロードセンター Z 7  Z 6 

Z 7 : https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/492/Z_7.html



Z 6 : https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/493/Z_6.html



■ 活用ガイドの内容は、オンライン (HTML) でも閲覧できます。

ニコン オンラインマニュアル Z 7  Z 6 

https://onlinemanual.nikonimglib.com/z7_z6/ja/



カメラと付属品を確認する

万一、付属品がそろっていない場合は、ご購入店にご連絡ください。



ボディーキャップBF-N1



接眼目当てDK-29
(カメラに装着済み)
(☐190)

カメラ本体

Li-ionリチャージャブルバッテリー
EN-EL15b (端子カバー付)

バッテリーチャージャー MH-25a
(電源プラグ (直付け型) 付)

HDMI/USBケーブルクリップ (☐192)

ストラップ (☐27)

保証書

使用説明書 (本書)

USBケーブルUC-E24

アクセサリーシュー
カバー BS-1 (☐193)

- メモリーカードは別売です。
- レンズキットの場合はレンズも付属しています。別紙でレンズの使用説明書が入っている場合もあります。
- マウントアダプターキットの場合はマウントアダプターも付属しています。別紙でマウントアダプターの使用説明書が入っている場合もあります。
- 日本国内でご購入いただいたカメラは、画面の表示言語を日本語または英語に設定できます。

ニコンダウンロードセンターについて

デジタルカメラやニッコールレンズ、スピードライトなどの説明書、ファームウェアおよびNX Studioなどのソフトウェアをダウンロードできます。

<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>



本書について

■ 文中のマークについて

この使用説明書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことなどを記載しています。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。



使用説明書上で関連情報が記載されているページです。

■ 表記について

- Z7とZ6の操作説明は共通です。この使用説明書では、カメラのイラストや画面表示などはZ7を使用して説明しています。
- このカメラではXQDメモリーカードおよびCFexpressメモリーカード(Type B)が使用できます。
- この使用説明書では、XQDメモリーカードおよびCFexpressメモリーカードを「メモリーカード」と表記しています。ただし、XQDメモリーカードとCFexpressメモリーカードを区別して説明する必要がある場合は、それぞれ「XQDカード」と「CFexpressカード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- 撮影時の画像モニターとファインダーの表示を「撮影画面」と表記しています。イラストは主に画像モニターの表示を使用しています。
- この使用説明書では、スマートフォンおよびタブレットを「スマートフォン」と表記しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。この使用説明書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。

⚠ 安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくはix~xiiをご覧ください。

目次

カメラと付属品を確認する.....	ii
安全上のご注意.....	ix
ご確認ください.....	xiii

各部の名称と機能 **1**

各部の名称.....	1
カメラ本体.....	1
表示パネル.....	5
画像モニター / ファインダー.....	6
各部の機能と基本的な操作.....	8
ファインダー.....	8
モニターモード切り換えボタン.....	8
タッチパネル.....	10
DISP ボタン.....	15
サブセレクター.....	16
AF-ON ボタン.....	16
メインコマンドダイヤル / サブコマンドダイヤル.....	17
MENU ボタン.....	17
i ボタン (i メニュー).....	21
Fn1/Fn2 ボタン.....	24

準備をする **27**

ストラップを取り付ける.....	27
バッテリーを充電する.....	28
チャージャーを使用して充電する.....	28
本体充電 AC アダプターを使用して充電する.....	29
バッテリーとメモリーカードを入れる.....	31
レンズを取り付ける.....	35
日付と時刻を設定する.....	37

撮影と再生の基本操作

41

静止画を撮影する (AUTO オート)	41
動画を撮影する (AUTO オート)	45
動画モード中の静止画撮影	47
撮影した画像を確認する	49
動画の再生	49
画像の削除	51

カメラの基本機能と設定

52

ピント合わせの設定	52
フォーカスモード	52
AF エリアモード	54
タッチシャッター	60
マニュアルフォーカスでのピントの合わせ方	61
ホワイトバランス	63
ホワイトバランスの設定方法	63
サイレント撮影	67
撮影した画像のレーティング設定	69
撮影した画像のプロテクト	70

ボタンなどを使った応用撮影

71

撮影モードダイヤル	71
撮影モードの設定方法	71
P (プログラムオート)	72
S (シャッター優先オート)	72
A (絞り優先オート)	73
M (マニュアル)	74
U1、U2、U3 (ユーザーセッティングモード)	76
長時間露出で撮影する (撮影モード M のみ)	79
ISO ボタン	81
ISO 感度の設定方法	81
感度自動制御機能	83

☒ (露出補正) ボタン	84
露出補正の設定方法	84
☑ (☺) (リリースモード、セルフタイマー) ボタン	86
リリースモードの設定方法	86
セルフタイマー撮影	90
サブセレクター	91
フォーカスポイントの移動	91
AE ロック	91
フォーカスロック	91
AE ロック / フォーカスロックの方法	92

i メニューを使う

95

i メニューについて	95
静止画モード	96
ピクチャーコントロール	96
ホワイトバランス	100
画質モード	106
画像サイズ	107
フラッシュモード	108
測光モード	109
Wi-Fi 通信機能	110
アクティブ D-ライティング	111
リリースモード	112
手ブレ補正	113
AF エリアモード	114
フォーカスモード	114
動画モード	115
ピクチャーコントロール	116
ホワイトバランス	116
画像サイズ / フレームレート / 画質	116
マイク感度	119
撮像範囲設定	120
測光モード	121

Wi-Fi 通信機能	121
アクティブ D-ライティング	121
電子手ブレ補正	122
手ブレ補正	122
AF エリアモード	122
フォーカスモード	123

メニュー一覧

125

ヒント：メニューの詳細について

各メニュー項目についての詳しい説明は活用ガイドまたはオンラインマニュアルをご覧ください。

活用ガイド：

Z7：https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/492/Z_7.html



Z6：https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/493/Z_6.html



オンラインマニュアル：

https://onlinemanual.nikonimglib.com/z7_z6/ja/



▶ 再生メニュー	125
📷 静止画撮影メニュー	127
🎬 動画撮影メニュー	135
✍️ カスタムメニュー	141
🔧 セットアップメニュー	150
📄 画像編集メニュー	156
☰ マイメニュー / 🔄 最近設定した項目	158

困ったときは

159

故障かな？と思ったら	160
警告メッセージ	167

全画面表示	173
画像モニター	173
ファインダー	178
表示パネル	181
使用できるスピードライト	182
ニコンクリエイティブライティングシステム (CLS) について	182
使用できるアクセサリ	188
カメラとパワーコネクター、AC アダプターの 接続方法	194
カメラのお手入れについて	196
保管について	196
クリーニングについて	196
撮像素子のお手入れについて	197
撮像素子前面をブローで掃除する	199
カメラとバッテリーの使用上のご注意	201
主な仕様	207
NIKKOR Z 24–70mm f/4 S 使用説明書	220
マウントアダプター FTZ 使用説明書	227
使用できるメモリーカード	234
記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数	235
撮影可能コマ数 (電池寿命) について	237
Wi-Fi (無線 LAN) 機能 /Bluetooth 機能について	239
索引	242
修理サービスのご案内	254
ニコンプラザについて	255

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

- | | | |
|---|-----------|---------------------------------|
|  | 危険 | 「死亡または重傷を負うおそれ大きい内容」です。 |
|  | 警告 | 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。 |
|  | 注意 | 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

- | | |
|---|--------------------|
|  | は、してはいけない内容です。 |
|  | は、実行しなければならない内容です。 |

警告

- | | | |
|---|------------------|---|
|  | 禁止 | 歩きながらや運転・操縦しながらの操作はしない
事故やけがの原因になります。 |
|  | 分解
禁止 | 分解、修理または改造をしない
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。 |
|  | 実行 | 熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電源を取り外す
放置すると、発火、やけどの原因になります。 |
|  | 禁止 | 水でぬらさない
ぬれた手で触らない
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電や発火の原因になります。 |
|  | 禁止 | 電源を入れたまま長時間直接触らない
低温やけどの原因になります。 |

 **禁止** 引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。

 **禁止** レンズで直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障害の原因になります。

 **禁止** フラッシュやAF補助光を運転者にむけて発光しない
事故の誘発につながります。

 **禁止** 幼児の手の届くところに置かない
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

 **禁止** ストラップ類を首に巻きつけない
事故の原因になります。

指定外の電池、充電器、ACアダプターは使わない
指定の電池、充電器、ACアダプターを使う際は、以下の点に注意する

 **禁止**

- コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない
- 重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、無理に曲げたりしない
- 海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わない

発火、感電の原因になります。

 **禁止** 充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触らない
感電の原因になります。

 **接触禁止** 高温環境や低温環境では、直接触らない
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

注意

 **禁止** レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない
集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。
逆光撮影では、太陽を画角から十分にすらしてください。
画角から太陽をわずかに外しても、発火の原因になります。

**実行**

使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする
無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しない
ようにする
医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に
悪影響を与えるおそれがあります。

**実行**

長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す
故障や発火の原因になります。

**接触
禁止**

フラッシュを人体やものに密着させて発光させない
やけどや発火の原因になります。

**禁止**

夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない
故障や発火の原因になります。

**禁止**

AF補助光を直接見ない
視覚に悪影響を及ぼすことがあります。

**禁止**

三脚などにカメラやレンズを取り付けたまま移動しない
故障やけがの原因になります。

**危険**（電池について）

電池は誤った使いかたをしない
注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火
の原因になります。

**禁止**

- 充電電池は、専用の充電電池以外を使わない
- 電池を火の中に入れてたり、加熱したりしない
- 電池を分解しない
- 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させて
ショート（短絡）しない
- 電池、または電池の入った製品に強い衝撃を与えたり、投げた
りしない
- 電池に釘を刺したり、電池をハンマーで叩いたり、踏みつけたり
しない

**実行**

指定の方法で充電する
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

**実行**

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い
流し、医師の診察を受ける
放置すると、目に傷害を与える原因になります。

**実行**

航空機内に持ち込むときは、航空会社の指示に従う
超高度の気圧が低いところに放置すると、液もれ、発熱、破裂、
発火の原因になります。

**警告** (電池について)**禁止**

電池を乳幼児の手の届く所に置かない
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

**禁止**

電池をベットなどが触れる場所に置かない
噛みつきなどにより、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

**禁止**

水につけたり、雨にぬらしたりしない
発火や故障の原因になります。
ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってください。

**禁止**

変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない
リチャージャブルバッテリー EN-EL15bは、所定の時間を超えて
も充電が完了しなければ、充電を中止する
放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

**実行**

使用済みの電池は、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。

**実行**

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水で
洗い流す
放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、直ちに購入店にご請求ください。

●カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

<https://www.nikon-image.com/support/>

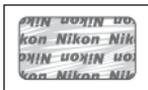
●大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（レンズ、スピードライト、バッテリー、チャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15bには、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



●説明書について

- 使用説明書、メニューガイドおよびオンラインマニュアルの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルをニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。
ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

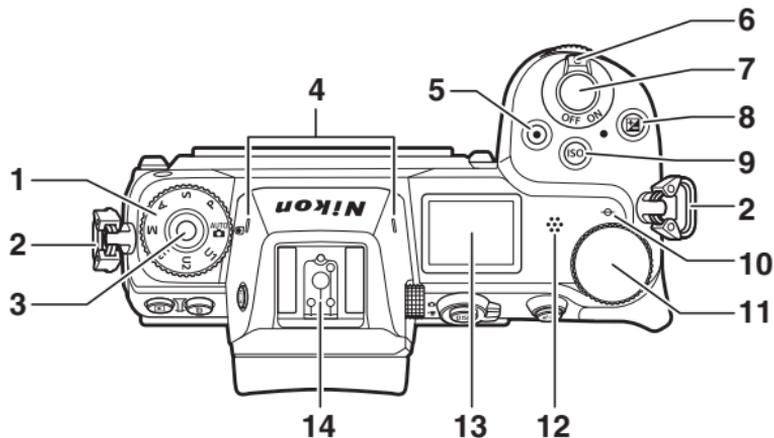
●著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合がありますのでご注意ください。

各部の名称と機能

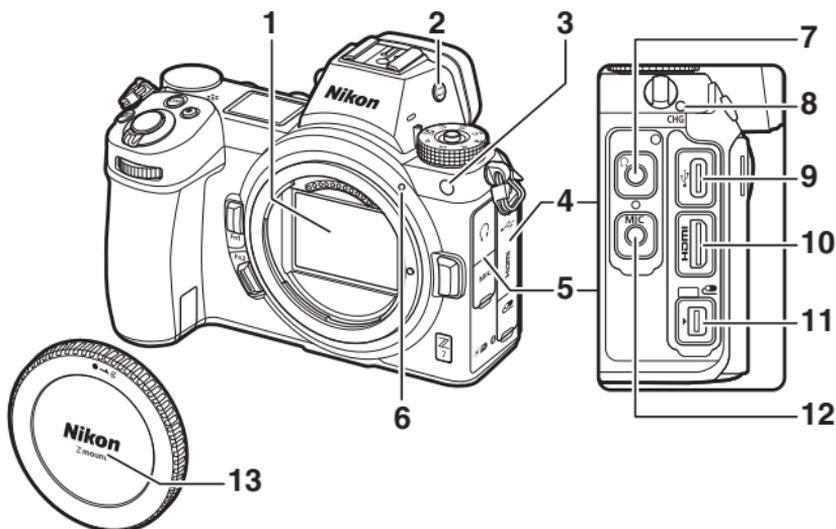
各部の名称

カメラ本体



1	撮影モードダイヤル..... 71	8	☑ボタン 84
2	ストラップ取り付け部 (吊り金具) 27	9	ISOボタン 81
3	撮影モードダイヤル ロックボタン 71	10	⊖ 距離基準マーク 62
4	マイク (ステレオ) 46	11	メインコマンドダイヤル 17
5	動画撮影ボタン 46	12	スピーカー 50
6	電源スイッチ 37、41	13	表示パネル 5、181
7	シャッターボタン 43	14	フラッシュ取り付け部 (アクセサリースュー) 182

カメラ本体（続き）

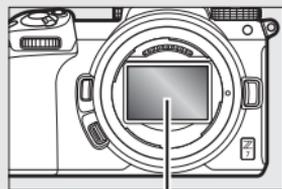


1	イメージセンサー (撮像素子)	197
2	モニターモード切り換えボタン	8、151
3	AF補助光ランプ	43、142
	赤目軽減ランプ	108
	セルフタイマーランプ.....	90
4	USB/HDMI/アクセサリ ターミナル端子カバー	

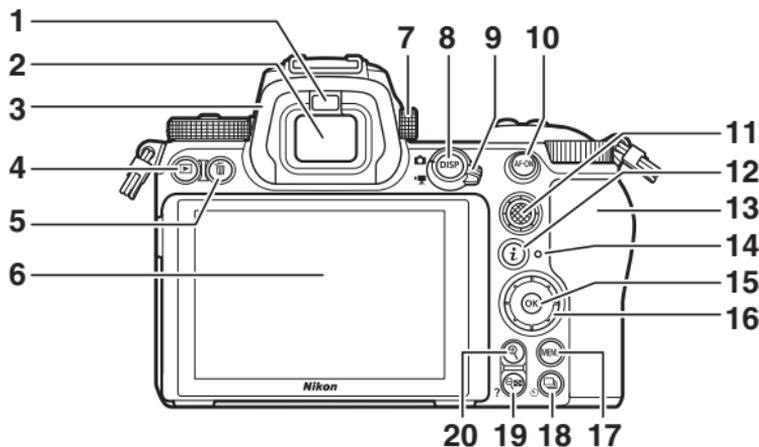
5	ヘッドホン/マイク端子カバー	
6	レンズ着脱指標.....	35
7	ヘッドホン出力端子	140
8	チャージLED.....	30
9	USB端子	189
10	HDMI端子	189
11	アクセサリターミナル	
12	外部マイク入力端子.....	190
13	ボディーキャップ	35

✓ 撮像素子に触れない

撮像素子を押さえたり、突いたり、プロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。撮像素子のお手入れについては□197をご覧ください。



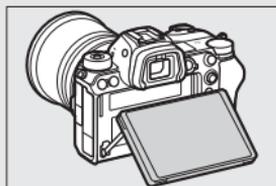
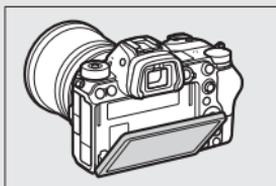
撮像素子



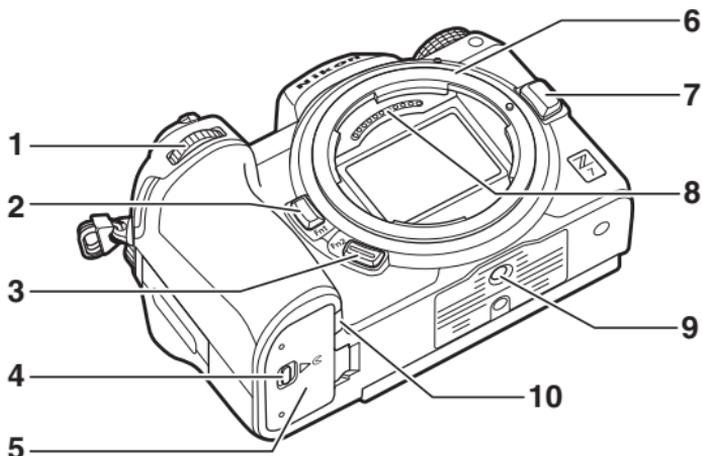
1	アイセンサー	8	12	i ボタン	21、95
2	ファインダー	8	13	メモリーカードカバー	31
3	接眼目当て	190	14	メモリーカード アクセスランプ	44、88
4	▶ ボタン	49	15	OK ボタン	18
5	⏪ ボタン	51	16	マルチセレクター	18
6	画像モニター	10、60	17	MENU ボタン	17、125
7	視度調節ノブ	8	18	☺ (☺) ボタン	86、90
8	DISP ボタン	15	19	☑ (?) ボタン	20
9	静止画/動画切り換えレバー	41、45	20	Q ボタン	50、61
10	AF-ON ボタン	16			
11	サブセレクター	16、91			

☑ 画像モニターについて

このカメラの画像モニターは、角度を変えて使用できます。



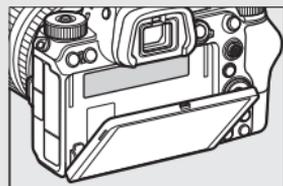
カメラ本体（続き）



1	サブコマンドダイヤル..... 17	6	レンズマウント..... 35、62
2	Fn1ボタン..... 24、63	7	レンズ取り外しボタン..... 36
3	Fn2ボタン..... 24、52	8	レンズ信号接点
4	バッテリー室開閉ノブ	9	三脚ネジ穴
5	バッテリー室カバー	10	パワーコネクタカバー 194

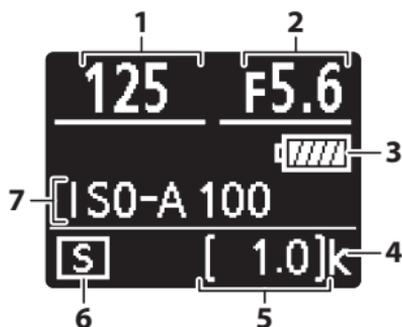
✓ 製品番号について

このカメラの製品番号は、画像モニターを開いて確認できます。



表示パネル

カメラの電源をONにすると、表示パネルが点灯します。ここでは初期設定で表示される内容のみ記載しています。表示パネルの全点灯画面については、□181をご覧ください。

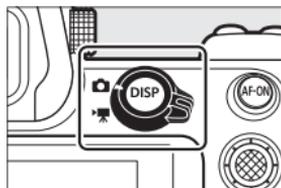


1	シャッタースピード.....72、74	5	記録可能コマ数.....33、235
2	絞り値.....73、74	6	レリーズモード.....86、112
3	バッテリー残量表示.....33	7	ISO感度.....81
4	1000コマ以上補助表示.....33		

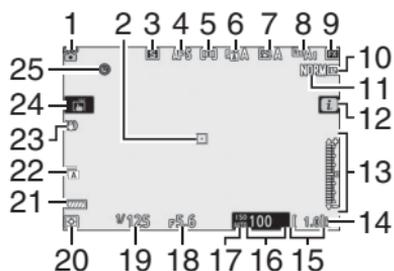
画像モニター / ファインダー

■ 静止画モードの場合

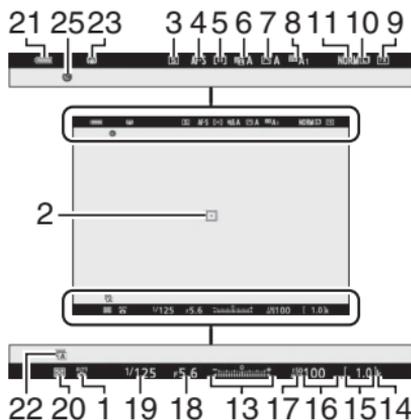
ここでは初期設定で表示される内容のみ記載しています。撮影画面の全点灯画面については、□173、178をご覧ください。



画像モニター



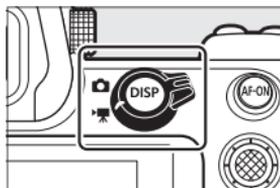
ファインダー



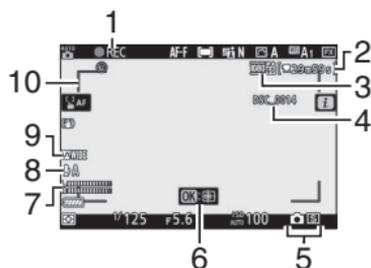
1	撮影モード	71
2	フォーカスポイント	42、54
3	レリーズモード	86
4	フォーカスモード	52
5	AFエリアモード	54
6	アクティブD-ライティング	111
7	ピクチャーコントロール	96
8	ホワイトバランス	63、100
9	撮像範囲	127
10	画像サイズ	107
11	画質モード	106
12	iメニュー	95
13	インジケーター	
	露出	75
	露出補正	84

14	1000コマ以上補助表示	33
15	記録可能コマ数	33、235
16	ISO感度	81
17	ISO感度マーク	81
	ISO-AUTOマーク	83
18	絞り値	73、74
19	シャッタースピード	72、74
20	測光モード	109
21	バッテリー残量表示	33
22	シャッター方式	144
23	手ブレ補正	113
24	タッチ撮影機能	10、60
25	⊕マーク	39

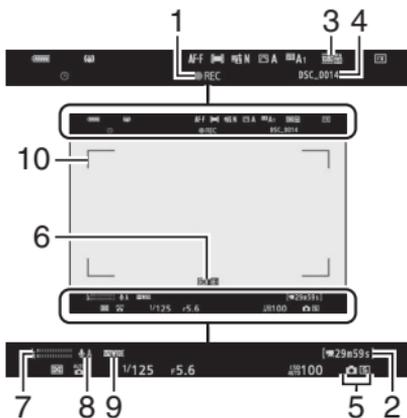
■ 動画モードの場合



画像モニター



ファインダー



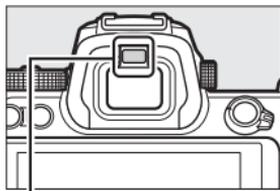
1	動画撮影中マーク	46
	動画撮影禁止マーク	47
2	動画撮影残り時間	46
3	画像サイズ/フレームレート/ 画質	116
4	ファイル名	127

5	静止画撮影のリリースモード	89
6	ターゲット追尾AF	59
7	音声レベルインジケータ	119
8	マイク感度	119
9	録音帯域	139
10	AFエリアフレーム	55

各部の機能と基本的な操作

ファインダー

- ファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応して、画像モニターの表示が消えてファインダー表示に切り替わります。指などを近づけてもアイセンサーが反応します。
- ファインダー表示時は、メニューや再生画面もファインダーで見ることができます。



アイセンサー

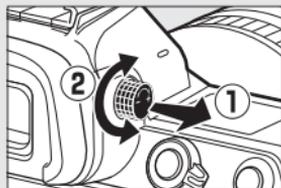
モニターモード切り換えボタン

ファインダーと画像モニターの表示設定を切り換えることができます。



✓ 視度調節ノブについて

- 視度調節ノブを引き出して回すと、ファインダー内がはっきり見えるように調節できます。
- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。
- 調節が終わった後は、視度調節ノブを押し込んで戻してください。



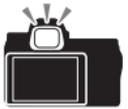
ヒント：長時間ファインダー撮影をする場合

カスタムメニュー d8 [Lvに撮影設定を反映] を [しない] に設定すると、撮影画面が見やすい色味や明るさで表示されます。

ヒント：使用するモニターモードを限定する

セットアップメニュー [モニターモードの限定] で表示設定を限定できます。

ボタンを押すたびに、次のようにモニターモードが切り替わります。

自動表示切り換え	アイセンサーにより、ファインダーの表示と画像モニターの表示が自動的に切り替わります。	
ファインダーのみ	画像モニターには何も表示されなくなります。メニューの設定や撮影した画像の確認などもすべてファインダーで行ってください。	
モニターのみ	画像モニターのみを使用して撮影や設定をする場合に選びます。ファインダーに顔を近づけてもファインダーには何も表示されません。	
ファインダー優先	これまでのデジタル一眼レフカメラと似た動作になります。 <ul style="list-style-type: none">• 静止画モードの場合、ファインダーに顔を近づけるとファインダーに撮影画面が表示されますが、顔を離しても画像モニターには撮影画面は表示されません。• メニュー画面や再生画面、動画モードの撮影画面は、アイセンサーにより自動的に切り替わります。	

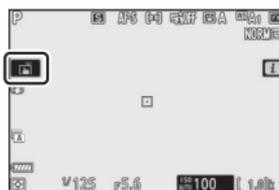
タッチパネル

このカメラの画像モニターはタッチパネルになっており、指で画面に触れて操作できます。ファインダーを見ながら撮影する場合はタッチ操作は無効になり、ピント合わせなどは行えません。



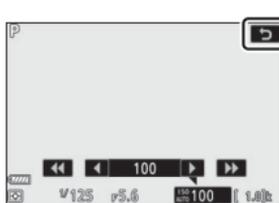
■ ピントを合わせる/シャッターをきる

- 画像モニターをタッチすると、その場所にピントを合わせます（タッチAF）。
- 静止画モードの場合はピント合わせ後に指を放すとシャッターがきれます（タッチシャッター）。
-  をタッチすると、タッチ AF やタッチシャッターの設定を変更できます（60）。



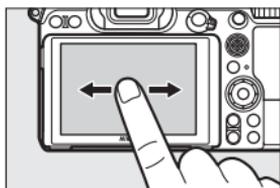
■ 設定を変更する

- 枠が表示されたアイコンにタッチすると、設定を変更できます。
- アイコンやスライダーにタッチして項目や数値を選びます。
-  をタッチするか  ボタンを押すと設定を決定して前の画面に戻ります。

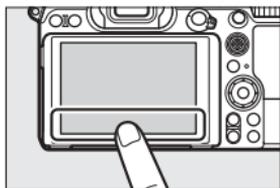


再生画面を切り換える

- 1コマ表示時に左右にフリックすると、前後の画像を表示します。

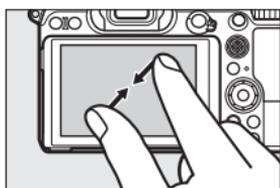
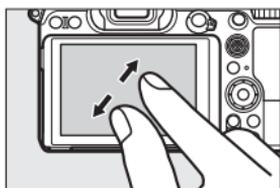


- 1コマ表示時に画面下部をタッチすると、フレームアドバンスバーが表示されます。フレームアドバンスバーに触れたまま指を左右にスライドすると、前後の画像を高速で切り換えられます。



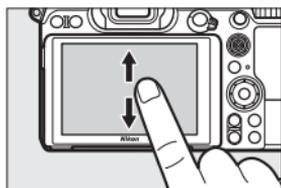
フレームアドバンスバー

- 1コマ表示中に広げる操作をするか、画像モニターを素早く2回タッチすると、拡大表示します。
- さらに広げる操作をすると拡大率が上がり、つまむ操作をすると拡大率が下がります。
- 画像モニターでスライド操作をすると、見たい部分に移動できます。
- 画像モニターを素早く2回タッチすると、拡大表示を解除します。
- 1コマ表示中につまむ操作をすると、サムネイル表示します。
- 広げる/つまむ操作をすると、表示コマ数(4コマ/9コマ/72コマ)が切り替わります。



■ メニューを設定する

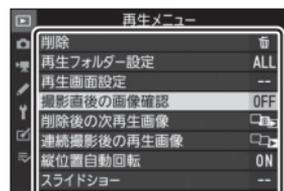
- 上下にスライドすると、メニュー画面がスクロールします。



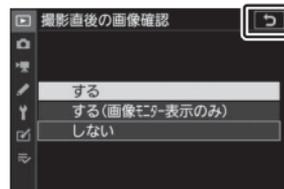
- 画面左端のアイコンにタッチすると、選んだアイコンのメニュー画面が表示されます。



- メニュー項目にタッチすると、設定項目の内容を変更できます。アイコンやスライドバーにタッチして項目や数値を選びます。



-  にタッチすると、設定を変更しないで前の画面に戻ります。



▼ タッチパネルについてのご注意

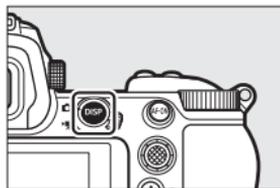
- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。
- タッチパネルに指が触れたまま、別の指でタッチすると、適切に動作しないことがあります。

ヒント：タッチ操作の有効/無効について

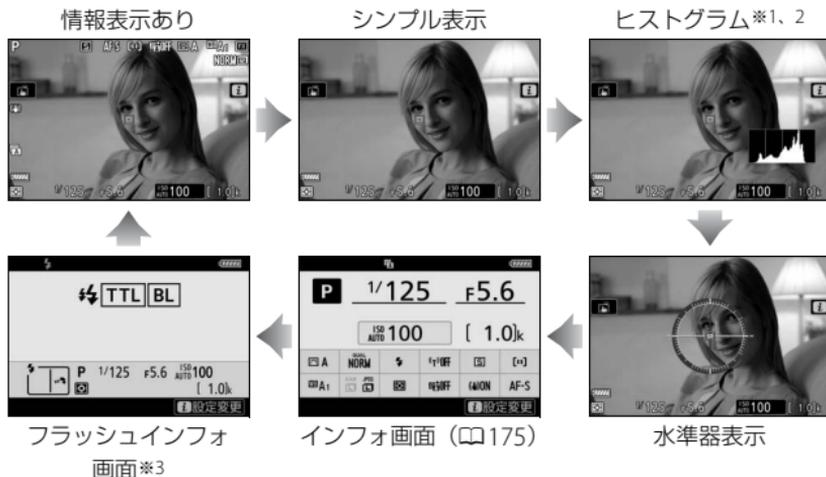
セットアップメニュー [タッチ操作] で、タッチ操作の有効/無効を切り換えられます。

DISPボタン

DISP ボタンを押すたびに、次のように画面の表示が切り替わります。



■ 静止画モードの場合



- ※1 カスタムメニューd8 [Lvに撮影設定を反映] が [する] の場合に表示されます。
- ※2 多重露出撮影中で、[確認撮影] を [する] に設定している場合は表示されません。
- ※3 別売のスピードライト SB-5000、SB-500、SB-400、SB-300 をアクセサリシューに取り付けた場合、またはワイヤレスリモートコントローラーWR-R10 を使用してスピードライトを電波制御している場合に表示されます。

ヒント：ファインダーの表示について

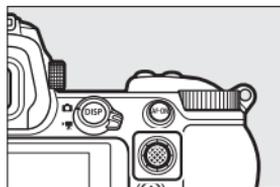
ファインダー使用時も、DISP ボタンを押すと表示される情報が切り替わります。ただし、インフォ画面およびフラッシュインフォ画面は表示されません。

■ 動画モードの場合



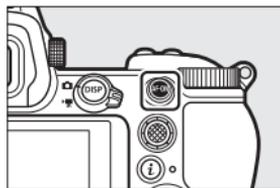
サブセレクター

サブセレクターを上下左右に倒すと、フォーカスポイントを選べます。また、サブセレクターの中央を押している間、AE ロックとフォーカスロックを同時に行います (☞91)。



AF-ONボタン

オートフォーカス時に**AF-ON** ボタンを押すとピント合わせを行います。



メインコマンドダイヤル/サブコマンドダイヤル

コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードや絞り値、カメラのボタンに割り当てられた機能の設定を変更できます。

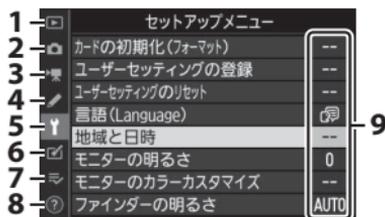
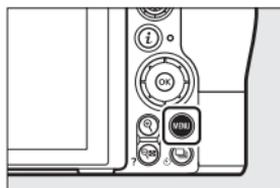
サブコマンドダイヤル



メインコマンドダイヤル

MENUボタン

MENU ボタンを押すと、画像モニターにメニュー画面を表示します。

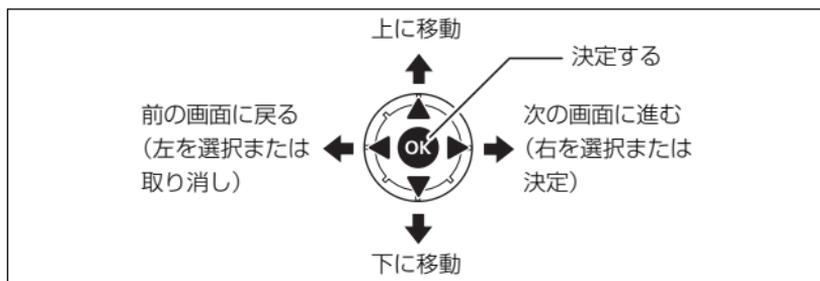


1	再生メニュー125
2	静止画撮影メニュー127
3	動画撮影メニュー135
4	カスタムメニュー141
5	セットアップメニュー	...150
6	画像編集メニュー156
7	マイメニュー /	
8	最近設定した項目*158
9	ヘルプあり表示 20
	各項目の現在の設定	

※ どちらかに設定できます。初期設定は [マイメニュー] です。

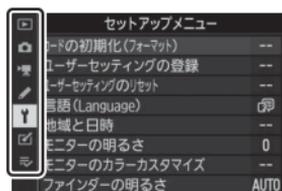
■メニュー項目の設定

メニューの操作には、マルチセレクターとOKボタンを使います。



1 メニューのタブを選ぶ

⏪を押して、タブのアイコンを黄色く表示します。



2 メニューを切り換える

⏩を押して、メニューのタブを切り換えます。



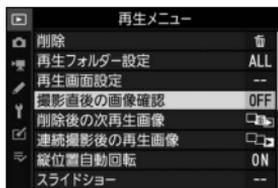
3 選んだメニューに入る

OKを押して、選んだメニューに入ります。



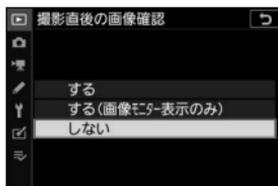
4 メニュー項目を選ぶ

▲▼で項目を選びます。



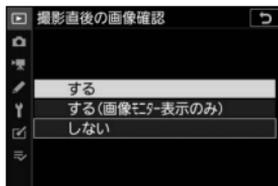
5 設定内容を表示する

▶を押して設定内容を表示します。



6 設定内容を選ぶ

▲▼で設定内容を選びます。



7 決定する

- OKボタンを押して決定します。
- メニュー操作をキャンセル (中止) するには、MENUボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

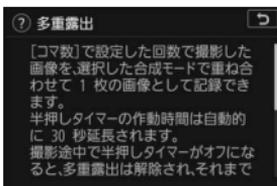
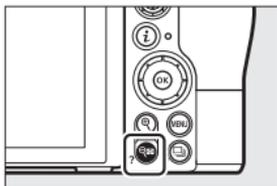


▼ メニューについて

撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。

ヒント：ℹ（ヘルプあり表示）

- ヘルプがある場合に ℹ (?) ボタンを押すと、その項目のヘルプ（説明）を表示します。
- 説明が2ページ以上ある場合は、マルチセレクトターの ⏪ を押して、次のページを表示してください。
- もう一度 ℹ (?) ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

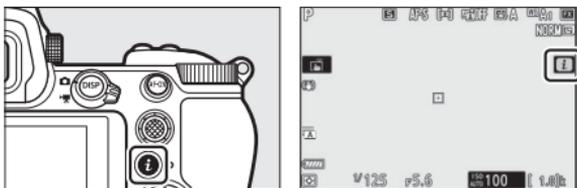


ヒント：タッチパネルでの設定について

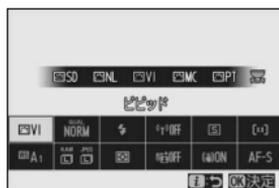
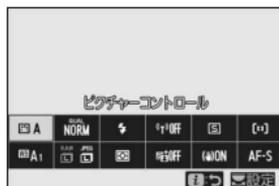
メニューはタッチパネルで設定することもできます (□10)。

iボタン (iメニュー)

iボタンを押すか画像モニターの*i*をタッチすると、iメニューが表示されます。使用頻度の高い項目の設定を素早く変更できます。

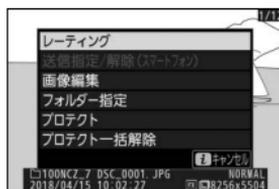


- 静止画モードの場合 (□96) と動画モードの場合 (□115) で表示される内容が異なります。
- 項目を選んで **OK** ボタンを押すかタッチすると、設定を変更できます。
- iメニューの項目にカーソルを置いてコマンドダイヤルを回しても設定を変更できます。項目によってはメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルで設定する場合があります。



ヒント：再生時のiメニューについて

再生画面や動画再生時などにiボタンを押すと、状況に応じたiメニューが表示されます。

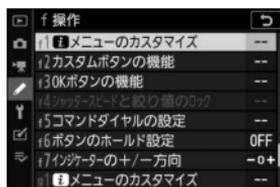


■ iメニュー項目のカスタマイズ

撮影時の*i*メニューで表示される項目は、カスタムメニュー f1 [iメニューのカスタマイズ] で変更できます。

1 カスタムメニュー f1 [iメニューのカスタマイズ] を選んでOKボタンを押す

メニューの選び方は□17をご覧ください。



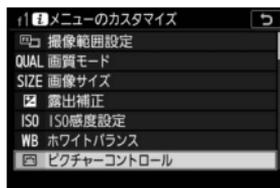
2 機能を割り当てたい場所を選んでOKボタンを押す

割り当てられる機能の一覧が表示されます。



3 割り当てたい機能を選んでOKボタンを押す

- 新しい機能が割り当てられ、手順2の画面に戻ります。
- 他の場所にも機能を割り当てたい場合は手順2、3を繰り返します。



4 MENUボタンを押す

機能の割り当てが決定してメニュー画面に戻ります。

ヒント：iメニューに割り当てられる機能について

静止画モードの場合にiメニューに割り当てられる機能は次の通りです。

- 撮像範囲設定
- 画質モード
- 画像サイズ
- 露出補正
- ISO感度設定
- ホワイトバランス
- ピクチャーコントロール
- 色空間
- アクティブD-ライティング
- 長秒時ノイズ低減
- 高感度ノイズ低減
- 測光モード
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- フォーカスモード
- AFエリアモード
- 手ブレ補正
- オートブラケティング
- 多重露出
- HDR（ハイダイナミックレンジ）
- サイレント撮影
- レリーズモード
- カスタムボタンの機能
- 露出デレターモード
- シャッター方式
- Lvに撮影設定を反映
- 2点拡大
- ピーキング表示
- モニター/ファインダーの明るさ
- Bluetooth通信機能
- Wi-Fi通信機能

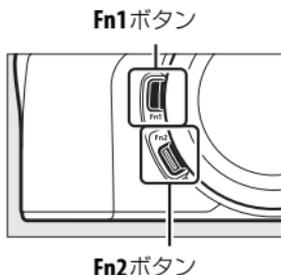
ヒント：動画モードの場合のiメニューについて

カスタムメニューg1 [iメニューのカスタマイズ] で設定できます。割り当てられる機能は静止画モードの場合と異なります。

Fn1/Fn2ボタン

撮影時に**Fn1** ボタンまたは**Fn2** ボタンを押すと、よく使う機能を素早く呼び出せます。

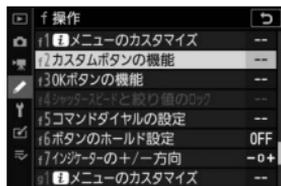
- **Fn1** ボタンの初期設定はホワイトバランス (□63)、**Fn2** ボタンの初期設定はフォーカスモード/AFエリアモード (□52) です。
- **Fn1** ボタンまたは**Fn2** ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、割り当てた機能の設定を変更できます。項目によってはメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルで設定する場合があります。



■ Fn1/Fn2ボタン機能の割り当て変更

Fn1 ボタンまたは**Fn2** ボタンの機能の割り当ては、カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能] の [Fn1 ボタン] または [Fn2 ボタン] で変更できます。

- 1 カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能] を選んで **OK** ボタンを押す
メニューの選び方は□17をご覧ください。



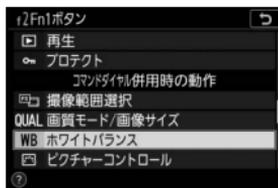
- 2 機能を割り当てたいボタンを選んで **OK** ボタンを押す

割り当てられる機能の一覧が表示されます。



3 割り当てたい機能を選んでOKボタンを押す

- 新しい機能が割り当てられ、手順2の画面に戻ります。
- 他のボタンにも機能を割り当てたい場合は手順2、3を繰り返します。



4 MENUボタンを押す

機能の割り当てが決定してメニュー画面に戻ります。

ヒント：Fn1/Fn2ボタンに割り当てられる機能について

静止画モードの場合にFn1/Fn2ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

- | | | |
|--------------------|---------------------|---------------------|
| • AF-ON | • 連動リリース切り換え | • フラッシュモード/調光補正 |
| • AF-L | • プラスRAW記録 | • フォーカスモード/AFエリアモード |
| • AE-L (ホールド) | • ターゲット追尾 | • オートブラケティング |
| • AE-L (リリースでリセット) | • 格子線表示 | • 多重露出 |
| • AE-L | • 拡大画面との切り換え | • HDR (ハイダイナミックレンジ) |
| • AE-L/AF-L | • マイメニュー | • 露出ディレイモード |
| • FV-L | • マイメニューのトップ項目へジャンプ | • シャッタースピードと絞り値のロック |
| • 発光禁止/許可切換 | • 再生 | • ピーキング表示 |
| • プレビュー | • プロテクト | • レーティング |
| • マルチパターン測光簡易設定 | • 撮像範囲選択 | • 手動設定済みレンズの選択 |
| • 中央部重点測光簡易設定 | • 画質モード/画像サイズ | • 設定しない |
| • スポット測光簡易設定 | • ホワイトバランス | |
| • ハイライト重点測光簡易設定 | • ピクチャーコントロール | |
| • BKT自動連写 | • アクティブD-ライティング設定 | |
| | • 測光モード | |

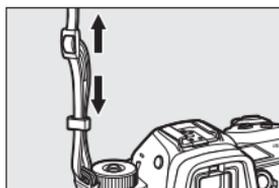
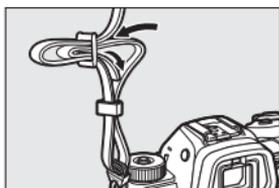
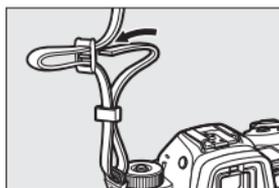
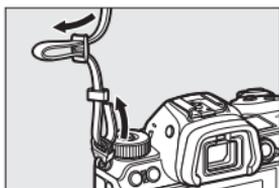
ヒント：動画モードの場合のFn1/Fn2ボタンの割り当てについて

カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で設定できます。割り当てられる機能は静止画モードの場合と異なります。

準備をする

ストラップを取り付ける

付属または別売ストラップの取り付け手順は次の通りです。



バッテリーを充電する

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15bは、お使いになる前にフル充電してください。

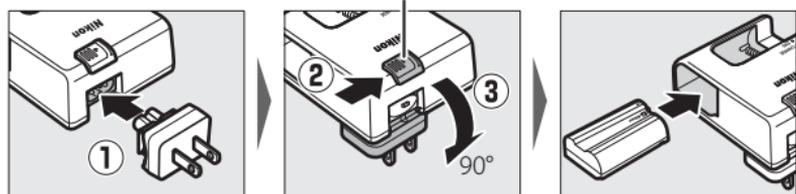
☑ バッテリーとチャージャーの使用上のご注意

お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(□ix)、「カメラとバッテリーの使用上のご注意」(□201)をお読みになり、記載事項をお守りください。

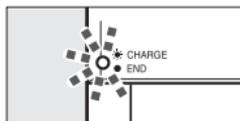
チャージャーを使用して充電する

- 電源プラグ(直付け型)を取り付けた後(①)、電源プラグ回転ロックを矢印の方向にスライドさせながら(②)、電源プラグを90°回転させ、しっかりと固定させます(③)。

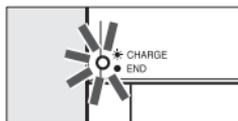
電源プラグ回転ロック



- フル充電するには約2時間35分かかります(残量の少ないバッテリーの場合)。



充電中
(点滅)



充電完了
(点灯)

✔ **チャージャーの「CHARGE」ランプが速く（1秒間に8回）点滅する場合の原因と対処方法**

- **バッテリーのセットミス**：電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、チャージャーにセットし直してください。
- **指定温度外での使用**：チャージャーを指定温度範囲内（0℃～40℃）でお使いください。

上記の処置をしても不具合が続く場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。

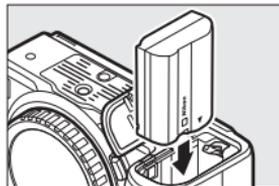
✔ **付属の電源プラグ（直付け型）についてのご注意**

付属の電源プラグは、バッテリーチャージャー MH-25a以外の機器に接続しないでください。この電源プラグは、日本国内専用（AC100V対応）です。海外でお使いになる場合は、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）<https://shop.nikon-image.com/>でもお求めいただけます。

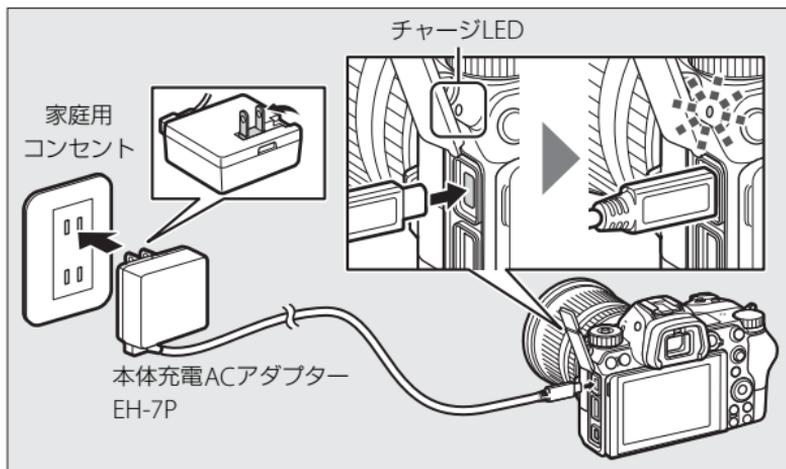
本体充電ACアダプターを使用して充電する

- 別売の本体充電ACアダプターEH-7Pを使用すると、カメラにLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15c/EN-EL15bを入れた状態で充電できます。
- EN-EL15aまたはEN-EL15を使用している場合は、本体充電ACアダプターでの充電はできません。バッテリーチャージャー MH-25aをご使用ください。
- フル充電するには約2時間35分かかります（残量の少ないバッテリーの場合）。

1 EN-EL15c/EN-EL15bをカメラに入れる (☞31)



2 本体充電ACアダプターをカメラに接続し、カメラの電源がOFFの状態では家庭用コンセントにつなぐ



- プラグはまっすぐに抜き差ししてください。
- 充電中はチャージLEDがオレンジ色で点灯します。充電が終わると、チャージLEDが消灯します。
- カメラの電源がONのときは充電しません。
- ケーブルを接続したままでも電源をONにして操作できますが、本体充電ACアダプターからカメラへの電源の供給はできません。

3 充電が終わったら本体充電ACアダプターをコンセントから外す

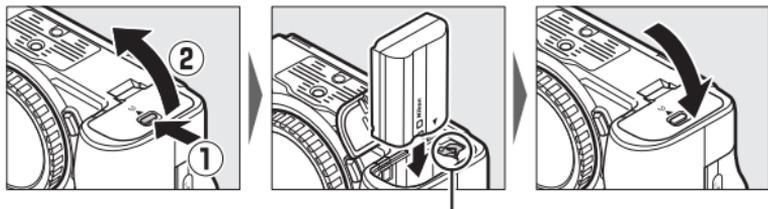
カメラからケーブルを外してください。

▼ 本体充電ACアダプターを使用した充電時のご注意

本体充電ACアダプターでの充電に対応していないバッテリーを使用している場合や、カメラが高温になった場合など、バッテリーを充電できない場合はチャージLEDが30秒間素早く点滅してから消灯します。チャージLEDが消灯していても、十分に充電されているかどうかを確認してください。

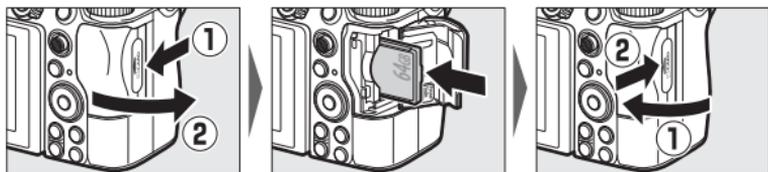
バッテリーとメモリーカードを入れる

- バッテリーやメモリーカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源スイッチがOFFの位置にあることを確認してください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがバッテリーに掛かって固定されます。



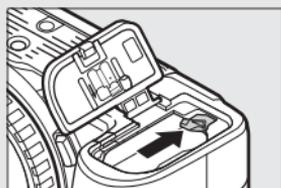
バッテリーロックレバー

- メモリーカードは正しい向きでカチッと音がするまで、まっすぐ挿入してください。



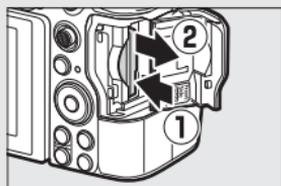
✓ バッテリーを取り出すには

電源をOFFにしてからバッテリー室カバーを開けてください。バッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと、バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いて取り出してください。



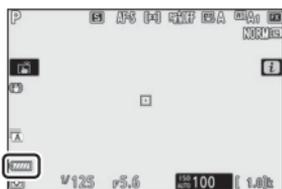
✓ メモリーカードを取り出すには

メモリーカードアクセスランプの消灯を確認し、電源をOFFにしてからメモリーカードカバーを開けてください。メモリーカードを奥に押し込んで放すと (①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください (②)。



バッテリー残量について

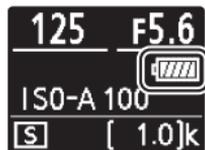
- カメラの電源をONにすると、撮影画面または表示パネルでバッテリーの残量を確認できます。



画像モニター



ファインダー



表示パネル

- バッテリー残量に応じて , , , ,  のように表示されます。  になったら残量が残りにわすかのため、予備のバッテリーを準備するか、充電してください。
- 「撮影できません。バッテリーを交換してください。」と警告メッセージが表示された場合は、バッテリーを交換するか、充電してください。

記録可能コマ数について

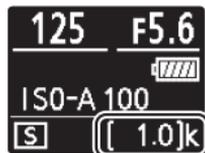
- カメラの電源をONにすると、撮影画面または表示パネルでメモリーカードの記録可能コマ数（これから撮影できる枚数）を確認できます。
- 記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは、1000を意味する「k」マークが点灯します。たとえば「[1.4] k」と表示されている場合、1400枚以上の撮影が可能です。



画像モニター



ファインダー



表示パネル

▼ メモリーカード取り扱い上のご注意

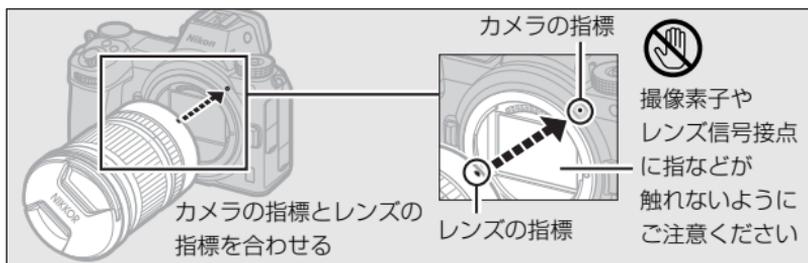
- カメラの使用後はメモリーカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- メモリーカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やカメラやメモリーカードの故障の原因となります。
 - メモリーカードの着脱をしないでください
 - カメラの電源をOFFにしないでください
 - バッテリーを取り出さないでください
 - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属を触れないでください。
- メモリーカードに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

▼ メモリーカードが入っていないときの表示について

撮影画面または表示パネルの記録可能コマ数表示部に **[-E-]** マークが、撮影画面にカードなし警告が表示されます。

レンズを取り付ける

- このカメラにはZマウントのレンズが使用できます。この使用説明書では、主にNIKKOR Z 24-70mm f/4 Sのレンズを使用して説明しています。
- ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。
- レンズをカメラに取り付けるときは、必ずカメラの電源スイッチがOFFの位置にあることを確認してください。
- 撮影する前に、レンズキャップを取り外してください。

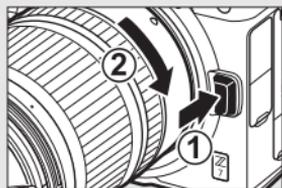


▼ Fマウントレンズをご使用の場合

- Fマウントのレンズをご使用になる場合は、必ず付属または別売のマウントアダプター FTZ (□□227) を装着してから取り付けてください。
- Fマウントレンズをカメラに直接取り付けようとすると、撮像素子やレンズが破損する恐れがありますので、絶対にしないでください。

▼ レンズを取り外すには

- カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら (①)、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し (②)、引き抜いてください。
- レンズを取り外した後は、カメラのボディキャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付けてください。



日付と時刻を設定する

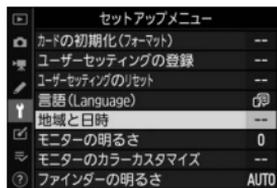
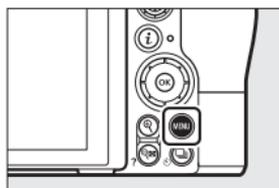
カメラの内蔵時計を合わせます。画像に正しい日時を記録するために、お使いになる前に次の手順で場所と日時を設定してください。

1 カメラの電源をONにする



2 セットアップメニュー [地域と日時] を選んでマルチセレクターの を押す

- 購入後、初めて電源をONにしてMENUボタンを押したときは、セットアップメニュー画面で [地域と日時] が選ばれています。
- メニューの操作方法については、「メニュー項目の設定」をご覧ください (□18)。



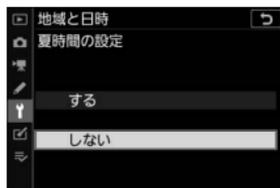
3 現在地を設定する

- [地域と日時] 画面で [現在地の設定] を選びます。
- [現在地の設定] 画面で現在地のタイムゾーンを選んで  ボタンを押してください。
- 世界地図の上を選択中のタイムゾーンに含まれる主な都市名や、UTC (協定世界時) との時差が表示されます。



4 夏時間を設定する

- [地域と日時] 画面で [夏時間の設定] を選びます。
- 現在地で夏時間（サマータイム）制を実施しているときは、[する] に、実施していないときは [しない] にして、**OK** ボタンを押してください。
- [する] にすると、[しない] のときよりも時刻が1時間進みます。



5 日付と時刻を合わせる

- [地域と日時] 画面で [日時の設定] を選びます。
- [日時の設定] 画面でマルチセレクターを操作して現在地の日時に合わせてから、**OK** ボタンを押してください。



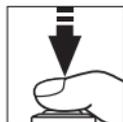
6 日付の表示順を選ぶ

- [地域と日時] 画面で [日付の表示順] を選びます。
- 再生画面に表示する日付の年、月、日の表示順を選んで**OK** ボタンを押します。



7 メニュー操作を終了する

- シャッターボタンを半押しする（軽く押す）と、メニュー操作を終了して、撮影できる状態になります。



☑ ⌚マークについて

撮影画面で⌚が点滅している場合、カメラの内蔵時計が初期化されています。その場合は撮影日時が正しく記録されないため、セットアップメニュー [地域と日時] (□□151) の [日時の設定] で日時設定をしてください。カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れると、時計用電池が充電されます。フル充電するには約2日間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。

ヒント：スマートフォンと日時を同期する

SnapBridgeアプリを使用すると、カメラと接続したスマートフォンと日時を同期することができます。詳しくはSnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。



A series of horizontal lines for writing, starting from the top of the page and extending to the bottom, with a dark grey rectangular block on the left side.

撮影と再生の基本操作

静止画を撮影する (AUTO オート)

撮影モード  (オート) を使うと、カメラまかせの簡単な操作で静止画撮影を楽しむことができます。

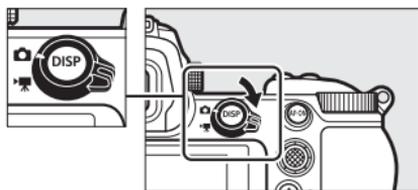
1 カメラの電源をONにする

画像モニターと表示パネルが点灯します。



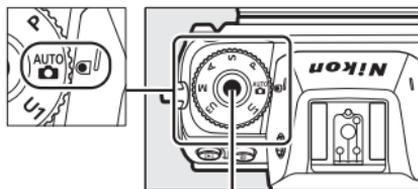
2 静止画/動画切り換え

レバーを  に合わせて
静止画モードにする



3 カメラ上面の撮影モード ダイヤルロックボタンを 押しながら、撮影モード ダイヤルを回して に合 わせる

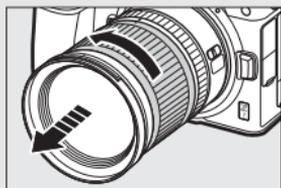
撮影モードダイヤル



撮影モードダイヤルロックボタン

沈胴式のレンズをお使いの場合

沈胴機構を採用しているレンズをご使用の場合、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。ズームリングを矢印の方向にカチッと音がするまで回すと、レンズが繰り出します。



4 カメラを構える

脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。

- ファインダーの撮影画面を見ながら撮影する場合：



横位置



縦位置

- 画像モニターの撮影画面を見ながら撮影する場合：



横位置



縦位置

5 構図を決める

サブセレクターまたはマルチセレクターでフォーカスポイントを動かして、ピントを合わせたい被写体に重ねます。



フォーカスポイント

6 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、ピントを合わせる

- フォーカスモードが**AF-S**の場合、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。ピントが合わないと、フォーカスポイントは赤色で点滅します。
- 暗い場所などでは、AF補助光が光ることがあります。
- **AF-ON**ボタンを押してもピント合わせができます。



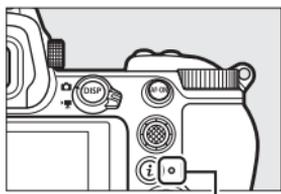
☑ AF補助光について

AF補助光が照射される場合、手などでAF補助光を遮らないようにご注意ください。



7 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）撮影する

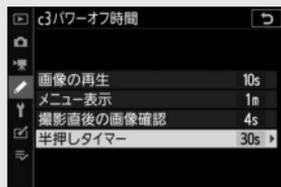
- 画像モニターをタッチしても撮影できません。タッチした位置でピント合わせを行い、指を放すとシャッターがきれきます。
- メモリーカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。



メモリーカード
アクセスランプ

✓ 半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消費を抑えるための「半押しタイマー」という機能があります。何も操作が行われないまま約30秒経過すると半押しタイマーがオフになり、画像モニター、ファインダー、表示パネルの全ての表示が消灯します。消灯する数秒前には画像モニターとファインダーの表示が暗くなります。シャッターボタンを半押しすると、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、カスタムメニュー c3 [パワーオフ時間] の [半押しタイマー] で変更できます。



動画を撮影する (AUTO オート)

撮影モード  (オート) を使うと、カメラまかせの簡単な操作で動画撮影を楽しむことができます。

1 カメラの電源をONにする

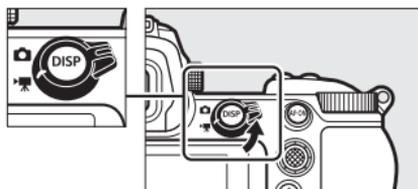
画像モニターと表示パネルが点灯します。



2 静止画/動画切り換え

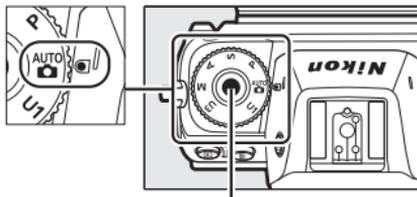
レバーを  に合わせて
動画モードにする

動画モード時は別売スピード
ライトは発光しません。



3 カメラ上面の撮影モード ダイヤルロックボタンを 押しながら、撮影モード ダイヤルを回して に合 わせる

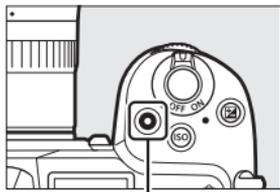
撮影モードダイヤル



撮影モードダイヤルロックボタン

4 動画撮影ボタンを押して、動画の撮影を始める

- 動画撮影中は、録画中マークが撮影画面に表示されます。メモリーカードに撮影できる残り時間の目安も確認できます。
- 動画撮影中も、**AF-ON**ボタンを押すと被写体にピントを合わせられます。
- 内蔵マイクで音声を記録します。録画中は、マイクを指でふさがないようにしてください。
- 動画撮影中に画像モニターをタッチすると、タッチした位置にフォーカスポイントが移動してピントを合わせることができます。



動画撮影ボタン

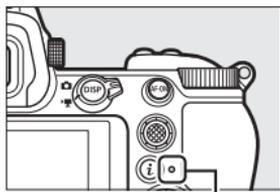
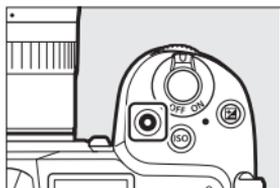
録画中マーク



残り時間

5 もう一度動画撮影ボタンを押して、動画の撮影を終了する

メモリーカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。



メモリーカード
アクセスランプ

動画モード中の静止画撮影

- 動画モードでも、シャッターボタンを全押しすると静止画を撮影できます。静止画を撮影すると、撮影画面の📷アイコンが点滅します。
- 動画撮影中でも撮影できます。動画の撮影は途切れることなく続きます。



✓ 動画撮影について

🚫 (動画撮影禁止) マークが表示されているときは、動画の撮影ができません。

✓ 動画撮影時のご注意

- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達したとき
 - メモリーカードの残量がなくなったとき
 - 撮影モードを切り換えたとき
 - 静止画/動画切り換えレバーを切り換えたとき
 - レンズを取り外したとき
- 次のような場合は、動作音が録音されることがあります。
 - オートフォーカス作動中
 - 手ブレ補正機能作動中
 - パワー絞りを作動中

✓ 動画モード中の静止画撮影について

- 1回の動画撮影中に撮影できる静止画は、最大50コマです。
- ピントが合っていないなくても撮影されます。
- 撮影される静止画の画像サイズは動画の画像サイズと同じです。
- 画質モードは **[FINE★]** に固定されます。
- レリーズモードが連続撮影になっている場合、連続撮影速度は設定している **[画像サイズ/フレームレート]** により異なります。
- 動画を撮影している間は、レリーズモードを連続撮影にしても1コマ撮影になります。

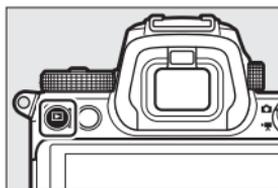
▼ カメラで静止画および動画を撮影するときのご注意

- 撮影画面の表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した静止画および動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
 - 動きのある被写体が歪む
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
 - 動画撮影時のパワー絞りを作動中、画面にちらつきが発生する
- 撮影画面を **Q** ボタンで拡大表示した場合、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）、色の変化が発生しやすくなります。
- 撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。

撮影した画像を確認する

1 ▶ボタンを押す

撮影した画像をカメラ背面の画像モニターまたはファインダーに表示します。



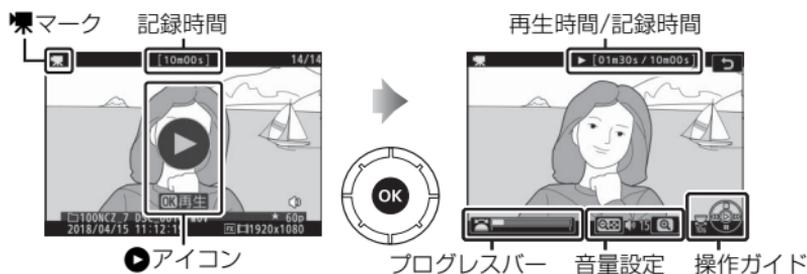
2 他の画像を確認するにはマルチセレクターの◀▶を押す

- 画像モニターに表示した場合は画像モニターをタッチ操作で左右にフリックしても画像を切り換えられます。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。



動画の再生

動画には🔊マークが表示されています。Ⓞボタンを押すか、または画面上の▶アイコンをタッチして動画を再生します（プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます）。



■■ 動画再生中の操作方法

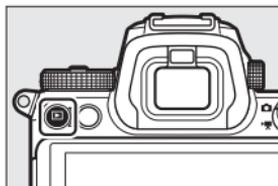
一時停止する	マルチセレクターの  を押すと一時停止します。
再生を再開する	一時停止中または早戻し/早送り中に  ボタンを押すと動画再生を再開します。
早戻しする/早送りする	<ul style="list-style-type: none"> • 動画の再生中にを押すと早戻し、を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、早戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。 • を押し続けると、先頭フレームに移動し、を押し続けると、最終フレームに移動します。 • 先頭フレームにはアイコンが、最終フレームにはアイコンが、画面右上に表示されます。
スロー再生する	一時停止中に  を押すとスロー再生します。
コマ戻しする/ コマ送りする	<ul style="list-style-type: none"> • 一時停止中に を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 •  を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。
10秒進める/10秒戻す	メインコマンドダイヤルを回すと、10秒前または後に移動します。
先頭フレームに移動する/ 最終フレームに移動する	サブコマンドダイヤルを回すと、先頭フレームまたは最終フレームに移動します。
音量を調節する	 ボタンを押すと音量が大きくなり、  (?) ボタンを押すと小さくなります。
動画を編集する	一時停止中に  ボタンを押すと、[動画編集] 画面を表示します。
再生終了	 または  ボタンを押すと1コマ表示モードに戻ります。
撮影に戻る	シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影できます。

画像の削除

表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないご注意ください。

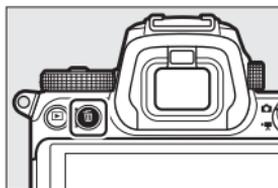
1 削除したい画像を表示する

▶ボタンを押して画像モニターに画像を表示してから、マルチセレクターの◀▶で削除したい画像を選びます。



2 画像を削除する

- 冂ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度冂ボタンを押すと、表示中の画像を削除して、再生画面に戻ります。
- 削除確認画面で▶ボタンを押すと、画像の削除をキャンセルします。



ヒント：再生メニュー【削除】

再生メニューの【削除】では、次の操作ができます。

- 複数の画像を選んで削除
- 同じ日付の画像をまとめて削除
- 再生フォルダー内の全画像を一括して削除

カメラの基本機能と設定

ピント合わせの設定

フォーカスモード

ピントの合わせ方を選べます。

■ フォーカスモードの設定方法

- メニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの [フォーカスモード] で変更できます (□114、123)。



- 初期設定では、**Fn2** ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフォーカスモードを設定できます (□24)。



AF-S シングルAF

- 静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスポイントが赤色から緑色に変わって点灯し、フォーカスがロックされます。ピントが合っていないときはフォーカスポイントが赤に点滅してシャッターがきけません。
- 初期設定はピントが合うとシャッターがきけるフォーカス優先モードです。

AF-C コンティニューアスAF	<ul style="list-style-type: none"> • スポーツなど動きのある被写体の撮影に適しています。シャッターボタンの半押しを続けている間はフォーカスロックはされず、被写体の動きに合わせてピントを追いつけます。 • 初期設定ではピントの状態に関係なく、いつでもシャッターがきれるレリーズ優先モードです。
AF-F フルタイムAF	<ul style="list-style-type: none"> • カメラは常に被写体の動きや構図の変化に合わせてピントを合わせ続けます。 • シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行って、ピントが合った時点でフォーカスポイントが赤色から緑色に変わって点灯し、フォーカスがロックされます。 • 動画モードの場合のみ選べます。
MF マニュアルフォーカス	ピントを自分で合わせたいときに選びます。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます (□61)。

✔ オートフォーカスについてのご注意

- 次の被写体はオートフォーカスでピントが合わない場合がありますので、ご注意ください。
 - 画面の長辺側と平行な線の被写体
 - 明暗差の少ない被写体
 - フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
 - イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被写体
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見える場合
 - クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
 - フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
 - 連続した繰り返しパターンの被写体（ビルの窓やブラインドなど）
- オートフォーカス作動中は、画面の明るさが変わることがあります。
- ピントが合わなくてもフォーカスポイントが緑色で点灯する場合があります。

✔ 電源OFF時のご注意

ピント合わせを行った後に、カメラの電源をOFFにして再びONにするとピント位置が変わることがあります。

ヒント：暗い場所でのピント合わせについて

フォーカスモードが**AF-S**のときにカスタムメニューa11 [ローライトAF] を [する] に設定すると、暗い場所でもピントが合いやすくなります。

AFエリアモード

オートフォーカス使用時に、フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。

- フォーカスポイントはサブセレクター（□91）またはマルチセレクターを使用して移動できます。
- 初期設定は [シングルポイントAF] です。

■ AFエリアモードの設定方法

- **i**メニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの [AFエリアモード] で変更できます（□114、122）。



- 初期設定では、**Fn2** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すとAFエリアモードを設定できます（□24）。



[PIN]

ピン
ポイント
AF

- シングルポイントAFよりも小さいフォーカスポイントを使って、より狭い範囲にピンポイントでピントを合わせることができます。
- シングルポイントAFよりもピント合わせに時間がかかることがあります。
- 建築物などの静止している被写体の撮影や、スタジオでの商品撮影や接写に適しています。
- 静止画モードで、フォーカスモードが [シングルAF] の場合のみ選べます。

[S]

シングル
ポイント
AF

- 撮影者が選んだフォーカスポイントでピント合わせを行います。
- 静止している被写体の撮影に適しています。

<p>[C] ダイナミック AF</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 撮影者が選んだフォーカスポイントでピント合わせを行います。選んだフォーカスポイントから被写体が一時的に外れても、周辺のフォーカスポイントからのピント情報を利用してピントを合わせます。 • スポーツの撮影など、シングルポイントAFでは被写体をとらえにくい動きのある被写体の撮影に適しています。 • 静止画モードで、フォーカスマードが[コンティニュアスAF]の場合のみ選べます。
<p>[WIDE-S] ワイドエリア AF (S)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • シングルポイントAFよりも広い範囲（エリア）で被写体をとらえてピント合わせを行います。 • スナップ撮影や、動きのある被写体、シングルポイントAFではとらえにくい被写体の撮影などに適しています。
<p>[WIDE-L] ワイドエリア AF (L)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 動画撮影で、動きのある被写体を撮影する場合やパン・チルトを行う場合にも、滑らかで安定したピント合わせが行えます。 • フォーカスポイント内に複数の被写体がある場合、手前の被写体を優先してピントを合わせます。 • [ワイドエリアAF (L)] は [ワイドエリアAF (S)] よりも広い範囲で被写体をとらえます。
<p>[A] オートエリア AF</p>	<ul style="list-style-type: none"> • カメラが自動的に全てのフォーカスポイントから被写体を判別してAFエリアフレーム内でピントを合わせます。 • シャッターチャンスを優先した撮影、人物撮影、スナップ撮影などに適しています。 • カメラが人物の顔を認識した場合、顔に黄色の枠（フォーカスポイント）が表示されます。瞳を認識できるときは、瞳に黄色のフォーカスポイントが表示されます（瞳AF/顔認識AF）。動きのあるポートレート撮影も構図や表情に集中して撮影できます（□57）。 • カスタムメニュー a4 [オートエリア AF時の顔と瞳認識] で [動物認識する] に設定すると、カメラが犬や猫の顔を認識した場合、顔に黄色のフォーカスポイントが表示されます。瞳を認識できるときは、瞳に黄色のフォーカスポイントが表示されます（動物瞳AF/顔認識AF、□58） • [*] ボタンを押すと、ターゲット追尾AFを使用できます（□59）。カスタムメニュー f2またはg2 [カスタムボタンの機能] で、ターゲット追尾AFの開始を Fn1 ボタン、Fn2 ボタン、レンズの Fn ボタン、レンズの Fn2 ボタンに割り当てることもできます。

ヒント：フォーカスポイントが□のように表示されている場合

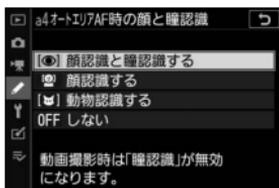
[オートエリアAF] 設定時を除き、フォーカスポイント中央に点が表示されているときは、フォーカスポイントが画面の中央にあることを示しています。

ヒント：フォーカスポイントを素早く選ぶには

- カスタムメニュー a5 [AF 点数] を [スキップ] に設定すると、サブセクターやマルチセクターで選べるフォーカスポイントの数が約1/4になります。フォーカスポイントを素早く移動させることができます。AFエリアモードが [ピンポイントAF] または [ワイドエリアAF (L)] の場合は [スキップ] に設定しても選べるフォーカスポイントの数は変化しません。
- フォーカスポイントの移動を主にサブセクターで行っている場合、カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能] の [サブセクター中央] で [フォーカスポイント中央リセット] に設定しておく、フォーカスポイントを素早く画面中央に戻すことができます。

■ 瞳AFと顔認識AF

カスタムメニュー a4 [オートエリアAF時の顔と瞳認識] で、[オートエリアAF] 時に顔と瞳の両方を認識するのか (瞳AF/ 顔認識AF)、顔のみを認識するのか (顔認識AF) を設定できます。



● [顔認識と瞳認識する] に設定していると、カメラが人物の顔を認識した場合、顔に黄色の枠 (フォーカスポイント) が表示されます。瞳を認識できるときは、左右どちらかの瞳に黄色のフォーカスポイントが表示されます。



フォーカスポイント

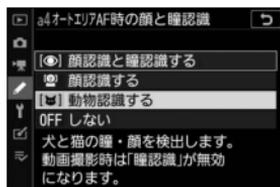
- [顔認識する] に設定していると、人物の顔を認識した場合、顔に黄色のフォーカスポイントが表示されます。
- フォーカスモードが**AF-C**の場合、顔または瞳を認識している間、フォーカスポイントは黄色で点灯します。
- フォーカスモードが**AF-S**の場合、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。
- 複数の顔や瞳を認識した場合は、フォーカスポイントに ◀ および ▶ が表示されます。マルチセレクターの  を押してピントを合わせたい顔や瞳を選ぶことができます。
- カメラが顔を認識した人物が一時的に横や後ろを向いたりしても、追尾してフォーカスポイントが移動します。
- 再生画面で  ボタンを押すと、ピントを合わせた顔や瞳を中心に画像が拡大されます。

☑ 瞳AFと顔認識AFについてのご注意

- 動画モード時は瞳認識を行いません。
- 次のような場合は、瞳AFおよび顔認識AFが正常に行われなことがあるので、ご注意ください。
 - 顔が画面に対して大きい/小さい場合
 - 顔が明るすぎる/暗すぎる場合
 - メガネやサングラスをかけている場合
 - 髪の毛で目や顔が隠れている場合
 - 人物の動きが大きすぎる場合

■ 動物瞳AF/顔認識AF

カスタムメニュー a4 [オートエリアAF時の顔と瞳認識] で [動物認識する] に設定すると、カメラが犬や猫の顔と瞳を認識します(動物瞳AF/顔認識AF)。



- カメラが犬や猫の顔を認識した場合、顔に黄色の枠(フォーカスポイント)が表示されます。瞳を認識できるときは、左右どちらかの瞳に黄色のフォーカスポイントが表示されます。
- フォーカスモードが**AF-C**の場合、顔または瞳を認識している間、フォーカスポイントは黄色で点灯します。
- フォーカスモードが**AF-S**の場合、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。
- 複数の顔や瞳を認識した場合は、フォーカスポイントに◀および▶が表示されます。マルチセレクトターの◀▶を押してピントを合わせたい顔や瞳を選ぶことができます。
- 再生画面でOKボタンを押すと、ピントを合わせた顔や瞳を中心に画像が拡大されます。



フォーカスポイント

▼ 動物瞳AF/顔認識AFについてのご注意

- 動画モード時は瞳認識を行いません。
- 次のような場合は、動物瞳AF/顔認識AFが正常に行われなことがある場合がありますので、ご注意ください。
 - 顔が画面に対して大きい/小さい場合
 - 顔が明るすぎる/暗すぎる場合
 - 体毛などで目や顔が隠れている場合
 - 瞳と周辺部位の色が近い場合
 - 犬や猫の動きが大きすぎる場合
- [動物認識する] に設定しても、犬や猫の種類によっては顔や瞳を認識できない場合があります。
- AF補助光が犬や猫の瞳に悪影響をおよぼす可能性があるため、カスタムメニュー a12 [内蔵AF補助光の照射設定] を [しない] に設定することをおすすめします。

タッチシャッター

タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行います。指を放すとシャッターがきれます。



アイコンにタッチすると、画像モニターをタッチしたときの機能を切り換えられます。



	<ul style="list-style-type: none">• タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行い、指を放すとシャッターがきれます。カスタムメニュー a4 [オートエリアAF時の顔と瞳認識] を [しない] 以外に設定して人物または犬や猫の顔や瞳を認識している場合は、タッチした位置に近い顔または瞳※にピント合わせを行います。• 静止画モードの場合のみ選べます。
	<ul style="list-style-type: none">• タッチした位置にフォーカスポイントを移動して、ピント合わせのみを行います。指を放してもシャッターはきれません。• AFエリアモードをオートエリアAFに設定している場合、タッチした位置にある被写体の追尾を開始します。追尾中に画像モニターをタッチすると、追尾する被写体を変更します。カスタムメニュー a4 [オートエリアAF時の顔と瞳認識] を [しない] 以外に設定して人物または犬や猫の顔や瞳を認識している場合は、タッチした位置に近い顔または瞳※にピント合わせを行って追尾します。
	タッチ操作は無効になります。

※ 瞳をタッチしても意図した側の瞳にピントが合わないことがあります。その場合はマルチセレクターで選んでください。

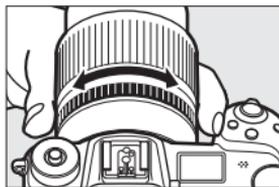
☑ タッチ操作で撮影するときのご注意

- マニュアルフォーカス撮影時はタッチしてもピント合わせを行いません。
- に設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- タッチシャッターでは動画モード中に静止画の撮影はできません。
- レリーズモードを連続撮影に設定していても、1コマしか撮影されません。連続撮影するには、シャッターボタンを押して撮影してください。
- セルフタイマー設定時は、画面の被写体をタッチするとピントが固定され、指を放してから約10秒後にシャッターがきれます。また、セルフタイマーの撮影コマ数を1コマ以外に設定した場合、連続で撮影します。

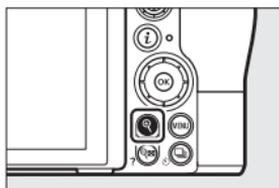
マニュアルフォーカスでのピントの合わせ方

フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定すると、ピントを自分で合わせられます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影する場合などに使用します。

- ピントを合わせたい場所にフォーカスポイントを合わせ、レンズのフォーカスリングまたはコントロールリングを回します。

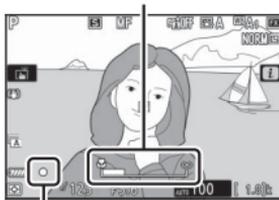


- ピントの状態を細部まで確認したい場合は、 ボタンを押して被写体を拡大表示してください。



フォーカス距離指標

- 撮影画面のピント表示 (●) でピントが合っているか確認できます。また、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。



ピント表示

ピント表示	意味
● (点灯)	被写体にピントが合っています。
▶ (点灯)	目的の被写体よりも手前にピントが合っています。
◀ (点灯)	目的の被写体よりも後方にピントが合っています。
▶ ◀ (点滅)	ピント合わせができません。

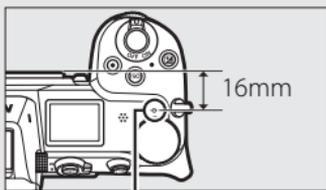
- オートフォーカスの苦手な被写体をマニュアルフォーカスでピント合わせした場合、ピントが合っていないくてもピント表示 (●) が点灯することがあります。撮影画面を拡大表示して、被写体にピントが合っていることを確認してください。また、ピント合わせがしづらい場合は、三脚のご使用をおすすめします。

✓ マニュアルフォーカスの切り換えについて

フォーカスモードが切り換えられるレンズを装着している場合、レンズでオートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り換えることができます。

✓ 距離基準マークについて

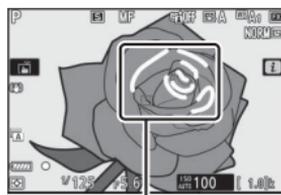
距離基準マーク  は撮影距離の基準となるマークで、カメラ内の撮像面の位置を示します。マニュアルフォーカスや接写などでカメラから被写体までの距離を実測する場合、このマークが基準となります。レンズ取り付け面（レンズマウント）から撮像面までの寸法（フランジバック）は16mmです。



距離基準マーク 

ヒント：ピーキング表示（フォーカスピーキング）

- マニュアルフォーカス時にカスタムメニュー d10 [ピーキング表示] を [しない] 以外に設定すると、ピントが合っている部分（ピーキング）の輪郭に色を付けて表示できます。
- 被写体の輪郭を検出できない場合、ピントが合ってもピーキング表示ができないことがあります。撮影画面でピントが合っていることを確認してください。



ピントが合っている部分

ホワイトバランス

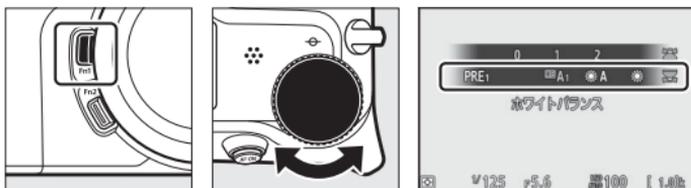
光源に合わせて、白いものを白く撮影するための機能です。初期設定のオート（WB A₁）でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

ホワイトバランスの設定方法

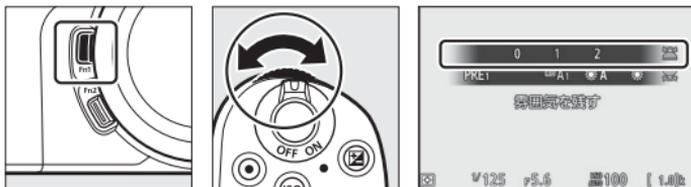
- iメニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの「ホワイトバランス」で設定できます（□100、116）。



- 初期設定では、Fn1 ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとホワイトバランスを設定できます（□24）。



- ホワイトバランスがWB A（オート）および ☼ （蛍光灯）のときに、Fn1 ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、WB A（オート）および ☼ （蛍光灯）の種類を設定できます。



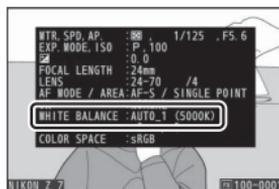
項目 (設定される色温度※)	内容
WB A オート	カメラが自動的にホワイトバランスを調節し、ほとんどの光源に対応できます。別売のスピードライトの使用時は、フラッシュ発光時の条件に応じて適したホワイトバランスに調整されます。
WB A₀ 白を優先する (約3500~8000K)	電球下の環境で撮影する場合、電球色を残さずに白く補正します。
WB A₁ 雰囲気を残す (約3500~8000K)	電球下の環境で撮影する場合、やや電球色を残して暖かみのある画像に仕上げます。
WB A₂ 電球色を残す (約3500~8000K)	電球下の環境で撮影する場合、電球色を残して暖かみのある画像に仕上げます。
自然光オート (約4500~8000K)	自然光下での撮影に適したホワイトバランスに調整され、自然光下では WB A (オート) より見た目に近い色味で撮影できます。
晴天 (約5200K)	晴天の屋外での撮影に適しています。
曇天 (約6000K)	曇り空の屋外での撮影に適しています。
晴天日陰 (約8000K)	晴天の日陰での撮影に適しています。
電球 (約3000K)	白熱電球下での撮影に適しています。
蛍光灯	それぞれの光源下での撮影に適しています。
ナトリウム灯混合光 (約2700K)	
電球色蛍光灯(約3000K)	
温白色蛍光灯(約3700K)	
白色蛍光灯 (約4200K)	
昼白色蛍光灯(約5000K)	
昼光色蛍光灯(約6500K)	
高色温度の水銀灯 (約7200K)	
フラッシュ (約5400K)	スタジオ用大型ストロボなどを使って撮影する場合に適しています。

項目（設定される色温度※）	内容
K 色温度設定 （約2500～10000K）	<ul style="list-style-type: none"> 色温度を直接指定できます。 Fn1 ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、色温度を設定できます。
PRE プリセットマニュアル	<ul style="list-style-type: none"> 撮影者が被写体や光源を基準にホワイトバランスを合わせたり、メモリーカード内の画像と同じホワイトバランスで撮影したりできます。 Fn1 ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、プリセットマニュアルデータの保存場所を選べます。 Fn1 ボタンを長押しすると、プリセットマニュアル取得モードになります（□103）。

※ 微調整が0の場合の値です。

ヒント：WB A撮影時の色温度について

- ホワイトバランスを **WB A**（オート）に設定して撮影した場合、カメラが判断した色温度の値を再生画面の撮影情報で確認できます。ホワイトバランスの [色温度設定] で色温度を調整する場合に参考にできます。
- 撮影情報を表示するには、再生メニュー [再生画面設定] で [撮影情報] のチェックボックスをオン にしてください。



☑ **☀A (自然光オート) について**

人工光下で撮影するときに☀A (自然光オート) を選択していると、適正なホワイトバランスが得られないことがあります。WB A (オート) または光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。

☑ **ホワイトバランスの微調整について**

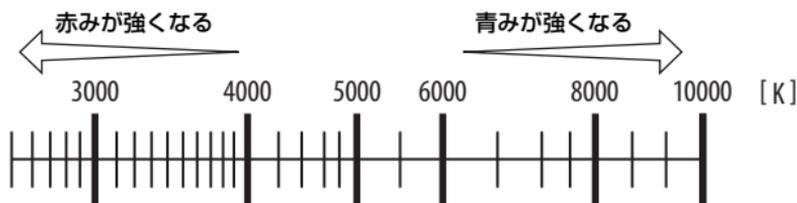
設定したホワイトバランスは微調整が可能です ([色温度設定] 以外)。微調整はiメニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの [ホワイトバランス] で行えます (□101)。

☑ **スタジオ用大型ストロボを使用する場合**

スタジオ用大型ストロボを使用する場合は、WB A (オート) に設定していても適正なホワイトバランスが得られないことがあります。その場合は、WB ⚡ (フラッシュ) モードにして微調整を行うか、プリセットマニュアルをお使いください。

ヒント：色温度について

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の色を表すと、見る人によって微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度 (K: ケルビン) という客観的な数字で表したのが色温度です。色温度が低くなるほど赤みを帯びた光色になり、色温度が高くなるほど青みを帯びた光色になります。



ヒント：色温度の設定について

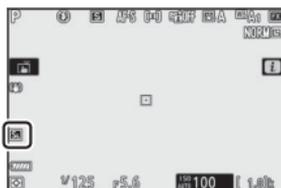
一般的に、画像に赤みを感じた場合 (撮影した画像に青みを帯びさせたい場合) は低い数値を設定し、画像に青みを感じた場合 (撮影した画像に赤みを帯びさせたい場合) は高い数値を選びます。

サイレント撮影

静止画撮影メニュー [サイレント撮影] を [する] に設定すると、電子シャッターを使用し、シャッター動作による振動とシャッター音を出さずに撮影できます。



- サイレント撮影中は画面にアイコンが表示されます。
- カスタムメニュー d5 [シャッター方式] の設定にかかわらず、電子シャッターを使用します。
- リリースモードが [高速連続撮影 (拡張)] 以外の場合、シャッターがきれると、撮影画面が一瞬暗くなります。撮影できているかどうかの目印になります。
- セットアップメニュー [電子音] の設定にかかわらず、ピントが合ったときの電子音とセルフタイマー作動時の電子音は鳴りません。
- 次の機能など、サイレント撮影中は使用できなくなる機能があります。
 - フラッシュ撮影
 - 長秒時ノイズ低減
 - フリッカー低減撮影



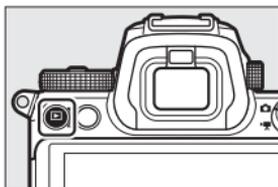
▼ サイレント撮影について

- [サイレント撮影] を [する] に設定していても、完全に無音にはなりません。撮影時に絞りやオートフォーカスなどカメラの動作音がすることがあります。
- 撮影画面の表示に次のような現象が発生することがあり、これらの現象は静止画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
 - 動きのある被写体が歪む
 - 被写体に動きがある場合、被写体が歪む
 - カメラ本体の動きによっては、画像が歪む
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
- レリーズモードが連続撮影の場合、[サイレント撮影] を [する] に設定すると連続撮影速度が変更されます (□87)。
- 静止画撮影メニュー [手ブレ補正] を [しない] 以外に設定すると、MENUボタンや▶ボタンを押したときに動作音がします。
- サイレント撮影中はシャッター音を消して撮影できますが、被写体の肖像権やプライバシーなどに充分ご配慮の上、お客様の責任においてお使いください。

撮影した画像のレーティング設定

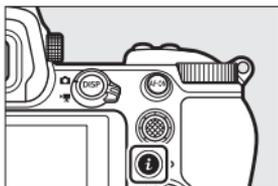
選んだ画像にレーティングを設定します。画像に設定したレーティングは、NX Studioにも反映されます。プロテクトした画像にはレーティングを設定できません。

1 ▶ボタンを押して再生画面を表示する

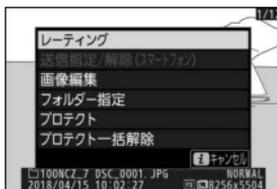


2 レーティングを設定したい画像を選んで*i*ボタンを押す

再生時の*i*メニューが表示されます。



3 [レーティング] を選んでⓀを押す



4 レーティングを設定する

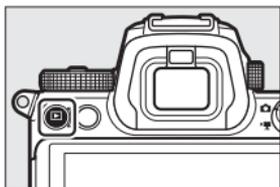
- メインコマンドダイヤルを回して、**★★★★★**~**★**、なし、**☒** (削除候補) から選びます。
- **Ⓚ**ボタンを押して決定します。



撮影した画像のプロテクト

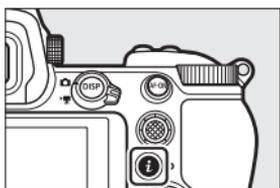
大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。ただし、メモリーカードを初期化すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

1 再生ボタンを押して再生画面を表示する



2 プロテクトしたい画像を選んで*i*ボタンを押す

再生時の*i*メニューが表示されます。



3 [プロテクト] を選んでOKボタンを押す

- **🔒**アイコンが表示されます。
- プロテクトを解除するには、解除する画像を選んで再度 [プロテクト] を選びます。



ヒント：プロテクトの一括解除について

*i*メニューで [プロテクト一括解除] を選ぶと、再生メニュー [再生フォルダー設定] で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。

ボタンなどを使った応用撮影

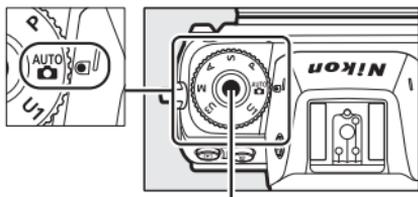
撮影モードダイヤル

撮影モードを変更すると、シャッタースピードと絞りのそれぞれを自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。

撮影モードの設定方法

カメラ上面の撮影モードダイヤルロックボタンを押しながら、撮影モードダイヤルを回すと撮影モードを変更できます。

撮影モードダイヤル



撮影モードダイヤルロックボタン

AUTO オート	露出や色味など、すべてカメラまかせの簡単な操作で撮影を楽しめます (□41、45)。
P プログラム オート	シャッターチャンス逃したくないスナップ撮影などに使います。シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S シャッター優先 オート	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A 絞り優先オート	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
M マニュアル	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。長時間露出 (バルブ、タイム) 撮影も、このモードで行います。
U1 U2 U3 ユーザー セッティング モード	よく使う機能 (ユーザーセッティング) を登録できます。撮影モードダイヤルを切り換えるだけで、登録した内容で撮影できます。

P (プログラムオート)

- 被写体の明るさに応じて露出が適正になるように、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。
- メインコマンドダイヤルを回すと、適正露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられる「プログラムシフト」が行えます。
 - プログラムシフト中は、プログラムシフトマーク（*）が表示されます。
 - プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマークが消えるまでメインコマンドダイヤルを回してください。電源をOFFにしたときや、他の撮影モードに切り換えたときも、プログラムシフトは解除されます。

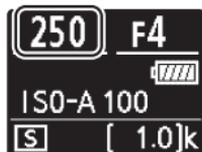


S (シャッター優先オート)

- シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。動きの速い被写体の撮影や、遅いシャッタースピードで被写体の動きを強調する撮影に適しています。
- シャッタースピードはメインコマンドダイヤルを回して設定します。
- シャッタースピードは 1/8000 ~ 30 秒、x200に設定できます。
- 設定したシャッタースピードはロックできます (□148)。



画像モニター



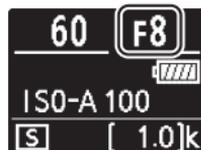
表示パネル

A（絞り優先オート）

- 絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。
- 絞り値はサブコマンドダイヤルを回して設定します。
- 設定できる最小絞り値、開放絞り値はレンズの種類によって異なります。
- 設定した絞り値はロックできます (☐148)。



画像モニター



表示パネル

ヒント：動画撮影時の絞り値やシャッタースピードなどについて
 動画撮影時に絞り値、シャッタースピード、ISO感度を設定できるかどうかは、撮影モードによって異なります。

	絞り値	シャッタースピード	ISO感度※2
P、S※1	—	—	—※3
A	○	—	—※3
M	○	○	○※4

※1 撮影モードが**S**の場合は、**P**に設定したときと同じ露出制御になります。

※2 動画撮影メニューの【電子手ブレ補正】が【する】のときにISO感度が高感度（Hi 0.3～Hi 2）になった場合は、ISO 25600（Z 6はISO 51200）に制限されます。

※3 動画撮影メニュー【ISO感度設定】の【制御上限感度】でISO感度の上限を設定できます。

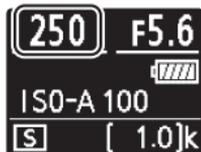
※4 動画撮影メニュー【ISO感度設定】の【Mモード時の感度自動制御】を【する】に設定した場合、【制御上限感度】でISO感度の上限を設定できます。

M (マニュアル)

- シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星などを長時間露出（バルブ撮影、タイム撮影、□79）で撮影する場合にも使用します。
- 露出インジケータを確認しながら、コマンドダイヤルを回してシャッタースピードと絞り値を設定します。
- メインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピード表示が変化します。シャッタースピードは1/8000～30秒、**Bulb**（バルブ）、**Time**（タイム）、x200に設定できます。



画像モニター



表示パネル

- サブコマンドダイヤルを回すと絞り値が変化します。



画像モニター



表示パネル

- 設定できる最小絞り値、開放絞り値はレンズの種類によって異なります。
- 設定したシャッタースピードと絞り値はロックできます（□148）。

✓ 露出インジケータについて

自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が、画像モニターとファインダーに表示されます。この「露出インジケータ」の見方は次の通りです（表示内容はカスタムメニュー b1 「露出設定ステップ幅」の設定によって変化します）。

	【露出設定ステップ幅】が【1/3段】のとき		
	適正露出の場合	1/3段 アンダーの場合	3 1/3段以上 オーバーの場合
画像モニター			
ファインダー			

✓ 露出の制御ができないときの警告について

光量がカメラの測光範囲を超えて露出の制御ができない場合は、露出インジケータが点滅して警告します。

ヒント：撮影モードM時の感度自動制御機能について

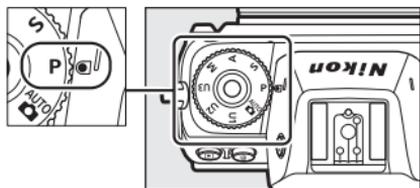
感度自動制御機能（□83）を使用すると、設定したシャッタースピードと絞り値で適正露出になるようにISO感度が自動的に制御されます。

U1、U2、U3（ユーザーセッティングモード）

よく使う機能（ユーザーセッティング）を、あらかじめ撮影モードダイヤルU1～U3に登録すると、撮影モードダイヤルを切り換えるだけで、登録したユーザーセッティングの内容で撮影できます。

■ ユーザーセッティングの登録

1 登録したい撮影モードを選ぶ



2 登録したい撮影機能を設定する

次の撮影機能を登録できます。

- 静止画撮影メニュー項目
- 動画撮影メニュー項目
- カスタムメニュー項目
- 撮影モード、シャッタースピード（撮影モード**S**、**M**）、絞り値（撮影モード**A**、**M**）、プログラムシフト（撮影モード**P**）、露出補正、調光補正など

3 セットアップメニュー [ユーザーセッティングの登録] を選ぶ

セットアップメニュー [ユーザーセッティングの登録] を選んでマルチセレクトの \odot を押します。



4 設定を登録したいユーザーセッティングモードを選ぶ

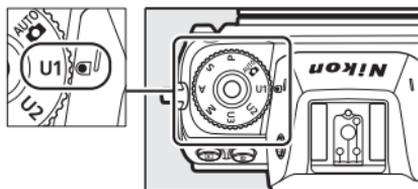
[U1に登録]、[U2に登録] または [U3に登録] のいずれかを選んで、 \odot を押します。

5 ユーザーセッティングを登録する

☺☻で「はい」を選んでOKボタンを押すと、選んだユーザーセッティングモードに現在の設定内容が登録されます。

6 登録したユーザーセッティングで撮影する

撮影モードダイヤルをU1～U3に合わせると、登録したユーザーセッティングの内容で撮影できます。



☑ U1、U2、U3に登録できない撮影メニュー項目

リリースモードの設定は登録できません。また、次のメニュー項目は登録できません。

- 静止画撮影メニュー
 - [記録フォルダー設定]
 - [撮像範囲設定]
 - [カスタムピクチャーコントロール]
 - [多重露出]
 - [インターバルタイマー撮影]
 - [タイムラプス動画]
 - [フォーカスシフト撮影]
- 動画撮影メニュー
 - [撮像範囲設定]
 - [カスタムピクチャーコントロール]

■ 登録したユーザーセッティングのリセット

- 1 セットアップメニュー [ユーザーセッティングのリセット] を選ぶ
セットアップメニュー [ユーザーセッティングのリセット] を選んでマルチセレクターの  を押します。



- 2 リセットしたいユーザーセッティングモードを選ぶ
[U1をリセット]、[U2をリセット] または [U3をリセット] のいずれかを選んで、 を押します。

- 3 ユーザーセッティングをリセットする
  で [はい] を選んで  ボタンを押すと、選んだユーザーセッティングモードに登録された設定内容が、初期設定（撮影モード P）に戻ります。

長時間露出で撮影する（撮影モードMのみ）

長時間露出撮影には、バルブ撮影とタイム撮影の2種類があります。花火や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに使います。



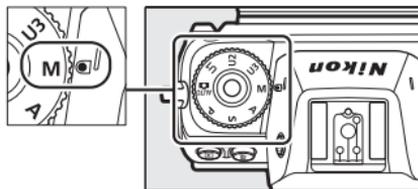
シャッタースピードをBulbに設定し、絞り値をF25にして35秒間の長時間露出撮影した場合の画像

バルブ撮影	シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままになり、シャッターボタンを放すとシャッターが閉じます。
タイム撮影	シャッターボタンを全押しするとシャッターが開いたままになり、もう一度押すとシャッターが閉じます。

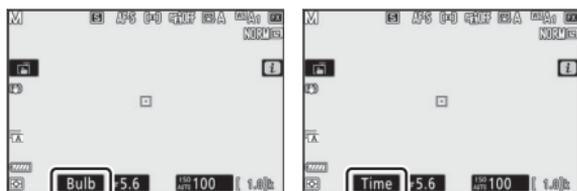
■ 長時間撮影の手順

1 三脚などを使ってカメラを固定する

2 撮影モードダイヤルをMに合わせる



3 メインコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを Bulb (バルブ) またはTime (タイム) にする



バルブ撮影

タイム撮影

4 ピントを合わせて、長時間露出撮影を開始する

- **バルブ撮影**：シャッターボタンを全押しして、長時間露出撮影を開始します。シャッターボタンは押し続けてください。
- **タイム撮影**：シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開き、長時間露出撮影を開始します。

5 長時間露出撮影を終了する

- **バルブ撮影**：シャッターボタンを放すと、長時間露出撮影は終了します。
- **タイム撮影**：もう一度シャッターボタンを全押しします。

長時間露出について

- 露光時間が長くなると、画像にノイズ（ざらつき、むら、輝点）が発生することがあります。
- 静止画撮影メニュー「**長秒時ノイズ低減**」を「**する**」に設定すると、画像に発生するむらや輝点が低減されます。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、電源としてフル充電したLi-ionリチャージャブルバッテリー、または別売のパワーコネクターとACアダプターをお使いいただくことをおすすめします。
- 手ブレを抑えるために三脚、別売のリモートコードやワイヤレスリモートコントローラーなどの使用をおすすめします。

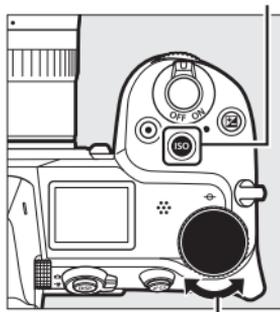
ISOボタン

撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度（ISO感度）を変更できます。一般的に、ISO感度を高くするほど、より高速のシャッタースピードで撮影できます（同じ被写体を同じ絞り値で撮影する場合）。

ISO感度の設定方法

- **ISO** ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回します。
- ISO感度はISO 64～25600（Z 6はISO 100～51200）の間で設定できます。また、ISO 64（Z 6はISO 100）から約0.3段～約1段の範囲での減感と、ISO 25600（Z 6はISO 51200）から約0.3段～約2段の範囲での増感ができます。
- 撮影モードが☼の場合、ISO-A（AUTO）も選べます。
- 設定した ISO 感度は撮影画面と表示パネルに表示されます。

ISOボタン



メインコマンドダイヤル



▼ ISO感度を高く設定した場合

ISO感度を高くするほど暗い場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効果的です。ただし、撮影した画像に多少ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。

▼ 増感域の高感度（Hi 0.3～Hi 2）に設定した場合

ISO感度を【Hi 0.3】に設定すると、Z 7はISO 25600、Z 6はISO 51200に対して約0.3段分増感し（Z 7はISO 32000相当、Z 6はISO 64000相当）、【Hi 2】では約2段分の増感になります（Z 7はISO 102400相当、Z 6はISO 204800相当）。これらのISO感度に設定したときは、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生しやすくなります。

▼ 減感域の低感度（Lo 0.3～Lo 1）に設定した場合

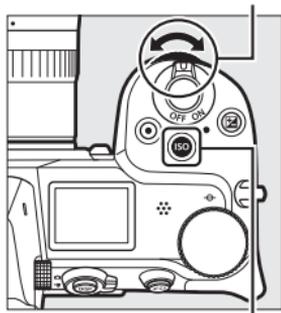
ISO感度を【Lo 0.3】に設定すると、Z 7はISO 64、Z 6はISO 100に対して約0.3段分減感します（Z 7はISO 50相当、Z 6はISO 80相当）。【Lo 1】では約1段分の減感になります（Z 7はISO 32相当、Z 6はISO 50相当）。明るい場所で絞りを開きたい場合や、スローシャッターを使用したい場合などに使用してください。これらのISO感度で撮影した画像は、ハイライト側に階調とびが発生することがあります。通常の撮影ではZ 7は【64】、Z 6は【100】以上をお使いください。

感度自動制御機能

撮影モードP、S、A、Mで設定したISO感度で適正露出が得られない場合に、カメラが自動的にISO感度を変更する機能です。撮影時にISO感度が高くなりすぎないように、上限感度（Z 7は100～Hi 2、Z 6は200～Hi 2）を設定することもできます。

- **ISO** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと**ISO AUTO**（感度自動制御する）と**ISO**（感度自動制御しない）に切り換えられます。

サブコマンドダイヤル

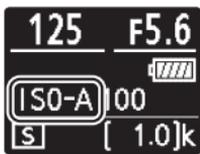


ISOボタン

- 感度自動制御する場合、撮影画面には**ISO AUTO**、表示パネルには**ISO-A**が表示されます。感度が自動制御されると、制御されたISO感度が表示されます。



画像モニター



表示パネル

- 制御上限感度は静止画撮影メニュー **[ISO感度設定]** で設定できます。

☑ 感度自動制御についてのご注意

- **[制御上限感度]** で設定したISO感度よりも **[ISO感度設定]** で設定したISO感度が高い場合、**[ISO感度設定]** で設定したISO感度を制御上限感度として撮影します。
- フラッシュ撮影時のシャッタースピードはカスタムメニュー e1 **[フラッシュ撮影同調速度]** と e2 **[フラッシュ時シャッタースピード制限]** で設定した範囲内に制限されます。

☒ (露出補正) ボタン

カメラが制御する適正露出値を意図的にずらせます。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。



-1段補正



露出補正なし

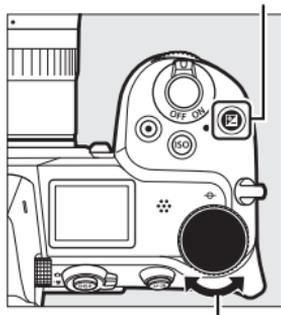


+1段補正

露出補正の設定方法

- ☒ ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。
- 露出補正は、1/3段ステップで±5段の範囲で設定できます。動画の場合は±3段の範囲で設定できます。
- 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補正してください。
- 撮影モードが  の場合、露出補正はできません。
- 露出補正を設定すると、表示パネルに設定した補正量が表示されます。
- 露出補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正量の設定は解除されません。

☒ ボタン

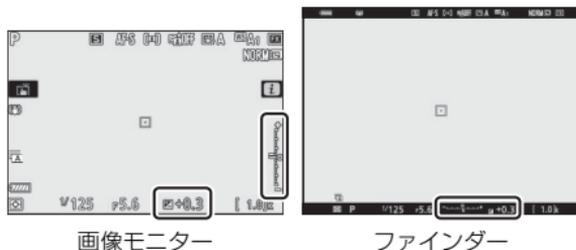


メインコマンドダイヤル



表示パネル

- 静止画撮影時には**☑**アイコンとインジケーターが、動画撮影時には**☑**アイコンが撮影画面に表示されます。**☑**ボタンを押すと補正量を数字で確認できます。



☑ 撮影モードMでの露出補正について

- 撮影モードが**M**のときは、露出のインジケーター表示が変わるだけで、設定したシャッタースピードと絞り値は変わりません。
- **☑**ボタンを押すと補正量を数字とインジケーターで確認できます。
- 感度自動制御機能(☐83)を使用している場合、補正量に応じてISO感度が自動的に制御されます。

☑ 別売スピードライト使用時の露出補正

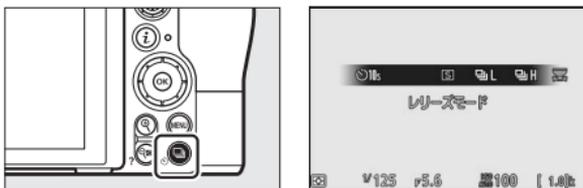
別売スピードライト使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とスピードライトの発光量の両方に補正が行われ、画像全体の明るさが変わります。背景の明るさだけを補正することもできます(カスタムメニューe3 [フラッシュ使用時の露出補正])。

📷 (🕒) (リリースモード、セルフタイマー) ボタン

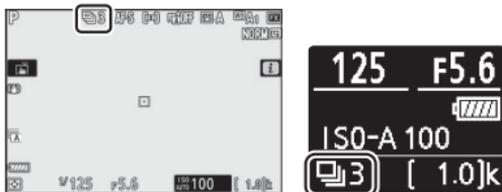
シャッターをきる（リリースする）ときの動作を設定できます。

リリースモードの設定方法

- 📷 (🕒) ボタンを押してからメインコマンドダイヤルを回してリリースモードを設定し、OK ボタンを押して決定します。



- 設定したリリースモードは撮影画面と表示パネルに表示されます。



画像モニター

表示パネル

■ 静止画モードの場合

📷 1コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。
📷 L 低速連続撮影	<ul style="list-style-type: none">シャッターボタンを全押ししている間、設定した速度で連続撮影します。リリースモード設定画面で低速連続撮影が選ばれている状態でサブコマンドダイヤルを回すと、連続撮影速度を設定できます。連続撮影速度は1コマ/秒～5コマ/秒の間で設定できます。
📷 H 高速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、最大約5.5コマ/秒で連続撮影します。

 高速連続撮影 (拡張)	<ul style="list-style-type: none"> シャッターボタンを全押ししている間、最大約9コマ/秒（Z 6は約12コマ/秒）で連続撮影します。 別売のスピードライトは発光しません。 フリッカー低減撮影の効果は無効になります。
 セルフタイマー	セルフタイマー撮影ができます（□90）。

✓ 連続撮影時の撮影画面について

低速連続撮影および高速連続撮影の場合、連続撮影中でも被写体の動きがリアルタイムに表示されます。

✓ 連続撮影速度について

連続撮影時の最大撮影速度は、カメラの設定により異なります。

リリースモード	画質モード	記録ビットモード	サイレント撮影	
			しない	する
低速連続撮影	JPEG/TIFF	—	設定したコマ/秒	設定したコマ/秒※1
	RAWを含む画質モード	12ビット		設定したコマ/秒※2
		14ビット		
高速連続撮影	JPEG/TIFF	—	約5.5コマ/秒	Z 7：約4コマ/秒 Z 6：約4.5コマ/秒
	RAWを含む画質モード	12ビット		Z 7：約3.5コマ/秒 Z 6：約4コマ/秒
		14ビット		Z 7：約5コマ/秒 Z 6：約5.5コマ/秒
高速連続撮影 (拡張)	JPEG/TIFF	—	Z 7：約9コマ/秒 Z 6：約12コマ/秒	Z 7：約8コマ/秒 Z 6：約12コマ/秒
	RAWを含む画質モード	12ビット	Z 7：約8コマ/秒 Z 6：約9コマ/秒	Z 7：約6.5コマ/秒 Z 6：約8コマ/秒
		14ビット		

※1 5コマ/秒に設定している場合は約4コマ/秒（Z 6は約4.5コマ/秒）になります。

※2 Z 7で4コマ/秒以上に設定している場合は約3.5コマ/秒になります。Z 6で5コマ/秒に設定している場合は約4コマ/秒になります。

✔ 連続撮影についてのご注意

- メモリーカードの性能や撮影条件によっては、数十秒から1分間程度メモリーカードアクセスランプが点灯します。メモリーカードアクセスランプの点灯中にカメラからメモリーカードを取り出さないでください。データが消失するだけでなく、カメラとメモリーカードに不具合が生じるおそれがあります。
- メモリーカードアクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、撮影された全ての画像がメモリーカードに記録されてから電源が切れます。
- 連続撮影時にバッテリーの残量がなくなった場合は、撮影は行わず、撮影済みの画像データがメモリーカードに記録されて終了します。

✔ 高速連続撮影（拡張）撮影時のご注意

カメラの設定によっては、連続撮影中に露出が安定しないことがあります。露出の変化が気になる場合は、AEロック（ \square 92）を行って連写中の露出を固定してください。

✔ 連続撮影可能コマ数について

- シャッターボタンを半押しすると、記録可能コマ数表示部に連続撮影可能コマ数が表示されます。



- 表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその目安です。カメラの設定や撮影条件によって増減することがあります。

■■ 動画モードの場合

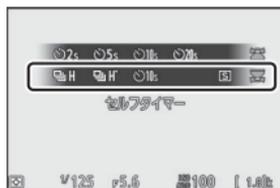
動画モード中の静止画撮影 (□47) のリリースモードを設定できません。

📷 1コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。1回の動画撮影中に撮影できる静止画は、最大50コマです。
📹 連続撮影	<ul style="list-style-type: none">• シャッターボタンを全押ししている間、最大3秒間 (Z 6は最大2秒間) 連続撮影します。• 連続撮影速度は動画撮影メニュー「画像サイズ/フレームレート」で設定しているフレームレートにより異なります。• 動画を撮影している間は1コマ撮影になります。

セルフタイマー撮影

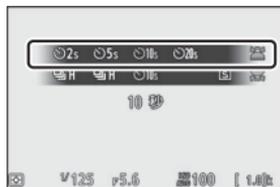
シャッターボタンを全押しした後、設定した時間が過ぎると、自動的にシャッターがきれます。

- 1  (M) ボタンを押し、メインコマンドダイヤルを回して (S) (セルフタイマー) に合わせる



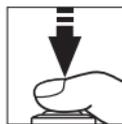
- 2 サブコマンドダイヤルを回してシャッターがきれまでの時間を設定する

 ボタンを押しして決定します。



- 3 構図を決め、ピントを合わせる

フォーカスモードが [AF-S] でピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態ではセルフタイマーは作動しません。



- 4 セルフタイマー撮影を開始する

- セルフタイマー設定時は撮影画面に (S) アイコンが表示されます。
- シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅します。撮影2秒前になると点滅から点灯に変わります。

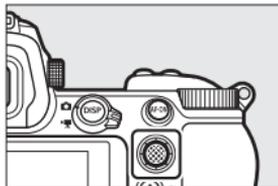


セルフタイマーの撮影間隔と撮影コマ数について

カスタムメニュー c2 [セルフタイマー] で撮影するコマ数、連続撮影するときの撮影間隔を設定できます。

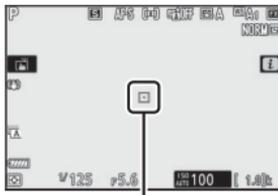
サブセレクター

サブセレクターを倒すと、フォーカスポイントを選ぶことができます。また、サブセレクターの中央を押すとAEロックとフォーカスロックを同時に行います。



フォーカスポイントの移動

AFエリアモード (□54) がオートエリアAF以外の場合、撮影画面でサブセレクターを倒した方向にフォーカスポイントを移動できます。



フォーカスポイント

AEロック

- 被写体の特定の部分を測光して露出を決め、そのまま構図を変えて撮影できます。
- AEロックする場合、測光モードは中央部重点測光またはスポット測光に設定することをおすすめします。

フォーカスロック

- フォーカスモードが **AF-C** の場合にフォーカスを固定したいときに使用します。
- フォーカスロックする場合、AFエリアモードをオートエリアAF以外に設定してください。

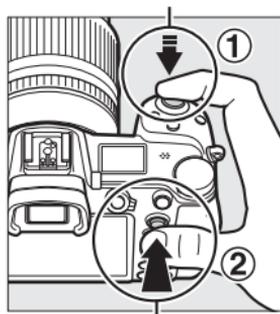
AEロック/フォーカスロックの方法

1 露出とピントを合わせたい被写体にフォーカスポイントを重ね、シャッターボタンを半押しする

2 サブセレクターの中央を押す

- サブセレクターの中央を押している間は、露出とピントが固定（ロック）されます。構図を変えても露出は変わりません。
- 画像モニターなどに**AE-L**マークが点灯します。

シャッターボタン

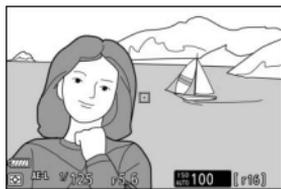


サブセレクター



3 サブセレクターの中央を押したまま、構図を決めて撮影する

被写体との距離は変えないでください。AEロック/フォーカスロック後に被写体との距離が変化した場合、いったんロックを解除し、ピントを合わせ直してください。



✔ **フォーカスモードがAF-Sの場合のフォーカスロックについて**
シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます。サブセレクターの中央を押してピントを固定することもできます。

✔ **シャッターボタンの半押しで露出を固定するには**
カスタムメニューc1 [シャッターボタンAEロック] を [する (半押し)] に設定すると、シャッターボタンの半押しで露出を固定できます。

✔ **ピントを固定したまま繰り返し撮影したいときは**

- サブセレクターの中央を押してフォーカスロックを行った場合は、サブセレクターの中央を押したままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。
- シャッターボタンの半押しでフォーカスロックした場合は、シャッターをきった後にシャッターボタンを半押しの状態に戻し、そのままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。

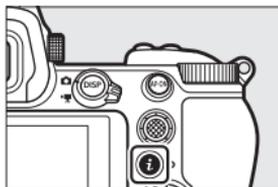


A series of horizontal lines for writing, with a dark grey rectangular block on the left side.

iメニューを使う

iメニューについて

使用頻度の高い機能の設定を素早く変更できます。**i**ボタンを押すと、**i**メニューが表示されます。



- 設定したい項目をマルチセレクターで選んで**OK**ボタンを押すと、選択項目が表示されます。選択項目を選んで**OK**ボタンを押すと、設定が変更されて**i**メニュー画面に戻ります。



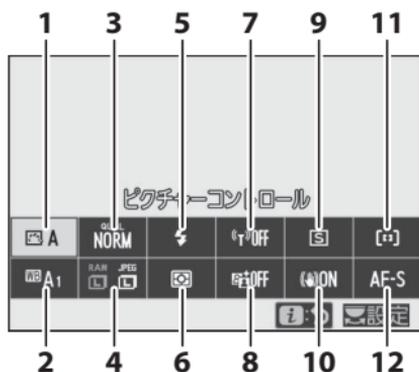
- 設定を変更せずに1つ前の画面に戻るには、**i**ボタンを押してください。

ヒント：コマンドダイヤルで設定する

- i**メニュー画面でメインコマンドダイヤルを回すと、選んでいる項目の設定を変更できます。設定した項目にさらに選択肢がある場合、サブコマンドダイヤルを回して設定を変更できます。
- 項目によってはメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルのどちらでも設定できるものがあります。
- OK**ボタンを押すと決定します。マルチセレクターで他の項目を選んだり、シャッターボタンを半押ししても設定が決定されます。



静止画モード



1	ピクチャーコントロール	96	7	Wi-Fi通信機能	110
2	ホワイトバランス	100	8	アクティブD-ライティング	111
3	画質モード	106	9	リリースモード	112
4	画像サイズ	107	10	手ブレ補正	113
5	フラッシュモード	108	11	AFエリアモード	114
6	測光モード	109	12	フォーカスモード	114

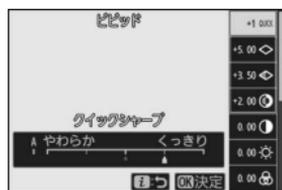
ピクチャーコントロール

記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。

A オート	<ul style="list-style-type: none">• [スタンダード] をもとに、色合いや階調をカメラが自動的に調整します。• 人物を撮影するシーンでは、[スタンダード] に比べて人物の肌を柔らかく表現した画像になります。• 屋外のシーンでは、[スタンダード] に比べて青空や草木などの色が鮮やかな画像になります。
SD スタンダード	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。ほとんどの撮影状況に適しています。
NL ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。

 ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
 モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
 ポートレート	人物の肌が滑らかで自然な画像になります。
 風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。
 フラット	シャドウ部からハイライト部まで幅広く情報を保持した画像になります。撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。
Creative Picture Control  01 ~  20 (クリエイティブピクチャーコントロール)	<ul style="list-style-type: none"> 色合いや階調、彩度などを細やかに作りこんだ多彩な効果により、さまざまな雰囲気表現して撮影できます。 [ドリーム]、[モーニング]、[ポップ]、[サンデー]、[ソンバー]、[ドラマ]、[サイレンス]、[ブリーチ]、[メランコリック]、[ピュア]、[デニム]、[トイ]、[セピア]、[ブルー]、[レッド]、[ピンク]、[チャコール]、[グラフィット]、[バイナリー]、[カーボン] の20種類があります。

- ピクチャーコントロール選択画面で  を押すと、好みに合わせて調整できます。撮影画面を見ながら色味などを調整できます (□98)。

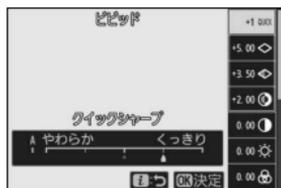


- 設定したピクチャーコントロールは、撮影画面に表示されます。



■■ ピクチャーコントロールの微調整

iメニューで [ピクチャーコントロール] を選んで **OK** ボタンを押すと、ピクチャーコントロールの選択項目が表示されます。調整したいピクチャーコントロールを選んで **△** を押すと撮影画面を見ながら調整できます。



- **△** / **▽** で調整する項目を選びます。 **△** / **▽** を押すと1ステップ刻みで、サブコマンドダイヤルを回すと0.25ステップ刻みで値を調整します。
- 調整できる項目は、選んだピクチャーコントロールによって異なります。
- **ESC** ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。
- **OK** ボタンを押すと調整値を決定して iメニュー画面に戻ります。
- ピクチャーコントロールを微調整すると、ピクチャーコントロールのアイコンにアスタリスク (*) が表示されます。



✓ ピクチャーコントロール調整時の△マークについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示される△マークは、前回調整した値を示しています。



✓ 調整項目の [A] (オート) について

- [A] (オート) がある項目では、[A] を選ぶと自動で調整されます。
- 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がりが具合は変化します。

ヒント： [A オート] を選んでいる場合

オートの調整レベルを [A-2] ~ [A+2] から選べます。



■■ ピクチャーコントロールの調整項目

適用度	Creative Picture Controlの効果をどれだけ適用するかを調整します。
クイックシャープ	[クイックシャープ] を調整すると、画像のシャープさを調整する [輪郭強調]、[ミドルレンジシャープ]、[明瞭度] の各項目をバランスよく調整します。各項目を個別に調整することも可能です。
輪郭強調	• [輪郭強調]：画像の精緻な部分や、被写体の輪郭部分のシャープさを調整します。
ミドルレンジシャープ	• [ミドルレンジシャープ]：[輪郭強調] と [明瞭度] の中間の細かさの模様や線に対してシャープさを調整します。
明瞭度	• [明瞭度]：画像の階調や明るさを維持しながら、画像全体や太めの線のシャープさを調整します。
コントラスト	画像のコントラストを調整できます。
明るさ	白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。
色の濃さ (彩度)	画像の彩度 (色の鮮やかさ) を調整できます。
色合い (色相)	画像の色合いを調整できます。
フィルター効果	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。
調色	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。調色の項目 ([B&W] 以外) を選んで  を押すと、さらに色の濃淡を選べます。
色の濃淡	適用するCreative Picture Controlの色の濃さを調整できます。

[フィルター効果] について

[フィルター効果] には、次のような効果があります。

Y (黄※)	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。[Y] → [O] → [R] の順にコントラストが強くなります。
O (オレンジ※)	
R (赤※)	
G (緑※)	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

※ 市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。

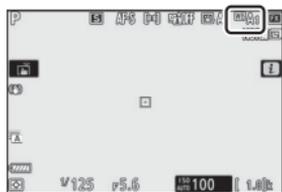
ホワイトバランス

ホワイトバランスを変更できます。ホワイトバランスの詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」の「ホワイトバランス」(□63) もご覧ください。

項目
WB A オート
WB A ₀ 白を優先する
WB A ₁ 曇り気を残す
WB A ₂ 電球色を残す
A 自然光オート
 晴天
 曇天
 晴天日陰
 電球

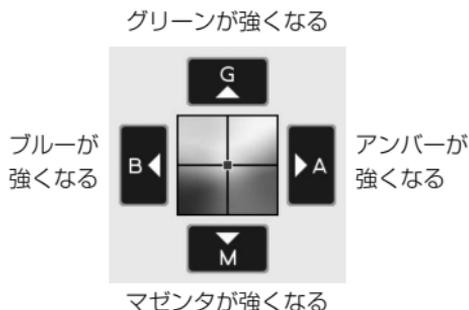
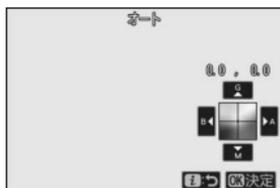
項目
 蛍光灯
ナトリウム灯混合光
電球色蛍光灯
温白色蛍光灯
白色蛍光灯
昼白色蛍光灯
昼光色蛍光灯
高温度の水銀灯
WB  フラッシュ
K 色温度設定
PRE プリセットマニュアル

- [オート] または [蛍光灯] が選ばれている状態で  を押すと、それぞれの種類が選べます。
- 設定したホワイトバランスは、撮影画面に表示されます。

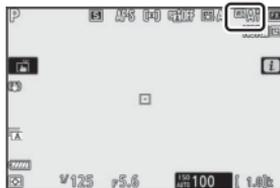


■■ ホワイトバランスの微調整

iメニューで [ホワイトバランス] を選んで **OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスの選択項目が表示されます。設定したいホワイトバランスを選び（[色温度設定] 以外）、調整画面が出るまで **OK** を押すと、ホワイトバランスを調整できます。画像モニターを見ながら色味を調整できます。

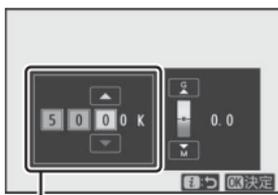


- 画面上の矢印をタッチするか、マルチセレクターを押すと値を変更できます。
- **OK** ボタンを押すと調整値を決定して **i**メニュー画面に戻ります。
- ホワイトバランスを微調整すると、ホワイトバランスのアイコンにアスタリスク (*) が表示されます。

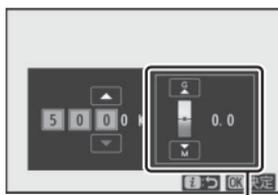


■ 色温度の設定

iメニューで [ホワイトバランス] を選んで **OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスの選択項目が表示されます。[色温度設定] を選んで **OK** を押すと、色温度を設定できます。



A (アンバー) および
B (ブルー) 方向



G (グリーン) および
M (マゼンタ) 方向

- **▲▼** を押して A (アンバー) および B (ブルー) 方向の色温度の桁を選びます。また、G (グリーン) および M (マゼンタ) 方向の色温度にカーソルを移動できます。
- **←→** を押して数値を設定します。
- **OK** ボタンを押すと色温度を決定して iメニュー画面に戻ります。
- G (グリーン)、M (マゼンタ) 方向の色温度を 0 以外に設定すると、ホワイトバランスのアイコンにアスタリスク (＊) が表示されます。

✔ 色温度設定についてのご注意

- 光源が蛍光灯のときは、色温度設定を使わず、**☼** (蛍光灯) に設定してください。
- ホワイトバランスの色温度を指定したときは、試し撮りをして、設定した色温度が撮影状況に適しているかどうかを確認することをおすすめします。

■ 基準となる白を取得して設定 (プリセットマニュアル)

カクテル照明や特殊照明下で撮影する場合、WB A (オート) や  (電球)、色温度設定では望ましいホワイトバランスが得られないことがあります。その場合、撮影する照明下で白またはグレーの被写体を撮影してプリセットマニュアルデータを取得し、それを基準にしてホワイトバランスを設定します。プリセットマニュアルデータは最大6つまでカメラに保存できます。

- 1 *i*メニューの [ホワイトバランス] で [プリセットマニュアル] を選んでマルチセクターの  を押す



- 2 新規取得するプリセットマニュアルデータの保存場所を選ぶ

- 保存場所は [d-1] ~ [d-6] から選べます。
-  ボタンを押して決定すると、*i*メニュー画面に戻ります。



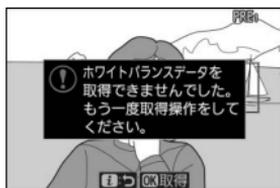
- 3 *i*メニューの [ホワイトバランス] を選んだ状態で  ボタンを長押しし、プリセットマニュアル取得モードにする

- プリセットマニュアル取得モードになると、撮影画面と表示パネルに **PRE** が点滅します。
- フォーカスポイントが  に変更されます。



4 □を被写体の白またはグレーの部分に重ね、プリセットマニュアルデータを取得する

- □はマルチセレクターで移動できます。
- シャッターボタンを全押しするかOKボタンを押すとプリセットマニュアルデータを取得できます。
- 画像モニターをタッチすると、その場所に□が移動してプリセットマニュアルデータを取得できます。
- 別売のスピードライトを装着している場合は、□を移動できません。カメラを動かして画面の中央部分に被写体の白またはグレーの部分を重ねてください。
- データが取得できなかった場合は、撮影画面にメッセージが表示されてプリセットマニュアル取得モードの状態に戻ります。□の位置を変えるなどして、再度プリセットマニュアルデータを取得してください。



5 iボタンを押してプリセットマニュアル取得モードを終了する

✔ プリセットマニュアルについて

静止画撮影メニュー [ホワイトバランス] で [プリセットマニュアル] を選ぶと、取得したプリセットマニュアルデータを管理できます。撮影済み画像のホワイトバランスのデータをプリセットマニュアルとして使用することや、コメントの記入およびプロテクト設定ができます。

✔ ホワイトバランスのプロテクト設定について

プロテクト設定されたプリセットマニュアルデータが選ばれている場合、プリセットマニュアルデータは新規取得できません（プリセットマニュアルのアイコンの横に **On** アイコンが表示されます）。

✔ プリセットマニュアルデータについて

- ご購入時のプリセットマニュアルデータ d-1～d-6 は、晴天モードと同じ色温度 5200K に設定されています。
- 静止画撮影メニュー [ホワイトバランス] の [プリセットマニュアル] を選ぶと、取得したプリセットマニュアルデータが表示されます。マルチセクターでプリセットマニュアルデータを選んで **OK** ボタンを押すと、選んだプリセットマニュアルを使って撮影できます。



✔ プリセットマニュアル取得モードの時間制限について

プリセットマニュアル取得モードの時間制限は、カスタムメニュー c3 [パワーオフ時間] の [半押しタイマー] で設定した時間になります。

✔ プリセットマニュアルデータ取得時の制限について

次の場合は、プリセットマニュアルデータを取得できません：

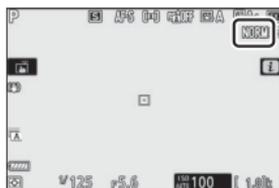
- HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影時
- 多重露出撮影時

画質モード

記録する画像の画質モードを選びます。

RAW+FINE★	
RAW+FINE	• RAWとJPEGの2種類の画像を同時に記録します。
RAW+NORMAL★	• カメラではJPEG画像のみを再生します。JPEG画像と同時に記録されたRAW画像はパソコンでのみ再生できます。
RAW+NORMAL	• RAW 画像と同時に記録された JPEG 画像をカメラ上で削除すると、RAW画像も削除されます。
RAW+BASIC★	
RAW+BASIC	
RAW	RAW画像を記録します。
FINE★	
FINE	• JPEG画像を記録します。画質はFINE、NORMAL、BASICの順に高くなります。
NORMAL★	• ★がある項目は画質優先となり、画質の劣化を抑えて圧縮します。
NORMAL	
BASIC★	• ★がない項目はサイズ優先となり、ファイルサイズがほぼ一定になるように圧縮します。
BASIC	
TIFF (RGB)	8ビット非圧縮のTIFF-RGB形式で記録します。

設定した画質モードは、撮影画面に表示されます。



ヒント：RAW画像について

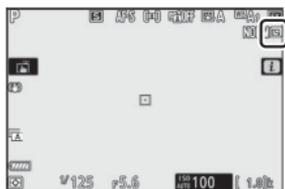
- ファイルの拡張子はNEFになります。
- RAW 画像から JPEG 画像などの汎用性の高い画像ファイルフォーマットに変換することをRAW現像と呼びます。RAW現像の際に、露出補正やホワイトバランス、ピクチャーコントロールなどの設定を調整できます。
- RAW現像では、RAW画像そのものは加工されないため、いろいろな設定で繰り返しRAW現像を行っても、RAW画像そのものの品質は維持されます。
- RAW現像は、カメラの画像編集メニュー [RAW現像] で行うか、パソコンでニコンソフトウェアNX Studioを使用すると行えます。NX Studioはニコンダウンロードセンターから無料でダウンロードできます。

画像サイズ

画像を記録するときの画像サイズを選びます。

RAW	RAW L	RAW画像のサイズを設定できます。[画質モード]でRAWを含む画質モードを選んでいる場合のみ設定できます。
	RAW M	
	RAW S	
JPEG/TIFF	L	JPEG/TIFF画像のサイズを設定できます。
	M	
	S	

設定した画像サイズは、撮影画面に表示されます。



■■ 画像サイズのピクセル数

画像のピクセル数は、静止画撮影メニュー [撮像範囲設定] の設定によって異なります。

Z7:

撮像範囲	画像サイズ		
	L	M	S
FX (36×24)	8256×5504	6192×4128	4128×2752
DX (24×16)	5408×3600	4048×2696	2704×1800
5:4 (30×24)	6880×5504	5152×4120	3440×2752
1:1 (24×24)	5504×5504	4128×4128	2752×2752
16:9 (36×20)	8256×4640	6192×3480	4128×2320

Z6:

撮像範囲	画像サイズ		
	L	M	S
FX (36×24)	6048×4024	4528×3016	3024×2016
DX (24×16)	3936×2624	2944×1968	1968×1312
1:1 (24×24)	4016×4016	3008×3008	2000×2000
16:9 (36×20)	6048×3400	4528×2544	3024×1696

フラッシュモード

別売スピードライトをカメラに装着した場合のフラッシュモードを設定できます。設定できる項目は、撮影モードによって異なります。

項目	設定できる撮影モード
 通常発光	AUTO  、P、S、A、M
 赤目軽減発光	AUTO  、P、S、A、M
 SLOW 赤目軽減+スローシャッター	P、A
 SLOW 通常発光+スローシャッター	P、A
 REAR 後幕発光	P、S、A、M
 発光禁止	AUTO  、P、S、A、M

設定したフラッシュモードは、撮影画面に表示されます。



測光モード

画面内のどの部分の明るさを、どのように測定するかを決めるための測光モードを選びます。

☉ マルチパターン測光	画面の広い領域を測光して、被写体の輝度（明るさ）分布、色、距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画像が得られます。
☉ 中央部重点測光	<ul style="list-style-type: none">• 画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。• 露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。• 測光範囲はカスタムメニュー b3 [中央部重点測光範囲] で変更できます。
□ スポット測光	<ul style="list-style-type: none">• フォーカスポイントに重なる $\phi 4$ mm 相当（全画面の約 1.5%）の部分だけを測光します。逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲での露出を基準にして撮影したい場合に適しています。• 測光エリアは、フォーカスポイントに連動します。ただし、AF エリアモード (□ 54) がオートエリア AF のときは中央のフォーカスポイントに相当する部分を測光します。
□* ハイライト重点測光	画面のハイライト部分を重点的に測光します。舞台撮影など、ハイライト部分の白とびを軽減して撮影したい場合に適しています。

設定した測光モードは、撮影画面に表示されます。



Wi-Fi通信機能

Wi-Fi通信機能のオン/オフを切り替えられます。

- Wi-Fi通信機能をオンにすると、パソコンやSnapBridgeアプリをインストールしたスマートフォンと無線接続することができます。
- Wi-Fi通信機能がオンになっていると、Wi-Fiアイコンが撮影画面に表示されます。



- Wi-Fi通信機能がオンの場合に **i**メニュー画面で **[Wi-Fi通信機能]** を選び、**OK** ボタンを押すと **[Wi-Fi接続を停止]** が表示されます。**OK** ボタンを押すと、無線通信を終了します。

ヒント：ネットワーク接続について

- カメラをパソコンやスマートフォンと無線で接続する方法については、「ネットワークガイド」をご覧ください。ネットワークガイドは、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

Z7 : https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/492/Z_7.html



Z6 : https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/493/Z_6.html



- SnapBridge アプリの詳しい使用方法などは SnapBridge アプリのヘルプをご覧ください。

アクティブD-ライティング

白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するのに効果的です。アクティブD-ライティングを設定したときは、測光モードをマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめします。



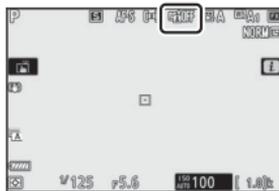
【しない】



【暗Aオート】

暗A オート	撮影シーンに応じて自動的にアクティブD-ライティングの効果の度合いを設定します。
暗H ⁺ より強め	
暗H 強め	効果の度合いは、強い順に【より強め】、【強め】、【標準】、【弱め】になります。
暗N 標準	
暗L 弱め	
暗OFF しない	アクティブD-ライティングを設定しません。

設定したアクティブD-ライティングの設定は、撮影画面に表示されます。



✓ アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影をするとき、撮影シーンによっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が強調される場合があります。
- 撮影モードがMのときは、【暗Aオート】に設定していても【暗N標準】相当の度合いに固定されます。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- ISO感度が高感度（Hi 0.3～Hi 2）および感度自動制御でISO感度が高感度に制御された場合は機能しません。

レリーズモード

シャッターをきる（レリーズする）ときの動作を設定できます。レリーズモードの詳細については「 (🕒) (レリーズモード、セルフタイマー) ボタン」(P86) も合わせてご覧ください。

項目	項目
 1コマ撮影	 高速連続撮影 (拡張)
 低速連続撮影	 セルフタイマー
 高速連続撮影	

- [低速連続撮影] が選ばれている状態で  を押すと、連続撮影速度を設定できます。



- [セルフタイマー] が選ばれている状態で  を押すと、シャッターボタンを全押ししてからシャッターがきるまでの時間と、撮影するコマ数を設定できます。



- 設定したレリーズモードは、撮影画面、表示パネルに表示されます。

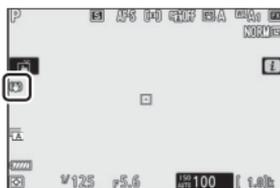


手ブレ補正

手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。表示される項目は、カメラに装着しているレンズによって異なります。

 する ノーマル	手ブレ補正効果が高く、静止している被写体を撮影する場合に適しています。
 スポーツ	スポーツなどの動きの変化が激しい被写体を撮影する場合に適しています。
 しない	手ブレ補正を行いません。

【しない】以外に設定すると、アイコンが撮影画面に表示されます。



✔ 手ブレ補正使用時のご注意

- 装着しているレンズによっては設定を変更できない場合があります。
- 撮影画面の表示が安定してから撮影することをおすすめします。
- 装着しているレンズによっては、手ブレ補正の原理上、シャッターリリース後に撮影画面の表示がわずかに動くことがあります。異常ではありません。
- 流し撮りする場合は【スポーツ】または【する】に設定することをおすすめします。【ノーマル】、【スポーツ】または【する】に設定して流し撮りなどでカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレだけが補正されます。
- 三脚を使用するときは、誤作動を防ぐため【しない】を選んでください。ただし、手ブレ補正機能を備えたレンズでは設定が異なる場合がありますので、レンズの使用説明書をご覧ください。なお、三脚を使っても雲台を固定しないときや、一脚を使用するときには、【ノーマル】、【スポーツ】または【する】に設定することをおすすめします。

AFエリアモード

フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。各項目の詳細な説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「AFエリアモード」(□54) も合わせてご覧ください。

項目	項目
 ピンポイントAF	 ワイドエリアAF (S)
 シングルポイントAF	 ワイドエリアAF (L)
 ダイナミックAF	 オートエリアAF

設定したAFエリアモードは、撮影画面に表示されます。



フォーカスモード

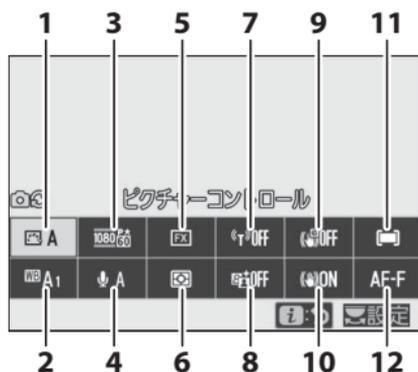
ピントの合わせ方を選べます。各項目の詳細な説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「フォーカスモード」(□52) も合わせてご覧ください。

項目
AF-S シングルAF
AF-C コンティニユアスAF
MF マニュアルフォーカス

設定したフォーカスモードは、撮影画面に表示されます。



動画モード



1	ピクチャーコントロール.....	116	7	Wi-Fi通信機能.....	121
2	ホワイトバランス.....	116	8	アクティブD-ライティング....	121
3	画像サイズ/フレームレート/ 画質.....	116	9	電子手ブレ補正.....	122
4	マイク感度.....	119	10	手ブレ補正.....	122
5	撮像範囲設定.....	120	11	AFエリアモード.....	122
6	測光モード.....	121	12	フォーカスモード.....	123

ヒント：【静止画の設定と同じ】

動画撮影メニュー【ピクチャーコントロール】、【ホワイトバランス】、【アクティブD-ライティング】または【手ブレ補正】で【静止画の設定と同じ】を選んでいる場合、**i**メニューの左上に📷🔄アイコンが表示されます。**i**メニューから設定する場合、静止画モードのときにピクチャーコントロールやホワイトバランスを変更すると動画モードでも、動画モードで設定を変更すると静止画モードでも同じ設定になります。



ピクチャーコントロール

ピクチャーコントロールを選べます。ピクチャーコントロールの詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」(□96)も合わせてご覧ください。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを選べます。ホワイトバランスの詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」(□100)も合わせてご覧ください。

画像サイズ/フレームレート/画質

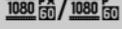
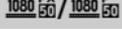
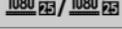
動画を記録するときの画像サイズ(ピクセル)とフレームレート、動画の画質を設定します。

■■ 動画の画質

[高画質]と[標準]があります。[高画質]を選ぶと[画像サイズ/フレームレート]のアイコンに★が表示されます。選んだ画像サイズ/フレームレートによっては[高画質]に固定される場合があります。

■ 画像サイズ/フレームレート

「画像サイズ/フレームレート」の設定と、それぞれの最大ビットレートおよび最長記録時間は次の通りです。ビットレートは画質の設定により異なります。

項目※1	最大ビットレート		最長記録時間
	高画質	標準	
 3840×2160 (4K UHD) 30p	144Mbps	—※2	29分59秒※4
 3840×2160 (4K UHD) 25p			
 3840×2160 (4K UHD) 24p			
 1920×1080 120p※3			
 1920×1080 100p※3			
 1920×1080 60p	56Mbps	28Mbps	
 1920×1080 50p	28Mbps	14Mbps	
 1920×1080 30p			
 1920×1080 25p			
 1920×1080 24p			
 1920×1080 30p 4倍スロー※3			36Mbps
 1920×1080 25p 4倍スロー※3			
 1920×1080 24p 5倍スロー※3			

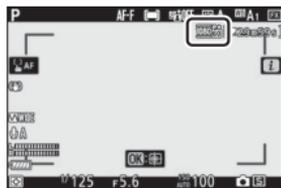
※1 120p：119.88コマ/秒 (fps)、100p：100コマ/秒、60p：59.94コマ/秒、50p：50コマ/秒、30p：29.97コマ/秒、25p：25コマ/秒、24p：23.976コマ/秒

※2 画質は「高画質」に固定されます。

※3 撮像範囲は「DX」（Z6は「FX」）に固定されます。また、AFエリアモードがオートエリアAFの場合に顔認識を行いません。

※4 動画は最大 8 個のファイルに分割されて記録されることがあります。その場合、各ファイルのファイルサイズは最大で4GBです。1回の撮影で作成されるファイルの数と1ファイルあたりの記録時間は「画像サイズ/フレームレート」および「動画の画質」の設定によって異なります。ただしこのカメラで初期化した32GBを超えるカードを使用した場合は、1回の動画撮影でファイルサイズが4GBを超えた場合でもファイルは分割されず1つのファイルに記録されます。

設定した [画像サイズ/フレームレート/画質] は、撮影画面に表示されます。



■ スローモーション動画について

[画像サイズ/フレームレート] で [1920×1080 30p 4倍スロー]、[1920×1080 25p 4倍スロー]、または [1920×1080 24p 5倍スロー] を選ぶとスローモーション動画を撮影できます。音声は記録されません。

- 例えば [1920×1080 30p 4倍スロー] の場合、120pのフレームレートで読み出した画像を30pの動画として記録します。約10秒間撮影した動画は、約40秒かけて再生されます。スポーツでのボールのインパクトの瞬間など、一瞬の出来事をゆっくりと見ることができます。



- 画像を読み出すときのフレームレートと、動画を記録および再生するときのフレームレートは次の通りです。

画像サイズ/フレームレート	画像を読み出すときのフレームレート※	動画を記録・再生するときのフレームレート※
1920×1080 30p 4倍スロー	120p	30p
1920×1080 25p 4倍スロー	100p	25p
1920×1080 24p 5倍スロー	120p	24p

※ 120p：119.88コマ/秒 (fps)、100p：100コマ/秒、30p：29.97コマ/秒、25p：25コマ/秒、24p：23.976コマ/秒

☑ スローモーション動画撮影時のご注意

次の機能など、スローモーション動画撮影中は使用できなくなる機能があります。

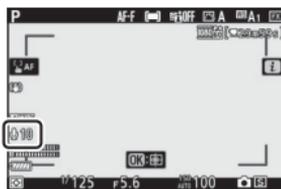
- フリッカー低減
- 電子手ブレ補正
- タイムコード出力

マイク感度

内蔵マイクまたは外部マイクの感度の程度を設定します。

A	カメラが自動的にマイク感度を調整します。
録音しない	音声は記録しません。
1 ~ 20	マイク感度を手動調整します。[1] ~ [20] の調整ができます。数字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなります。

- A以外に設定した場合、撮影画面にマイク感度が表示されます。
- 音声レベルインジケータの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示しています。マイク感度を調節してください。



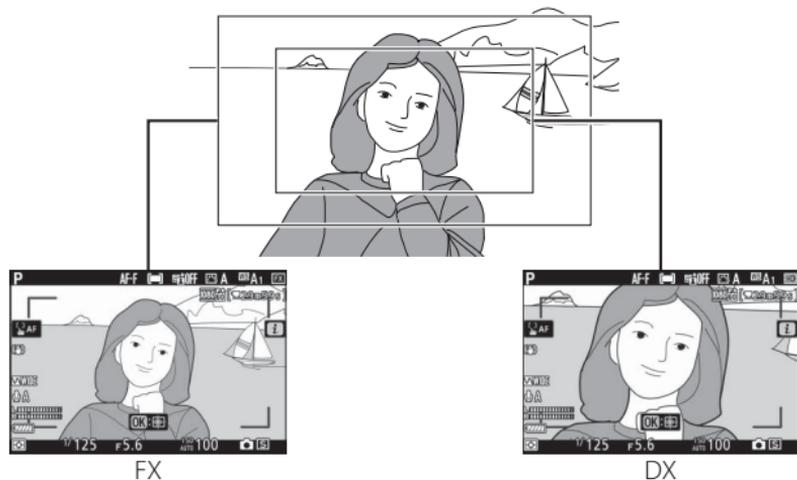
音声記録されていない動画の表示について

マイク感度を「録音しない」にして撮影した動画の場合、1コマ表示モード時と再生中に (音声なしマーク) が表示されます。



撮像範囲設定

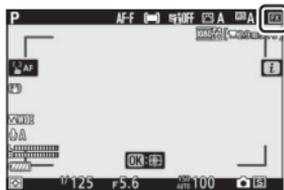
動画を記録するときの撮像範囲を設定します。撮像範囲には [FX] と [DX] があります。[FX] に設定した場合はFXベースの（動画）フォーマットに、[DX] に設定した場合はDXベースの（動画）フォーマットになります。動画モード時の撮像範囲は次の図のようになります。



- 撮像範囲のサイズは、FXベースの（動画）フォーマットとDXベースの（動画）フォーマットでは異なります。それぞれの撮像範囲のサイズは次の通りです。

フォーマット	画像サイズ	サイズ
FXベースの（動画） フォーマット	3840×2160	約35.9×20.2 mm
	1920×1080	Z7：約35.8×20.1 mm Z6：約35.9×20.1 mm
DXベースの（動画） フォーマット	3840×2160	Z7：約23.5×13.2 mm Z6：約23.4×13.2 mm
	1920×1080	Z7：約23.5×13.2 mm Z6：約23.4×13.1 mm

- 設定した撮像範囲は、撮影画面に表示されます。



測光モード

測光モードを選べます。測光モードの詳細な内容や設定方法などは「静止画モード」(□109) も合わせてご覧ください。

測光モードのご注意

動画モードの場合、[スポット測光] は選べません。

Wi-Fi通信機能

Wi-Fi通信機能のオン/オフを切り替えられます。Wi-Fi通信機能の詳細な内容や設定方法などは「静止画モード」(□110) も合わせてご覧ください。

アクティブD-ライティング

動画のアクティブD-ライティングの設定を選べます。アクティブD-ライティングの詳細な内容や設定方法などは「静止画モード」(□111) も合わせてご覧ください。

[静止画の設定と同じ]

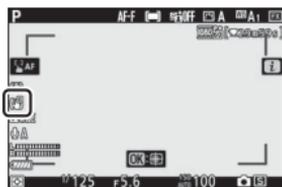
静止画撮影メニューのアクティブD-ライティングが[オート] のときに、動画撮影メニューで[静止画の設定と同じ] を選んだ場合は、[標準] と同じ設定になります。

電子手ブレ補正

動画撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。

する	<ul style="list-style-type: none">• 動画撮影時に電子手ブレ補正を行います。• 動画の画像サイズを1920×1080 120p、1920×1080 100pまたは1920×1080スローに設定している場合、電子手ブレ補正は機能しません。• [する]に設定すると、画角が小さくなり表示が少し拡大されます。• 動画のISO感度の上限はZ 7では25600、Z 6では51200に制限されます。
しない	電子手ブレ補正を行いません。

[する] に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。



手ブレ補正

動画撮影時に手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。手ブレ補正の詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」(□113) も合わせてご覧ください。

AFエリアモード

フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。AFエリアモードの詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「AFエリアモード」(□54) も合わせてご覧ください。

項目	項目
[□] シングルポイントAF	[WIDE-L] ワイドエリアAF (L)
[WIDE-S] ワイドエリアAF (S)	[■] オートエリアAF

フォーカスモード

ピントの合わせ方を選べます。フォーカスモードの詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「フォーカスモード」(P52) も合わせてご覧ください。

項目	項目
AF-S シングルAF	AF-F フルタイムAF
AF-C コンティニュアスAF	MF マニュアルフォーカス



A series of horizontal lines for writing, with a dark grey rectangular block on the left side.

メニュー一覧

ここでは各メニュー項目の一覧が記載されています。

ヒント：メニューの詳細について

各メニュー項目についての詳しい方法は活用ガイドまたはオンラインマニュアルをご覧ください。

活用ガイド：

Z 7：https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/492/Z_7.html



Z 6：https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/493/Z_6.html



オンラインマニュアル：

https://onlinemanual.nikonimglib.com/z7_z6/ja/



再生メニュー

削除	
選択画像削除	複数の画像を一括して削除するときに使います。
日付選択	
全画像削除	
再生フォルダー設定	
	初期設定：[全てのフォルダー]
(フォルダーグループ名)	ここで選んだフォルダーに保存されている画像が、再生時に表示されます。
全てのフォルダー	
記録中のフォルダー	

再生画面設定

情報追加	1コマ表示モードで表示する画像情報を追加できます。
フォーカスポイント	
再生画面の追加	
露出情報	
ハイライト	
RGBヒストグラム	
撮影情報	
統合表示	
画像のみ	

撮影直後の画像確認

初期設定：[しない]

する	撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。
する（画像モニター表示のみ）	
しない	

削除後の次再生画像

初期設定：[後ろのコマ]

後ろのコマ	画像を削除した後に表示する画像を設定できます。
前のコマ	
直前コマ送り方向に従う	

連続撮影後の再生画像

初期設定：[最後の画像]

先頭の画像	最後に撮影した画像が連続撮影の場合、画像を再生したときに連続撮影した最初のコマまたは最後のコマのどちらを表示するかを設定できます。
最後の画像	

縦位置自動回転

初期設定：[する]

する	縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示します。
しない	

スライドショー

開始	画像や動画を連続再生します。
再生画像の種類	
インターバル設定	

レーティング

選んだ画像にレーティングを設定できます。

静止画撮影メニュー

静止画撮影メニューのリセット

する	静止画撮影メニューをリセットして初期設定に戻します。
しない	

記録フォルダー設定

フォルダーグループ名変更	画像を保存するフォルダーを設定します。フォルダーを新しく作成することもできます。
フォルダー番号指定	
既存フォルダーから選択	

ファイル名設定

ファイル名設定	このカメラで撮影した画像のファイル名 DSC_nnnn.xxx または _DSCnnnn.xxx の「DSC」の3文字を任意に変更できます。
---------	--

撮像範囲設定

初期設定：[FX (36×24)]

FX (36×24)	撮像範囲を設定できます。[5:4 (30×24)] は Z7のみ選べます。
DX (24×16)	
5:4 (30×24)	
1:1 (24×24)	
16:9 (36×20)	

画質モード

初期設定：[NORMAL]

RAW + FINE ★	画像を記録するときの画質モードを設定できます。★がない項目はサイズ優先、★がある項目は画質優先となります。
RAW + FINE	
RAW + NORMAL ★	
RAW + NORMAL	
RAW + BASIC ★	
RAW + BASIC	
RAW	
FINE ★	
FINE	
NORMAL ★	
NORMAL	
BASIC ★	
BASIC	
TIFF (RGB)	

画像サイズ

JPEG/TIFF	画像を記録するときの画像サイズ（大きさ）をファイル形式ごとに設定できます。
RAW	

RAW記録

圧縮方式	RAW 画像を記録するときの圧縮方式や記録ビット数を設定します。
記録ビットモード	

ISO感度設定

ISO感度	静止画撮影時のISO感度に関する設定ができます。
感度自動制御	

ホワイトバランス

初期設定：[オート]

オート	光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定します。
自然光オート	
晴天	
曇天	
晴天日陰	
電球	
蛍光灯	
フラッシュ	
色温度設定	
プリセットマニュアル	

ピクチャーコントロール

初期設定：[オート]

オート	記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。
スタンダード	
ニュートラル	
ピビッド	
モノクローム	
ポートレート	
風景	
フラット	
ドリーム	
モーニング	
ポップ	
サンデー	
ソンバー	
ドラマ	
サイレンス	
ブリーチ	
メランコリック	
ピュア	
デニム	
トイ	
セピア	
ブルー	
レッド	
ピンク	
チャコール	
グラフィイト	
バイナリー	
カーボン	

カスタムピクチャーコントロール

編集と登録	「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。
登録名変更	
削除	
メモリーカードを使用	

色空間

初期設定：[sRGB]

sRGB	記録する静止画の色空間を指定できます。
Adobe RGB	

☑ 文字を入力するには

- 入力エリアに新しい文字を入力する場合は、キーボードエリアで文字をタッチしてください。マルチセレクターを操作して入力するキーボードエリアの文字上にカーソルを移動させ、**OK** ボタンを押しても入力できます。



キーボードエリア

文字種変更

- 入力エリアのカーソルを左右に移動する場合は、入力エリアをタッチするかメインコマンドダイヤルを回します。
- 文字種変更アイコンをタッチすると、アルファベット大文字/小文字/記号を切り換えられます。
- 入力エリアからあふれた文字は削除されます。
- 内容を確定し、文字入力を終了する場合は、**OK** ボタンを押します。
- 文字を1文字削除する場合は、削除する文字の上にカーソルを移動させ、**削除** ボタンを押します。
- 文字の入力をキャンセルするには、**MENU** ボタンを押します。

アクティブD-ライティング

初期設定：[しない]

オート	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。
より強め	
強め	
標準	
弱め	
しない	

長秒時ノイズ低減

初期設定：[しない]

する	シャッタースピードが遅いときに発生するノイズ（むら、輝点）を低減できます。
しない	

高感度ノイズ低減

初期設定：[標準]

強め	ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズ（ざらつき）を低減します。
標準	
弱め	
しない	

ヴィネットコントロール

初期設定：[標準]

強め	レンズの特性による周辺光量の低下をレンズに応じて軽減します。特に開放絞り側で撮影した場合に効果的です。
標準	
弱め	
しない	

回折補正

初期設定：[する]

する	レンズの絞りを絞り込んだときに画像の解像感が低下する、回折現象を補正します。
しない	

自動ゆがみ補正

初期設定：[する]

する	<ul style="list-style-type: none">• 広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。• 装着しているレンズによっては設定が[する]に固定され、メニューはグレーで表示されて選べません。
しない	

フリッカー低減撮影

初期設定：[しない]

する	蛍光灯や水銀灯などの光源下で生じるちらつきや横縞（フリッカー現象）の影響が少ないタイミングで撮影できます。
しない	

測光モード		初期設定：[マルチパターン測光]
マルチパターン測光	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法（測光モード）を設定できます。	
中央部重点測光		
スポット測光		
ハイライト重点測光		
フラッシュ発光		
発光モード	<ul style="list-style-type: none"> 別売のスピードライトを使用する場合の、発光モードとワイヤレス増灯撮影時の設定を行います。 装着しているスピードライトやアクセサリーによって、設定できる項目は異なります。 	
ワイヤレス設定		
増灯発光モード		
電波リモートフラッシュ情報		
フラッシュモード		初期設定：[通常発光]
通常発光	フラッシュモードを設定できます。	
赤目軽減発光		
赤目軽減＋スローシャッター		
通常発光＋スローシャッター		
後幕発光		
発光禁止		
フラッシュ調光補正		初期設定：[0.0]
-3.0～+1.0	調光補正量を設定できます。	
フォーカスモード		初期設定：[シングルAF]
シングルAF	フォーカスモードを設定できます。	
コンティニューAF		
マニュアルフォーカス		
AFエリアモード		初期設定：[シングルポイントAF]
ピンポイントAF	AFエリアモードを設定できます。	
シングルポイントAF		
ダイナミックAF		
ワイドエリアAF (S)		
ワイドエリアAF (L)		
オートエリアAF		

手ブレ補正

する	<ul style="list-style-type: none">• 手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。• 装着しているレンズによって、設定できる項目は異なります。
ノーマル	
スポーツ	
しない	

オートブラケティング

オートブラケティングのセット	オートブラケティングを設定できます。
コマ数	
補正ステップ	
効果の度合い	

多重露出

多重露出モード	2～10コマのRAWデータを重ねて写し込み、1つの画像として記録します。
コマ数	
合成モード	
全画像の保存	
確認撮影	
1コマ目の画像 (RAW) の指定	

HDR (ハイダイナミックレンジ)

HDRモード	輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します。
露出差	
スムージング	
合成前の画像を保存 (RAW)	

インターバルタイマー撮影

撮影開始	設定した撮影間隔 (インターバル) と撮影回数で自動的に撮影するインターバルタイマー撮影を行えます。
開始日時の設定	
撮影間隔	
撮影回数×1回のコマ数	
露出平滑化	
サイレント撮影	
撮影間隔優先	
撮影開始時の記録フォルダー	

タイムラプス動画

撮影開始	設定した撮影間隔で自動的に撮影を行い、撮影した静止画をつないで動画として記録できます。
撮影間隔	
撮影時間	
露出平滑化	
サイレント撮影	
撮像範囲設定	
画像サイズ/フレームレート	
撮影間隔優先	

フォーカスシフト撮影

撮影開始	ピント位置を変えながら自動的に連続撮影を行うフォーカスシフト撮影を行えます。
撮影回数	
フォーカスステップ幅	
待機時間	
露出固定	
ピーキングスタック画像	
サイレント撮影	
撮影開始時の記録フォルダー	

サイレント撮影

初期設定：[しない]

する	シャッター音を出さずに撮影できます。
しない	

● 動画撮影メニュー

動画撮影メニューのリセット

する	動画撮影メニューをリセットして初期設定に戻します。
しない	

ファイル名設定

このカメラで撮影した動画のファイル名 DSC_nnnn.xxx の「DSC」の3文字を任意に変更できます。

撮像範囲設定

初期設定：[FX]

FX	動画の撮像範囲を設定できます。
DX	

画像サイズ/フレームレート

初期設定：[1920×1080 60p]

3840×2160 30p	動画の画像サイズ（ピクセル）とフレームレートを設定します。
3840×2160 25p	
3840×2160 24p	
1920×1080 120p	
1920×1080 100p	
1920×1080 60p	
1920×1080 50p	
1920×1080 30p	
1920×1080 25p	
1920×1080 24p	
1920×1080 30p 4倍スロー	
1920×1080 25p 4倍スロー	
1920×1080 24p 5倍スロー	

動画の画質

初期設定：[高画質]

高画質	動画の画質を選べます。
標準	

動画記録ファイル形式

初期設定：[MOV]

MOV	動画のファイル形式を選べます。
MP4	

ISO感度設定

制御上限感度	動画モード時のISO感度に関する設定ができます。
Mモード時の感度自動制御	
Mモード時のISO感度	

ホワイトバランス

初期設定：[静止画の設定と同じ]

静止画の設定と同じ	動画モード時のホワイトバランスを設定できます。 [静止画の設定と同じ] を選ぶと、静止画撮影メニューの [ホワイトバランス] と同じ設定になります。
オート	
自然光オート	
晴天	
曇天	
晴天日陰	
電球	
蛍光灯	
色温度設定	
プリセットマニュアル	

ピクチャーコントロール

初期設定：[静止画の設定と同じ]

静止画の設定と同じ	動画モード時のピクチャーコントロールを設定できます。[静止画の設定と同じ]を選ぶと、静止画撮影メニューの[ピクチャーコントロール]と同じ設定になります。
オート	
スタンダード	
ニュートラル	
ビビッド	
モノクローム	
ポートレート	
風景	
フラット	
ドリーム	
モーニング	
ポップ	
サンデー	
ソンバー	
ドラマ	
サイレンス	
ブリーチ	
メランコリック	
ピュア	
デニム	
トイ	
セピア	
ブルー	
レッド	
ピンク	
チャコール	
グラフィイト	
バイナリー	
カーボン	

カスタムピクチャーコントロール

編集と登録	「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。
登録名変更	
削除	
メモリーカードを使用	

アクティブD-ライティング

初期設定：[しない]

静止画の設定と同じ	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い動画を記録できます。[静止画の設定と同じ] を選ぶと、静止画撮影メニューの [アクティブD-ライティング] と同じ設定になります。
より強め	
強め	
標準	
弱め	
しない	

高感度ノイズ低減

初期設定：[標準]

強め	ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズ(ざらつき) を低減します。
標準	
弱め	
しない	

ヴィネットコントロール

初期設定：[標準]

静止画の設定と同じ	動画モード時のヴィネットコントロールを設定できます。[静止画の設定と同じ] を選ぶと、静止画撮影メニューの [ヴィネットコントロール] と同じ設定になります。
強め	
標準	
弱め	
しない	

回折補正

初期設定：[する]

する	レンズの絞りを絞り込んだときに画像の解像感が低下する、回折現象を補正します。
しない	

自動ゆがみ補正

初期設定：[する]

する	<ul style="list-style-type: none">• 広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。• 装着しているレンズによっては設定が [する] に固定され、メニューはグレーで表示されて選べません。
しない	

フリッカー低減

初期設定：[オート]

オート	動画撮影中に、蛍光灯や水銀灯などの光源下で画面に生じるちらつきや横縞(フリッカー現象) を低減できます。
50 Hz	
60 Hz	

測光モード		初期設定：[マルチパターン測光]
マルチパターン測光	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法（測光モード）を設定できます。	
中央部重点測光		
ハイライト重点測光		
フォーカスモード		初期設定：[フルタイムAF]
シングルAF	フォーカスモードを設定できます。	
コンティニユアスAF		
フルタイムAF		
マニュアルフォーカス		
AFエリアモード		初期設定：[オートエリアAF]
シングルポイントAF	AFエリアモードを設定できます。	
ワイドエリアAF (S)		
ワイドエリアAF (L)		
オートエリアAF		
手ブレ補正		初期設定：[静止画の設定と同じ]
静止画の設定と同じ	<ul style="list-style-type: none"> 手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。 装着しているレンズによって、設定できる項目は異なります。 [静止画の設定と同じ] を選ぶと、静止画撮影メニューの [手ブレ補正] と同じ設定になります。 	
する		
ノーマル		
スポーツ		
しない		
電子手ブレ補正		初期設定：[しない]
する	動画撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。	
しない		
マイク感度		初期設定：[オート]
オート	内蔵マイクまたは外部マイクの感度の程度を設定します。	
マニュアル		
録音しない		
アッテネーター		初期設定：[無効]
有効	大音量の環境下で動画撮影をするときに、マイク感度を減衰させて音割れを抑えます。	
無効		
録音帯域		初期設定：[広帯域]
広帯域	内蔵マイクまたは外部マイクの周波数特性を設定します。	
音声帯域		

風切り音低減

初期設定：[しない]

する	内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えるローカットフィルター機能を有効にするかどうかを設定できます。
しない	

ヘッドホン音量

初期設定：[15]

0～30	市販のヘッドホン使用時の音量を設定できます。
------	------------------------

タイムコード

タイムコード記録	動画にタイムコードを記録できます。また、タイムコードについての設定も行えます。
カウントアップ方式	
タイムコードの起点	
ドロップフレーム	

✎ カスタムメニュー

カスタムメニューのリセット

する	カスタムメニューをリセットして初期設定に戻します。
しない	

a オートフォーカス

a1 AF-Cモード時の優先 初期設定：[リリース]

リリース	フォーカスモードが AF-C のときにシャッターボタンを全押しした場合の動作を設定できます。
フォーカス	

a2 AF-Sモード時の優先 初期設定：[フォーカス]

リリース	フォーカスモードが AF-S のときにシャッターボタンを全押しした場合の動作を設定できます。
フォーカス	

a3 AFロックオン 初期設定：[3]

横切りへの反応	フォーカスモードが AF-C のときに被写体との距離が瞬時に大きく変わった場合のピント合わせの動作について設定できます。
---------	---

a4 オートエリアAF時の顔と瞳認識 初期設定：[顔認識と瞳認識する]

顔認識と瞳認識する	AFエリアモードがオートエリアAFの場合、カメラが人物または犬や猫の顔や瞳を認識してピントを合わせるかどうかを選べます。
顔認識する	
動物認識する	
しない	

a5 AF点数 初期設定：[全点]

全点	AFエリアモードがオートエリアAF以外の場合、手で選べるフォーカスポイントを制限できます。
スキップ	

a6 縦/横位置フォーカスポイント切替 初期設定：[しない]

する	カメラを正位置（横位置）にしたときと縦位置にしたときで個別にフォーカスポイントを設定できます。
しない	

a7 半押しAFレンズ駆動 初期設定：[する]

する	シャッターボタンを半押ししたときの、ピント合わせ動作を設定できます。[しない]を選んだ場合は、シャッターボタンを半押ししてもピントを合わせません。
しない	

a8 AFエリアモードの限定

ピンポイントAF	iメニューやカスタムボタンに [AFエリアモード] を割り当てた場合に、サブコマンドダイヤルを回して選べるAFエリアモードを設定できません。
シングルポイントAF	
ダイナミックAF	
ワイドエリアAF (S)	
ワイドエリアAF (L)	
オートエリアAF	

a9 フォーカスポイント循環選択

初期設定：[しない]

する	フォーカスポイントをマルチセクターで選ぶときに、上下左右端で循環するように設定できます。
しない	

a10 フォーカスポイント表示の設定

マニュアルフォーカス時の表示	フォーカスポイントの表示に関する設定ができません。
ダイナミックAF時のアシスト表示	

a11 ローライトAF

初期設定：[しない]

する	<ul style="list-style-type: none">フォーカスモードがAF-Sのときに [する] に設定すると、暗い場所でもピントが合いやすくなります。[する] に設定している場合、ピント合わせの動作に時間がかかることがあります。
しない	

a12 内蔵AF補助光の照射設定

初期設定：[する]

する	被写体が暗い場合、ピント合わせのためにAF補助光を自動的に照射するかどうかを設定します。[しない] を選ぶと、暗い場所でもAF補助光を自動的に照射しません。
しない	

a13 AF設定時のフォーカスリング操作

初期設定：[有効]

有効	このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。[無効] にすると、オートフォーカス時にレンズのフォーカスリングを回してもマニュアルフォーカスに切り替わりません。
無効	

b 露出・測光

b1 露出設定ステップ幅

初期設定：[1/3段]

1/3段	シャッタースピード、絞り値、ISO感度、オートブラケティング補正值、露出補正值、および調光補正值のステップ幅を設定できます。
1/2段	

b2 露出補正簡易設定

初期設定：[しない]

する（自動リセット）	<input checked="" type="checkbox"/> ボタンを使用せずに、コマンドダイヤルの操作だけで露出補正值を設定できます。
する	
しない	

b3 中央部重点測光範囲

初期設定：[ϕ 12mm]

ϕ 12mm	測光モードが中央部重点測光の場合の重点測光範囲を変更できます。
画面全体の平均	

b4 基準露出レベルの調節

マルチパターン測光	測光モードごとに適正露出の基準を撮影者の好みに合わせ、明るめ（+側）または暗め（-側）に調節できます。
中央部重点測光	
スポット測光	
ハイライト重点測光	

c AEロック・タイマー

c1 シャッターボタンAEロック

初期設定：[しない]

する（半押し）	シャッターボタンを押してAEロックを行うかどうかを設定できます。
する（連続撮影時）	
しない	

c2 セルフタイマー

時間	セルフタイマー撮影時にシャッターボタンを全押ししてからシャッターがきれるまでの時間と、撮影するコマ数、連続撮影するときの撮影間隔を設定できます。
撮影コマ数	
連続撮影間隔	

c3 パワーオフ時間

画像の再生	画像モニターやファインダー、表示パネルが自動的に消灯するまでの時間を変更できます。
メニュー表示	
撮影直後の画像確認	
半押しタイマー	

d 撮影・記録・表示

d1 低速連続撮影速度

初期設定：[3コマ/秒]

5コマ/秒～1コマ/秒

レリーズモードが低速連続撮影時の連続撮影速度を設定できます。

d2 連続撮影コマ数

初期設定：[200]

1～200

連続撮影を最大何コマまで継続できるかを設定できます。

d3 連動レリーズモード設定

初期設定：[連動する]

連動する

マスターカメラのレリーズに連動してリモートカメラをレリーズさせるかどうかを設定できます。

連動しない

d4 露出ディレーモード

初期設定：[しない]

3秒～0.2秒、しない

シャッターボタンを押してから約0.2～3秒後にシャッターがきれるように変更できます。カメラブレを最小限に抑えられます。

d5 シャッター方式

初期設定：[オート]

オート

静止画を撮影するシャッター方式を設定できます。

メカニカルシャッター

電子先幕シャッター

d6 撮像範囲設定の限定

FX (36×24)

iメニューやカスタムボタンに[撮像範囲設定]を割り当てた場合に、コマンドダイヤルを回して選べる撮像範囲を設定できます。[5:4 (30×24)]はZ7のみ選べます。

DX (24×16)

5:4 (30×24)

1:1 (24×24)

16:9 (36×20)

d7 連番モード

初期設定：[する]

する

ファイル名に使われるファイル番号の連番について設定できます。

しない

リセット

d8 Lvに撮影設定を反映

初期設定：[する]

する

撮影の設定（色味や明るさ）を、ファインダーや画像モニターの撮影画面（ライブビュー）に反映させるかどうかを設定できます。

しない

d9 格子線表示 初期設定：[しない]

する	格子線を表示するかどうかを設定できます。
しない	

d10 ピーキング表示

ピーキングの検出	マニュアルフォーカス時にピントが合った部分を強調するピーキング表示についての設定ができます。
ピーキング表示色	

d11 連続撮影中の表示 初期設定：[する]

する	[しない] に設定すると、連続撮影中は撮影画面に何も表示されなくなります。
しない	

e フラッシュ・BKT撮影

e1 フラッシュ撮影同調速度 初期設定：[1/200秒]

1/200秒（オートFP）～1/60秒	フラッシュ撮影時の同調する最高速度を設定します。
---------------------	--------------------------

e2 フラッシュ時シャッタースピード制限 初期設定：[1/60秒]

1/60秒～30秒	フラッシュ撮影時の撮影モードがPまたはAの場合に、シャッタースピードの低速側の制限を設定できます。
-----------	---

e3 フラッシュ使用時の露出補正 初期設定：[全体を補正]

全体を補正	フラッシュ撮影時に露出補正を設定した場合のフラッシュの調光を設定できます。
背景のみ補正	

シャッタースピードの同調速度を固定するには

撮影モードがSまたはMのときに、シャッタースピードの同調速度をカスタムメニュー e1 [フラッシュ撮影同調速度] で設定した値に固定するには、最も低速側（30秒または**Time**）の次の位置を選んでください。撮影画面と表示パネルに **X**（フラッシュシンクロマーク）と設定した同調速度が表示されます。

FP発光について

- フラッシュ撮影時のシャッタースピードをカメラの最高速度まで設定できます。[1/200秒（オートFP）] に設定すると、シャッタースピードがフラッシュ撮影同調速度よりも高速側になった場合、自動的にFP発光に切り替わります。日中でも、レンズの絞りを開いて背景をぼかした撮影ができます。
- [1/200秒（オートFP）] に設定すると、フラッシュインフォ画面に「FP」が表示されます。

e4 ⚡使用時の感度自動制御

初期設定：[被写体と背景]

被写体と背景	フラッシュ撮影時に感度自動制御を行う場合の、露出を合わせる対象を設定できます。
被写体のみ	

e5 モデリング発光

初期設定：[する]

する	別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト使用時に、ライティングの効果を確認するためのモデリング発光を行うかどうかを設定できます。
しない	

e6 BKT変化要素 (Mモード)

初期設定：[フラッシュ・シャッタースピード]

フラッシュ・シャッタースピード	撮影モードMでオートブラケティングを行うときに変化する内容を設定できます。
フラッシュ・シャッター スピード・絞り値	
フラッシュ・絞り値	
フラッシュ	

e7 BKTの順序

初期設定：[[0] → [-] → [+]]

[0] → [-] → [+]	オートブラケティングの補正順序を変更できます。
[-] → [0] → [+]	

f 操作

f1 **i**メニューのカスタマイズ

撮像範囲設定	静止画モードで i ボタンを押して表示される i メニューの項目を設定できます。
画質モード	
画像サイズ	
露出補正	
ISO感度設定	
ホワイトバランス	
ピクチャーコントロール	
色空間	
アクティブD-ライティング	
長秒時ノイズ低減	
高感度ノイズ低減	
測光モード	
フラッシュモード	
フラッシュ調光補正	
フォーカスモード	
AFエリアモード	
手ブレ補正	
オートブラケティング	
多重露出	
HDR (ハイダイナミックレンジ)	
サイレント撮影	
レリーズモード	
カスタムボタンの機能	
露出ディレーモード	
シャッター方式	
Lvに撮影設定を反映	
2点拡大	
ピーキング表示	
モニター/ファインダーの明るさ	
Bluetooth通信機能	
Wi-Fi通信機能	

f2 カスタムボタンの機能

Fn1ボタン	静止画モードでカメラのボタンやサブセクター、レンズのコントロールリングなどを操作したときの機能を設定できます。
Fn2ボタン	
AF-ONボタン	
サブセクター	
サブセクター中央	
動画撮影ボタン	
レンズのFnボタン	
レンズのFn2ボタン	
レンズのコントロールリング	

f3 OKボタンの機能

撮影モード	静止画モードの撮影時または再生時に  ボタンを押したときの機能を設定できます。
再生モード	

f4 シャッタースピードと絞り値のロック

シャッタースピードのロック	撮影モード S または M ではシャッタースピードを、撮影モード A または M では絞り値を現在の設定でロックします。
絞り値のロック	

f5 コマンドダイヤルの設定

回転方向の変更	メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの機能を変更できます。
メインとサブの入れ換え	
再生/メニュー画面で使用	
サブコマンドダイヤルで画像送り	

f6 ボタンのホールド設定

初期設定：[しない]

する	[する] に設定して対象のボタンを1回押すと、ボタンを放しても設定できる状態が維持され、コマンドダイヤル単独で設定できます。もう一度ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しするか、半押しタイマーがオフになると解除されます。
しない	

f7 インジケータの+/-方向 初期設定：[]

	露出、露出補正、オートブラケティングのインジケータの+と-方向を入れ換えることができます。
	

g 動画

g1 メニューのカスタマイズ

撮像範囲設定	動画モードで i ボタンを押して表示される i メニューの項目を設定できます。
画像サイズ/フレームレート/画質	
露出補正	
ISO感度設定	
ホワイトバランス	
ピクチャーコントロール	
アクティブD-ライティング	
測光モード	
フォーカスモード	
AFエリアモード	
手ブレ補正	
電子手ブレ補正	
マイク感度	
アッテネーター	
録音帯域	
風切り音低減	
ヘッドホン音量	
ピーキング表示	
ハイライト表示	
モニター/ファインダーの明るさ	
Bluetooth通信機能	
Wi-Fi通信機能	

g2 カスタムボタンの機能

Fn1ボタン	<ul style="list-style-type: none">• 動画モードでカメラのボタンやサブセクター、レンズのコントロールリングなどを操作したときの機能を設定できます。• [シャッターボタン] の設定を [動画撮影] にすると、動画撮影以外のシャッターボタンを使う操作は行えません。
Fn2ボタン	
AF-ONボタン	
サブセクター中央	
シャッターボタン	
レンズのコントロールリング	

g3 OKボタンの機能		初期設定：[フォーカスポイント中央リセット]
フォーカスポイント中央リセット	動画モード時に \odot ボタンを押したときの機能を設定できます。	
拡大画面との切り換え		
動画撮影		
設定しない		
g4 AF速度		
-5 ~ +5	動画モードのピント合わせの速度を設定できます。	
作動条件		
g5 AF追従感度		初期設定：[4]
1 ~ 7	動画モード時の被写体にピントを合わせる感度を設定できます。	
g6 ハイライト表示		
表示パターン	動画モード時に、ハイライト部分（非常に明るい部分）を斜線で表示できます。	
ハイライト表示のしきい値		

🔧 セットアップメニュー

カードの初期化（フォーマット）	
	[はい] を選ぶと、メモリーカードを初期化（フォーマット）します。初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化の前にパソコンなどに保存してください。
ユーザーセッティングの登録	
U1に登録	撮影モードダイヤル U1 、 U2 、 U3 にユーザーセッティングを登録します。
U2に登録	
U3に登録	
ユーザーセッティングのリセット	
U1をリセット	登録したユーザーセッティングをリセットします。
U2をリセット	
U3をリセット	

言語 (Language)

メニュー画面やメッセージの表示言語を設定できます。お買い上げの国や地域によって、表示される言語は異なります。

地域と日時

現在地の設定	日付や時刻を設定できます。
日時の設定	
日付の表示順	
夏時間の設定	

モニターの明るさ

初期設定：[0]

-5 ~ +5 画像モニターの明るさを調整できます。

モニターのカラーカスタマイズ

画像モニターの色調を好みに合わせて変更できます。

ファインダーの明るさ

初期設定：[オート]

オート ファインダーの明るさを調整できます。
マニュアル

ファインダーのカラーカスタマイズ

ファインダーの色調を好みに合わせて変更できます。

表示パネルの明るさ

初期設定：[オート]

オート 表示パネルの明るさを調整できます。
マニュアル
表示しない

モニターモードの限定

自動表示切り換え
ファインダーのみ
モニターのみ
ファインダー優先

モニターモード切り換えボタンを押して切り換えられるモニターモードを設定できます。

インフォ画面の表示設定

初期設定：[黒文字]

黒文字
白文字

明るい場所や暗い場所で画像モニターが見づら
いときにインフォ画面の見え方を設定できます。

AF微調節

AF微調節 (する/しない)	装着したレンズのピント位置を、好みなどに合わせて微調節できます。必要な場合のみ調節を行ってください。
個別レンズの登録	
その他レンズの登録	
個別レンズ登録リスト	

レンズ情報手動設定

レンズNo.	別売のマウントアダプターを使用して装着する非CPUレンズの情報を登録します。
焦点距離 (mm)	
開放絞り値	

イメージセンサークリーニング

実行	撮像素子の前面に付いたゴミをふるい落とします。
電源スイッチに連動	

イメージダストオフデータ取得

開始	NX Studioの「イメージダストオフ機能」を使うためのデータを取得します。
イメージセンサークリーニング後開始	

画像コメント

コメント添付	あらかじめコメントを登録しておき、撮影する画像に添付できます。添付されたコメントは、NX Studioの【情報】タブで確認できます。
コメント入力	

著作権情報

著作権情報添付	撮影した画像に著作権情報を添付することができます。添付された著作権情報は、NX Studioの【情報】タブで確認できます。
撮影者名入力	
著作権者名入力	

電子音

電子音設定	電子音の音の高さや音量を設定できます。
音量	
音の高さ	

タッチ操作

タッチ操作の設定	画像モニターのタッチ操作の機能を設定できます。
1コマ送り時のフリック操作	

HDMI

出力解像度	HDMI 対応機器との接続時の設定を変更できます。
詳細設定	
出力レンジ	
外部記録制御	
出力ビット数	
N-Log設定	
ビューアシスト	

位置情報

半押しタイマー	位置情報に関する設定を変更できます。
情報表示	
衛星による日時合わせ	

リモコン (WR) 設定

LEDランプの点灯	別売ワイヤレスリモートコントローラーのLEDランプの点灯とリンクモードを設定できます。
リンクモード	

リモコン (WR) のFnボタンの機能 初期設定：[設定しない]

AF-ON	別売のワイヤレスリモートコントローラーのFnボタンを押したときの機能を設定できます。
AF-L	
AE-L (レリーズでリセット)	
AE-L	
AE-L/AF-L	
FV-L	
⚡発光禁止/許可切換	
プレビュー	
プラスRAW記録	
設定しない	

機内モード

初期設定：[無効]

有効	<ul style="list-style-type: none">• [機内モード] を [有効] に設定するとBluetoothおよびWi-Fiを使った無線通信をOFFにできます。• 内蔵無線機能以外の無線通信機器との接続を無効にする場合は、カメラから無線通信機器を取り外してください。
無効	

スマートフォンと接続

ペアリング (Bluetooth)	カメラとスマートフォンを接続したり、接続後の設定を行ったりできます。スマートフォンとの接続方法は、SnapBridgeアプリのヘルプや「ネットワークガイド」をご覧ください。
送信指定 (Bluetooth)	
Wi-Fi接続	
電源OFF中の通信	

PCと接続

Wi-Fi通信機能	カメラに内蔵されたWi-Fi機能を使用してパソコンと接続するときの設定ができます。詳しくは「ネットワークガイド」をご覧ください。
動作モードの選択	
接続設定	
オプション	
MACアドレス	

ワイヤレストランスミッター (WT-7)

ワイヤレストランスミッター	別売のWT-7を装着して有線LANまたは無線LANでパソコンやFTPサーバーと通信する場合の設定を行います。このメニュー項目は、WT-7を装着したときのみ設定できます。
ハードウェアの選択	
接続設定	
オプション	

認証マークの表示

このカメラが取得している認証マークの一部を表示します。

電池チェック

カメラに装着中のバッテリーの情報を表示します。

ヒント：ネットワーク接続について

カメラをパソコンやスマートフォンと無線で接続する方法については、「ネットワークガイド」をご覧ください。ネットワークガイドは、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

Z 7 : https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/492/Z_7.html



Z 6 : https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/493/Z_6.html



カードなし時リリース		初期設定：[リリース許可]
リリース禁止	カメラにメモリーカードを入れていないときの	
リリース許可	リリース操作を設定できます。	
カメラ設定の保存と読み込み		
保存	カメラの各機能の設定データをメモリーカードに保存できます。また、メモリーカードに保存されている設定データをカメラで読み込むこともできます。複数の同一機種を同じ設定で使う場合などに便利です。	
読み込み		
カメラの初期化		
初期化する	セットアップメニュー [言語 (Language)] と [地域と日時] を除く、すべての設定をリセットして初期設定に戻します。	
初期化しない		
ファームウェアバージョン		
	カメラを制御する「ファームウェア」のバージョンを表示します。	

カメラの初期化

- 著作権情報などの撮影者が入力したデータも初期化されます。初期化した設定は元には戻せないのをご注意ください。
- あらかじめセットアップメニュー [カメラ設定の保存と読み込み] で設定データを保存しておくことをおすすめします。

画像編集メニュー

RAW現像

画像選択	RAWを含む画質モードで記録したRAW画像を、カメラでRAW現像してJPEG画像を作成します。
日付選択	
全画像選択	

トリミング

画像の一部を切り抜きます。

リサイズ

画像選択	サイズの小さい画像を作成します。
画像サイズの設定	

D-ライティング

画像の暗い部分を明るく補正できます。

赤目補正

フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって人物の瞳の部分が赤くなってしまった画像を補正できます。

傾き補正

画像の傾きを $\pm 5^\circ$ の範囲(約 0.25° ステップ)で補正できます。

ゆがみ補正

オート	<ul style="list-style-type: none">広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正できます。[オート] を選ぶと画像のゆがみを自動的に判別して補正します。
マニュアル	

アオリ効果

高層ビルを見上げて撮影したときなどに生じる、遠近感による被写体のゆがみを補正します。

画像合成

RAW画像2コマを重ね合わせて1コマの画像に合成します。このメニュー項目は、MENUボタンを押して、タブのアイコンを選んだときのみ表示されます。

動画編集（始点/終点設定）

撮影した動画の前半、後半、または前後両端を切り取って、選択した範囲だけを残すことができます。

編集前後の画像表示

画像編集を行った画像を、編集元の画像と並べて表示して、画像編集の効果を確認できます。このメニュー項目は、編集元または編集後の画像を1コマ表示している場合に、**i**メニューで画像編集メニューを選んだときのみ表示されます。

≡ マイメニュー / ⑤ 最近設定した項目

マイメニュー登録

再生メニュー	再生、静止画撮影、動画撮影、カスタム、セットアップ、画像編集の各メニューから、よく使う項目だけを選んで、20項目までマイメニューに登録できます。
静止画撮影メニュー	
動画撮影メニュー	
カスタムメニュー	
セットアップメニュー	
画像編集メニュー	

登録項目の削除

マイメニューの登録項目を削除します。

登録項目の順序変更

マイメニューの登録項目の順序を変更します。

このタブの機能変更

初期設定：[マイメニュー]

マイメニュー	「マイメニュー」を「最近設定した項目」に変更します。[最近設定した項目]に設定すると、最後に設定したメニュー項目から順番に最新の20項目が自動的に表示されます。
最近設定した項目	

困ったときは

カメラの動作がおかしいときは、次の手順を行うことで問題が解決する場合があります。ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前にお試しく下さい。

STEP 1	<p>160～172ページの項目を確認して、カメラを点検する。 次のページで対処方法が確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 故障かな?と思ったら (□160)• 警告メッセージ (□167)
---------------	---

STEP 2	<p>電源をOFFにしてバッテリーを取り出し、約1分後に再度バッテリーを入れてカメラの電源をONにする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 撮影直後はメモリーカードに画像の記録を行っている場合があります。バッテリーを取り出すまで、撮影後は1分以上お待ちください。</p>
---------------	---

STEP 3	<p>ニコンのホームページを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none">• サポートサイトのQ&Aなどで解決方法を探すことができます。 https://www.nikon-image.com/support/• ニコンダウンロードセンターで、カメラの最新のファームウェアを確認してください。 https://downloadcenter.nikonimglib.com/
---------------	---

STEP 4	ニコンサービス機関に問い合わせる。
---------------	-------------------

カメラの初期化について

- 機能の組み合わせによって、使用したい機能（メニュー項目）が設定できない場合があります。使用したいメニュー項目がグレーアウトしているときなどにセットアップメニュー [カメラの初期化] (□155) を実行すると、メニューが選べるようになることがあります。
- カメラを初期化すると、無線接続設定や著作権情報などの撮影者が入力したデータも初期化されます。初期化した設定は元に戻せないにご注意ください。

故障かな？と思ったら

次のような症状が発生した場合の対処法については、こちらをご覧ください。

電源・表示関連

● 電源ONの状態で、カメラの操作ができない

- 画像の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
 - 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。
 - 電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。
 - ACアダプター使用時は付け直してください。
 - 記録中であったデータは保存されません。
 - 保存済みのデータはバッテリーやAC アダプターの取り外しでは失われません。
-

● ファインダーまたは画像モニターが表示されない

- モニターモードを変更していませんか？ モニターモード切り換えボタンを押して、適切な表示設定に切り換えてください。
 - セットアップメニュー【モニターモードの限定】で表示設定を限定していませんか？ 適切な表示設定に変更してください。
 - アイセンサーにゴミやほこりなどが付着していると、アイセンサーが正しく反応しない場合があります。ブローアで軽く吹き払ってください。
-

● ファインダー内がはっきり見えない

- ファインダー内の見え方は、視度調節ノブを回して調節できます。
 - 視度調節しても被写体がはっきり見えない場合は、フォーカスモードを**AF-S**、AFエリアモードをシングルポイントAFに設定します。次に、中央のフォーカスポイントを選んで、コントラストの高い被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。その状態で被写体が最もはっきり見えるように調節してください。
-

● ファインダー内や表示パネル、画像モニターの表示が、すぐに消えてしまう

カスタムメニューc3 [パワーオフ時間] で、表示が消えるまでの時間を設定できます。

● 表示パネルの表示が薄い、表示が遅い

低温や高温のときは表示の濃度が変わったり、応答速度が遅くなる場合があります。

撮影関連

-
- **電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる**
メモリーカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。
-
- **シャッターがきれない**
 - 残量のあるメモリーカードが入っていますか？
 - 撮影モード**M**でシャッタースピードを**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）に設定し、そのまま撮影モードを**S**に変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影してください。
 - セットアップメニュー [カードなし時リリース] が [リリース禁止] になっていませんか？
-
- **シャッターがきれるのが遅い**
カスタムメニュー d4 [露出ディレーモード] を [しない] にしてください。
-
- **連続撮影できない**
HDR撮影時は、連続撮影できません。
-
- **ピントが合わない**
 - マニュアルフォーカスになっていませんか？ オートフォーカスで撮影するには、フォーカスモードを**AF-S**、**AF-C**または**AF-F**に設定してください。
 - 次のような被写体では、オートフォーカスではピントが合わせづらい場合があります。マニュアルフォーカス、フォーカスロックを利用して撮影してください。明暗差がはっきりしない/遠くのものと同近のものが混在する/連続した繰り返しパターン/輝度差が著しく異なる/背景に対して主要被写体が小さい/絵柄が細かい
-
- **電子音が鳴らない**
 - 静止画撮影メニュー [サイレント撮影] が [する] になっていませんか？
 - フォーカスモードが**AF-C**の場合、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。
 - セットアップメニュー [電子音] の [電子音設定] を [無効] 以外に設定すると電子音が鳴ります。
 - 動画モード時は電子音は鳴りません。
-
- **設定できるシャッタースピードの範囲が狭い**
フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます。フラッシュ撮影時の同調シャッタースピードは、カスタムメニュー e1 [フラッシュ撮影同調速度] で、1/200～1/60秒の範囲で設定できます。[1/200秒（オートFP）] に設定して、別売のオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを使用すると、全シャッタースピードに同調可能なオートFPハイスピードシンクロが可能です。
-

-
- **シャッターボタンを半押ししても、フォーカスロックされない**
フォーカスモードが**AF-C**に設定されている場合、サブセレクターの中央を押してフォーカスをロックしてください。
-
- **フォーカスポイントを選べない**
AFエリアモードがオートエリアAFのときは、選べません。
-
- **画像の記録に時間がかかる**
静止画撮影メニュー [長秒時ノイズ低減] が [する] になっていませんか？
-
- **撮影画面に表示された明るさと、撮影した画像の明るさ（露出）が違う**
 - カスタムメニュー d8 [Lvに撮影設定を反映] を [しない] に設定すると、露出補正などを行っても画像モニターの表示には反映されません。
 - セットアップメニュー [モニターの明るさ] または [ファインダーの明るさ] で撮影画面の明るさを調整しても、撮影した画像には反映されません。
-
- **動画モード時に画面にちらつきや横縞が生じる**
動画撮影メニュー [フリッカー低減] の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせてください。
-
- **横帯状の明るい部分が生じる**
撮影している周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合には、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生することがあります。
-
- **画像にゴミが写り込む**
 - レンズの前面または背面（マウント側）が汚れていませんか？
 - 撮像素子の前面にゴミが付着していませんか？ イメージセンサークリーニングを行ってください。
-
- **ボケ像が欠けて写る**
高速のシャッタースピードや大口径レンズを使用した撮影では、ボケ像が欠けて写ることがあります。ボケ像の欠けが気になるときは、シャッタースピードを遅くしたり、絞り値を大きくすると目立たなくなります。
-
- **撮影が開始されなかったり、自動的に終了する**
 - 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、自動的に終了することがあります。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - 動画撮影を長時間行った場合
 - 連続撮影を行った直後など
 - カメラが熱くなって撮影できない場合は、カメラ内部の温度が下がるまで電源をOFFにしてください。このとき、カメラボディ表面が熱くなることがありますが故障ではありません。
-

● 撮影画面にノイズ（ざらつき、むら、すじ、輝点）が発生する

- ISO感度やシャッタースピード、アクティブD-ライティングなどのカメラの設定を変更してください。
- 長時間露出撮影や、カメラが高温になるような環境で撮影をする場合、ISO感度を高く設定しているとノイズが強調されることがあります。
- 長時間カメラを使用すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ざらつき、むら、輝点が発生する場合があります。撮影時以外は、電源をOFFにしてください。
- 撮影時、 ボタンで表示を拡大すると、ざらつき、むら、すじや色の変化が発生しやすくなります。
- 撮影した画像に発生するノイズは、撮影画面で表示されたノイズと見え方が異なることがあります。

● ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない

被写体が明るすぎるか、暗すぎます。

● ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータとして設定できない画像がある

この機種以外のカメラで撮影した画像は、プリセットマニュアルデータとして設定することはできません。

● ホワイトバランス（WB）ブラケット撮影ができない

- RAWまたはRAWを含む画質モードの場合、ホワイトバランスブラケット撮影はできません。
- ホワイトバランスブラケットと多重露出またはHDR（ハイダイナミックレンジ）による撮影を同時に行うことはできません。

● [ピクチャーコントロール] の効果が安定しない

[ピクチャーコントロール]、[カスタムピクチャーコントロール] が [オート] に設定されているか、それぞれの調整画面で [クイックシャープ]、[コントラスト]、[色の濃さ（彩度）] のいずれかが [A]（オート）に設定されています。ピクチャーコントロールの効果を一定にするには、これらの項目を [A]（オート）以外に設定してください。

● 測光モードが変更できない

AEロック中は、測光モードを変更できません。

● 露出補正ができない

撮影モードがMの場合、露出補正を行っても、露出インジケータの表示が変わるだけで、シャッタースピードと絞り値は変化しません。

-
- **長時間露出撮影時に色むらが発生する**
シャッタースピードを **Bulb** (バルブ) または **Time** (タイム) にした場合など、長時間露出で撮影すると、画像に色むらが発生することがあります。この現象は、静止画撮影メニュー [長秒時ノイズ低減] を [する] に設定することで低減できます。
 - **AF補助光ランプが光らない**
 - カスタムメニュー a12 [内蔵 AF 補助光の照射設定] が [しない] になっていませんか？
 - 動画モード時はAF補助光は照射しません。
 - フォーカスモードが **AF-C** および **MF** の場合、AF 補助光は照射しません。
 - **動画に音声録音されない**
動画撮影メニュー [マイク感度] が [録音しない] になっていませんか？
-

再生関連

-
- **RAW画像が表示されない**
[画質モード] を [RAW + FINE ★]、[RAW + FINE]、[RAW + NORMAL ★]、[RAW + NORMAL]、[RAW + BASIC ★]、[RAW + BASIC] にして撮影した画像は、JPEG画像しか再生されません。
 - **他のカメラで撮影した画像が表示されない**
この機種以外のカメラで撮影した画像は、正常に表示されないことがあります。
 - **全ての画像が表示されない**
再生メニュー [再生フォルダー設定] を [全てのフォルダー] にしてください。
 - **画像の縦位置・横位置が正しく表示されない**
 - 再生メニュー [縦位置自動回転] が [しない] になっていませんか？
 - 撮影直後の画像確認では自動回転はしません。
 - カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。
 - **画像が削除できない**
画像にプロテクトが設定されていませんか？
 - **画像が編集できない**
このカメラでは編集できない画像です。
 - **画像を記録するのに [撮影画像がありません] と表示される**
再生メニュー [再生フォルダー設定] を [全てのフォルダー] にしてください。
 - **ダイレクトプリントができない**
RAW画像やTIFF画像はダイレクトプリントできません。
-

● RAW画像をプリントできない

- 画像編集メニューの[RAW現像]などでRAW画像からJPEG画像を作成してからプリントしてください。
- RAW画像はパソコンに転送してから、NX Studioなどのソフトウェアを使ってプリントしてください。

● 画像がHDMI対応機器で再生できない

HDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください。

● 画像がHDMI対応機器で正しく表示されない

- HDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- セットアップメニュー [HDMI] にある [詳細設定] の [外部記録制御] が [する] になっていませんか？
- セットアップメニュー [カメラの初期化] を実行すると正しく表示されることがあります。

● NX Studioでイメージダストオフ機能が動作しない

次の場合は、イメージセンサークリーニングにより、撮像素子前面のゴミの位置が変わってしまうため、イメージダストオフ機能を使用できません。

- イメージセンサークリーニングを実行する前に撮影した画像に対して、クリーニング後に取得したイメージダストオフデータを使ってゴミの写り込みを取り除こうとしたとき
- イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフデータを使って、クリーニング後に撮影した画像に対してゴミの写り込みを取り除こうとしたとき

● [ピクチャーコントロール]、[アクティブD-ライティング]、[ヴィネットコントロール] などの効果がパソコンで確認できない

RAW画像で記録した場合、当社製ソフトウェア以外では機能しません。RAW画像の現像はNX Studioをお使いください。

● 画像をパソコンに転送できない

お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送できないことがあります。カードリーダーなどの機器を使って、メモリーカードの画像をパソコンに保存してください。

Wi-Fi（無線LAN）およびBluetooth関連

- スマートフォンにカメラのSSID（ネットワーク名）が表示されない
 - セットアップメニューの[機内モード]が[無効]になっていること、および[スマートフォンと接続]にある[ペアリング(Bluetooth)]の[Bluetooth通信機能]が[有効]になっていることを確認してください。
 - スマートフォンの無線機能をOFFにしてからONにし直してください。
 - プリンターなどの無線通信機器と接続できない
このカメラは、スマートフォンやパソコン以外の機器とは無線接続できません。
-

その他

- 撮影日時が正しく表示されない
カメラの内蔵時計は合っていますか？ カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。
 - 表示されているメニュー項目が選べない
一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選べない場合があります。
-

警告メッセージ

表示パネル、撮影画面に表示される警告メッセージの意味は次の通りです。

こんなとき		原因	対処方法
撮影画面	表示パネル		
		バッテリー残量は残りわずかです。	バッテリー交換の準備をしてください。
	F--	レンズが正しく装着されていません。	<ul style="list-style-type: none">• レンズを正しく装着してください。• 沈胴式のレンズをご使用の場合、レンズを繰り出してください。• マウントアダプターを使用して非CPUレンズを装着すると表示されますが、異常ではありません。

こんなとき		原因	対処方法
撮影画面	表示パネル		
Bulb (点滅)		撮影モードが S のときにシャッタースピードが Bulb (バルブ) にセットされています。	<ul style="list-style-type: none"> シャッタースピードを変えてください。 撮影モードMで撮影してください。
Time (点滅)		撮影モードが S のときにシャッタースピードが Time (タイム) にセットされています。	<ul style="list-style-type: none"> シャッタースピードを変えてください。 撮影モードMで撮影してください。
Busy (点滅)		カメラが処理を行っています。	カメラが処理を終えるまでお待ちください。
 (点滅)	—	スピードライトがフル発光しました。	撮影に必要な光量が不足している可能性があります。撮影距離、絞り値、調光範囲、ISO感度などをご確認ください。
(シャッタースピード表示、絞り値表示のいずれかと、露出インジケータが点滅)		被写体が明るすぎてカメラの制御範囲を超えています。	<ul style="list-style-type: none"> ISO感度を低くしてください。 撮影モードがPのときは市販のNDフィルター(光量調節用)を使用してください(S、Aのときに下記の操作を行っても警告表示が消えない場合も同様に対応してください)。 撮影モードがSのときはシャッタースピードをより高速側にセットしてください。 撮影モードがAのときは絞りを絞り込んでください(より大きい数値)。

こんなとき		原因	対処方法
撮影画面	表示パネル		
	(シャッタースピード表示、絞り値表示のいずれかと、露出インジケータが点滅)	被写体が暗すぎて、カメラの制御範囲を超えています。	<ul style="list-style-type: none"> ISO感度を高くしてください。 撮影モードがPのときは別売スピードライトを使用してください (S、Aのときに下記の操作を行っても警告表示が消えない場合も同様に対応してください)。 撮影モードがSのときはシャッタースピードをより低速側にセットしてください。 撮影モードがAのときは絞りを開いてください (より小さい数値)。
	Full (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> 画像を記録する空き容量がありません。 カメラが扱えるファイル数をオーバーしています。 	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードに記録されている画像を削除して、カードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 新しいメモリーカードに交換してください。
	Err (点滅)	撮影中に何らかの異常を検出しました。	もう一度シャッターボタンを押してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。

こんなとき		原因	対処方法
画像モニター	表示パネル		
撮影できません。 バッテリーを交換してください。	—	バッテリーが消耗しています。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーを交換してください。 • バッテリーを充電してください。
お使いのバッテリーと正しく通信ができないためカメラの動作を停止します。 安全にお使いいただくために専用バッテリーと交換してください。	—	バッテリーとの情報通信ができません。	<ul style="list-style-type: none"> • このバッテリーは使用できません。ニコンサービス機関にご相談ください。 • 極端に消耗したバッテリーを使用している場合は、充電してください。
		カメラと通信できないバッテリーを使用しています。	カメラと通信できないバッテリーを使用している場合は、ニコン純正品のバッテリーと交換してください。
メモリーカードが入っていません。	[-E-]	メモリーカードが入っていないか、正しくセットされていません。	メモリーカードを正しくセットしてください。
メモリーカードにアクセスできません。 カードを交換してください。	Card, Err (点滅)	メモリーカードへのアクセス異常です。	<ul style="list-style-type: none"> • このカメラ用のメモリーカードであるかどうかを確認してください。 • 繰り返し抜き差ししてもエラーが解消しない場合は、メモリーカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関までご連絡願います。
		新規フォルダーが作成できません。	<ul style="list-style-type: none"> • メモリーカードに記録されている画像を削除して、メモリーカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 • 新しいメモリーカードに交換してください。

こんなとき		原因	対処方法
画像モニター	表示 パネル		
このメモリーカードは初期化（フォーマット）されていません。フォーマットしてください。	For (点滅)	メモリーカードが正しく初期化されていません。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードを初期化してください。 正しく初期化されたメモリーカードに交換してください。
カメラが高温になっています。温度がさがるまで使用できません。しばらくおまちください。電源をOFFにします。	—	カメラ内部の温度が高くなっています。	カメラ内部の温度が下がるまで、撮影を一時休止してください。
		バッテリーの温度が高くなっています。	バッテリーをカメラから取り出して、バッテリーの温度が下がるまでお待ちください。
撮影画像がありません。	—	撮影画像がありません。	画像が記録されているメモリーカードを入れてください。
		再生するフォルダーの指定に問題があります。	再生メニューの[再生フォルダー設定]で、表示可能な画像があるフォルダーを選んでください。
このファイルは表示できません。	—	<ul style="list-style-type: none"> アプリケーションソフトで編集された画像やDCF規格外の画像ファイルのため再生できません。 画像ファイルに異常があるため再生できません。 	アプリケーションソフトで編集された画像を上書き保存しないでください。

こんなとき		原因	対処方法
画像モニター	表示パネル		
このファイルは選択できません。	—	編集できない画像です。	このカメラで撮影または編集した画像しか画像編集できません。
この動画は編集できません。	—	編集できない画像です。	<ul style="list-style-type: none"> このカメラで撮影した動画しか編集できません。 2秒未満の動画は編集できません。
プリンターの状態を確認してください。*	—	プリンターに異常があります。	用紙切れなどエラーの原因を取り除いた後、[継続]を選んでⓧボタンを押すと、プリントが再開されます（エラー内容によっては、[継続]を選べない場合があります）。
用紙を確認してください。*	—	指定したサイズ用の用紙がセットされていません。	指定したサイズ用の用紙をセットした後、[継続]を選んでⓧボタンを押して、プリントを再開してください。
紙詰まりです。*	—	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、[継続]を選んでⓧボタンを押して、プリントを再開してください。
用紙がありません。*	—	用紙がセットされていません。	指定したサイズ用の用紙をセットした後、[継続]を選んでⓧボタンを押して、プリントを再開してください。
インクを確認してください。*	—	インクに異常があります。	インクを確認した後、[継続]を選んでⓧボタンを押して、プリントを再開してください。
インクがありません。*	—	インクがなくなりました。	インクを交換した後、[継続]を選んでⓧボタンを押して、プリントを再開してください。

※ プリンターの使用説明書も併せてご覧ください。

資料

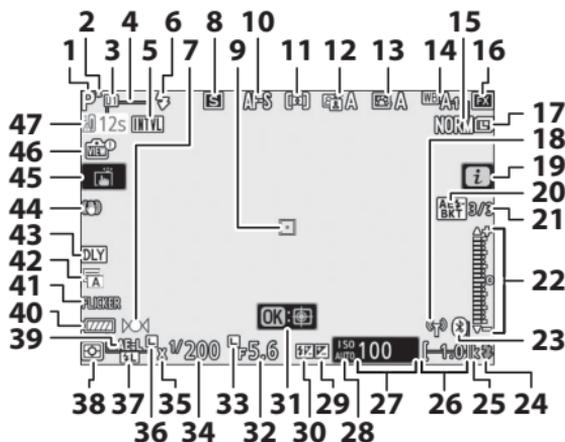
このカメラで使えるアクセサリやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。

全画面表示

説明のため、全ての表示を点灯させています。

画像モニター

■ 静止画モードの場合



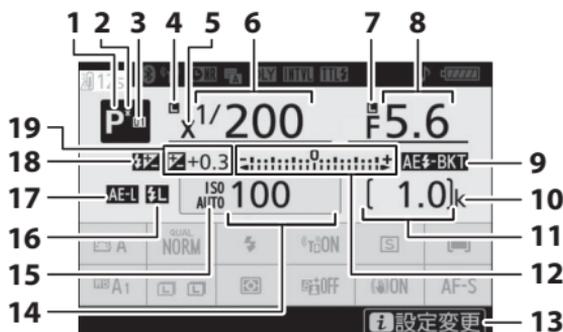
1	撮影モード	71	8	リリースモード	86、112
2	プログラムシフトマーク	72	9	フォーカスポイント	42、54
3	ユーザーセッティングモード	76	10	フォーカスモード	52
4	AFエリアフレーム	55	11	AFエリアモード	54、114
5	インターバルタイマー設定 マーク	133	12	アクティブD-ライティング	111
⊕	マーク	39	13	ピクチャーコントロール	96
6	フラッシュモード	108	14	ホワイトバランス	63、100
7	ピント表示	61	15	画質モード	106
			16	撮像範囲	127

17	画像サイズ.....	107	27	ISO感度.....	81
18	Wi-Fi通信マーク.....	110	28	ISO感度マーク.....	81
19	i メニュー.....	95		ISO-AUTOマーク.....	83
20	オートブラケティングマーク ...	133	29	露出補正マーク.....	84
	WBブラケティングマーク.....	133	30	調光補正マーク.....	132
	ADLブラケティングマーク.....	133	31	ターゲット追尾AF.....	59
	HDRマーク.....	133	32	絞り値.....	73、74
	多重露出マーク.....	133	33	絞り値ロックマーク.....	148
21	オートブラケティング		34	シャッタースピード.....	72、74
	撮影コマ数表示.....	133	35	フラッシュシンクロマーク ...	145
	WBブラケティング		36	シャッタースピードロック	
	撮影コマ数表示.....	133		マーク.....	148
	ADLブラケティング		37	FVロックマーク.....	185
	撮影コマ数表示.....	133	38	測光モード.....	109
	HDR露出差.....	133	39	AE-L マーク.....	91
	多重露出撮影コマ数.....	133	40	バッテリー残量表示.....	33
22	インジケーター		41	FLICKER アイコン.....	131
	露出.....	75	42	シャッター方式.....	144
	露出補正.....	84		サイレント撮影.....	67
	オートブラケティング.....	133	43	露出ディレーモード.....	144
23	Bluetooth通信マーク.....	154	44	手ブレ補正.....	113
	機内モード.....	153	45	タッチ撮影機能.....	10、60
24	レディーライト.....	186	46	Lvに撮影設定を反映.....	144
25	1000コマ以上補助表示.....	33	47	温度上昇警告	
26	記録可能コマ数.....	33、235			

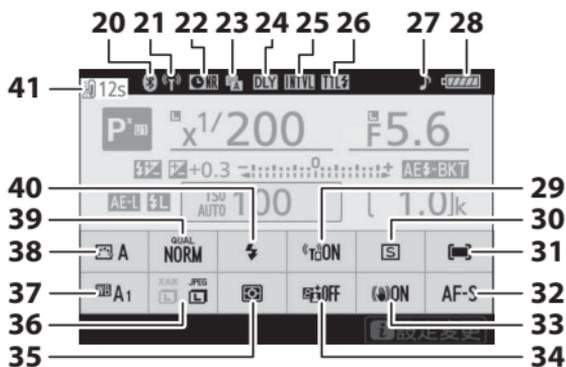
☑ 温度上昇警告について

- カメラ内部の温度が上昇すると、温度上昇警告が表示され、カウントダウンが表示されます。カウントダウンが0になると、撮影画面の表示が消灯します。
- 消灯する30秒前から赤字で表示されます。撮影条件によっては、電源をONにした後すぐにカウントダウンが始まる場合があります。

インフォ画面

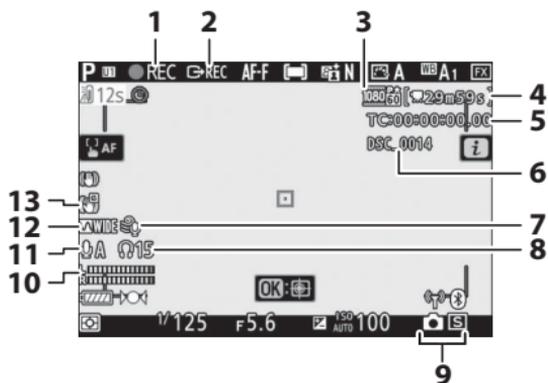


1	撮影モード.....	71	12	インジケーター	
2	プログラムシフトマーク.....	72		露出.....	75
3	ユーザーセッティングモード... ..	76		露出補正.....	84
4	シャッタースピードロック			オートブラケットिंग.....	133
	マーク.....	148		WBブラケットिंग.....	133
5	フラッシュシンクロマーク.....	145		ADLブラケットिंग.....	133
6	シャッタースピード.....	72、74	13	iメニュー.....	95
7	絞り値ロックマーク.....	148	14	ISO感度.....	81
8	絞り値.....	73、74	15	ISO感度マーク.....	81
9	オートブラケットिंगマーク... ..	133		ISO-AUTOマーク.....	83
	WBブラケットिंगマーク.....	133	16	FVロックマーク.....	185
	ADLブラケットिंगマーク.....	133	17	AE-Lマーク.....	91
	HDRマーク.....	133	18	調光補正マーク.....	132
	多重露出マーク.....	133	19	露出補正マーク.....	84
10	1000コマ以上補助表示.....	33		露出補正值.....	84
11	記録可能コマ数.....	33、235			



20	Bluetooth通信マーク.....	154	30	リリースモード.....	86、112
	機内モード.....	153	31	AFエリアモード.....	54、114
21	Wi-Fi通信マーク.....	110	32	フォーカスモード.....	52
22	長秒時ノイズ低減マーク.....	131	33	手ブレ補正.....	113
23	シャッター方式.....	144	34	アクティブD-ライティング....	111
	サイレント撮影.....	67	35	測光モード.....	109
24	露出ディレイモード.....	144	36	画像サイズ.....	107
25	インターバルタイマー設定 マーク.....	133	37	ホワイトバランス.....	63、100
	⊕マーク.....	39	38	ピクチャーコントロール.....	96
26	発光モード.....	132	39	画質モード.....	106
27	電子音マーク.....	152	40	フラッシュモード.....	108
28	バッテリー残量表示.....	33	41	温度上昇警告.....	174
29	Wi-Fi通信機能.....	110			

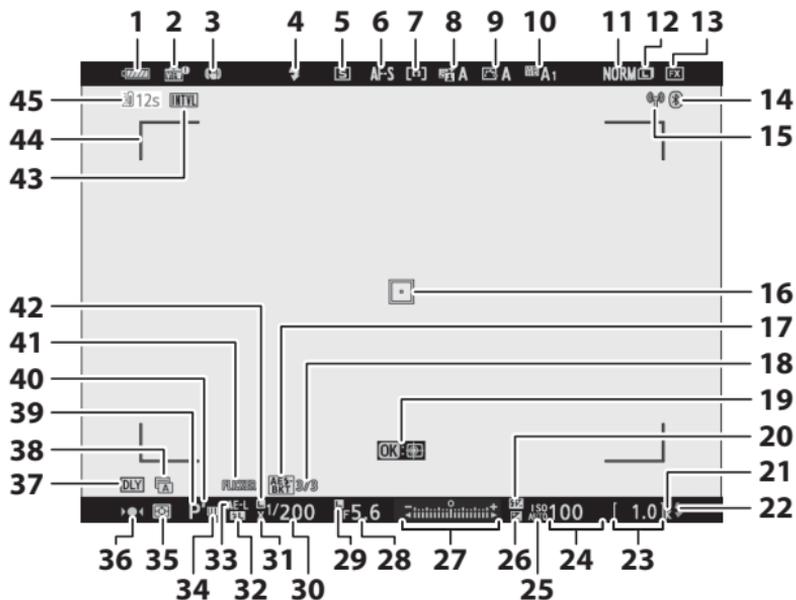
■ 動画モードの場合



1	動画撮影中マーク	46	7	風切り音低減マーク	140
	動画撮影禁止マーク	47	8	ヘッドホン音量	140
2	外部記録制御	153	9	静止画撮影のリリースモード*	89
3	画像サイズ/フレームレート/ 画質	116	10	音声レベルインジケータ	119
4	動画撮影残り時間	46	11	マイク感度	139
5	タイムコード	140	12	録音帯域	139
6	ファイル名	135	13	電子手ブレ補正マーク	122

ファインダー

■ 静止画モードの場合

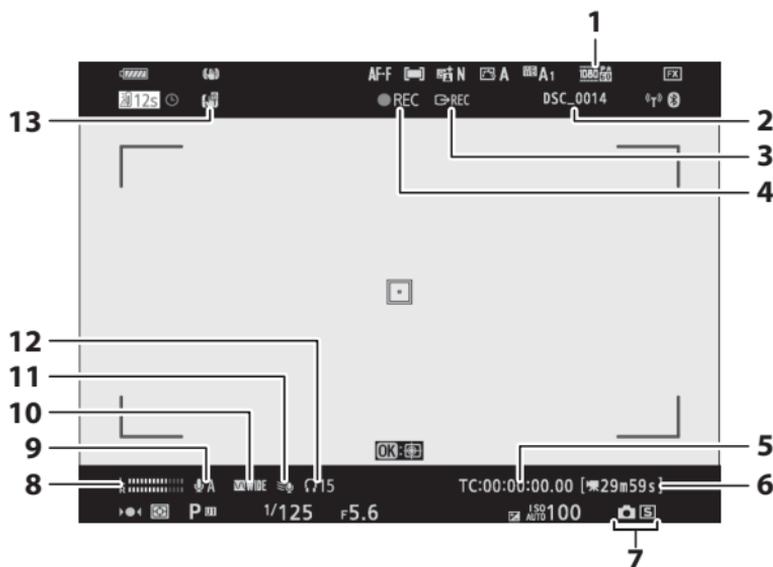


1	バッテリー残量表示.....	33	16	フォーカスポイント.....	42、54
2	Lvに撮影設定を反映.....	144	17	オートブラケットングマーク.....	133
3	手ブレ補正.....	113		WBブラケットングマーク.....	133
4	フラッシュモード.....	108		ADLブラケットングマーク.....	133
5	リリースモード.....	86、112		HDRマーク.....	133
6	フォーカスモード.....	52		多重露出マーク.....	133
7	AFエリアモード.....	54、114	18	オートブラケットング	
8	アクティブD-ライティング.....	111		撮影コマ数表示.....	133
9	ピクチャーコントロール.....	96		WBブラケットング	
10	ホワイトバランス.....	63、100		撮影コマ数表示.....	133
11	画質モード.....	106		ADLブラケットング	
12	画像サイズ.....	107		撮影コマ数表示.....	133
13	撮像範囲.....	127		HDR露出差.....	133
14	Bluetooth通信マーク.....	154		多重露出撮影コマ数.....	133
15	機内モード.....	153	19	ターゲット追尾AF.....	59
	Wi-Fi通信マーク.....	110	20	調光補正マーク.....	132

■■ 静止画モードの場合（続き）

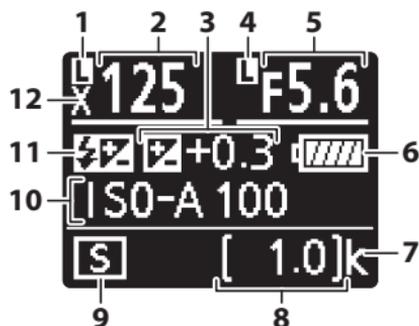
21	1000コマ以上補助表示.....	33	34	ユーザーセッティングモード...76	
22	レディーライト.....	186	35	測光モード.....	109
23	記録可能コマ数.....	33、235	36	ピント表示.....	61
24	ISO感度.....	81	37	露出ディレーモード.....	144
25	ISO感度マーク.....	81	38	シャッター方式.....	144
	ISO-AUTOマーク.....	83		サイレント撮影.....	67
26	露出補正マーク.....	84	39	撮影モード.....	71
27	インジケーター		40	プログラムシフトマーク.....	72
	露出.....	75	41	FLICKER アイコン.....	131
	露出補正.....	84	42	シャッタースピードロック	
	オートブラケティング.....	133		マーク.....	148
28	絞り値.....	73、74	43	インターバルタイマー設定	
29	絞り値ロックマーク.....	148		マーク.....	133
30	シャッタースピード.....	72、74		⊕マーク.....	39
31	フラッシュシンクロマーク.....	145		カードなしマーク.....	31、34
32	FVロックマーク.....	185	44	AFエリアフレーム.....	55
33	AE-L マーク.....	91	45	温度上昇警告.....	174

■ 動画モードの場合



1	画像サイズ/フレームレート/ 画質..... 116	7	静止画撮影のリリースモード ...89
2	ファイル名 135	8	音声レベルインジケータ 119
3	外部記録制御 153	9	マイク感度 139
4	動画撮影中マーク 46	10	録音帯域 139
	動画撮影禁止マーク 47	11	風切り音低減マーク 140
5	タイムコード 140	12	ヘッドホン音量 140
6	動画撮影残り時間 46	13	電子手ブレ補正マーク 122

表示パネル



1	シャッタースピードロック マーク.....	148	7	1000コマ以上補助表示.....	33
2	シャッタースピード.....	72、74	8	記録可能コマ数.....	33、235
3	露出補正マーク.....	84	9	レリーズモード.....	86
	露出補正值.....	84	10	ISO感度.....	81
4	絞り値ロックマーク.....	148	11	調光補正マーク.....	132
5	絞り値.....	73、74		発光禁止マーク.....	108
6	バッテリー残量表示.....	33	12	フラッシュシンクロマーク ...	145

使用できるスピードライト

ニコンクリエイティブライティングシステム (CLS) について

ニコンクリエイティブライティングシステム (CLS) は、ニコンのスピードライトとカメラのデータ通信方式を改良したシステムで、スピードライト撮影に新たな可能性を開く、さまざまな機能を提供します。

■ ニコンクリエイティブライティングシステム対応 スピードライトとの組み合わせで使用できる機能

		SB-5000	SB-910	SB-900	SB-800	SB-700	SB-600	SB-500	SU-800	SB-R200	SB-400	SB-300
1灯	i-TTL	i-TTL-BL調光※1	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○
		スタンダード i-TTL調光	○※2	○※2	○	○※2	○	○	—	—	○	○
	⊗A	絞り連動外部 自動調光	○	○※3	—	—	—	—	—	—	—	—
	A	外部自動調光	—	○※3	—	—	—	—	—	—	—	—
	GN	距離優先 マニュアル発光	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
	M	マニュアル発光	○	○	○	○	○※4	—	—	○※4	○※4	
	RPT	リピーティング フラッシュ	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—

☑ スピードライトを使用した撮影の制限について

次の場合など、スピードライトとは同時に使用できない機能や設定があります。

- サイレント撮影
- 動画撮影
- HDR (ハイダイナミックレンジ)
- 高速連続撮影 (拡張)

		SB-5000	SB-910	SB-900	SB-800	SB-700	SB-600	SB-500	SU-800	SB-R200	SB-400	SB-300	
光制御アドバンストワイヤレスライティング	マスターフラッシュ	リモートフラッシュへの発光指示	○	○	○	—	○*4	○	—	—	—	—	
		i-TTL i-TTL 調光	○	○	○	—	○*4	—	—	—	—	—	
		[A : B] クイックワイヤレスコントロール	○	—	○	—	—	○*5	—	—	—	—	
		⊗A 絞り連動外部自動調光	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
		A 外部自動調光	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		M マニュアル発光	○	○	○	—	○*4	—	—	—	—	—	
		RPT リピーティングフラッシュ	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	リモートフラッシュ	i-TTL i-TTL 調光	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	
		[A : B] クイックワイヤレスコントロール	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	
		⊗A/A 絞り連動外部自動調光/外部自動調光	○*6	○*6	—	—	—	—	—	—	—	—	
		M マニュアル発光	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	
		RPT リピーティングフラッシュ	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	
	電波制御アドバンストワイヤレスライティング		○*7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	発光色温度情報伝達 (フラッシュ)		○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○
発光色温度情報伝達 (LEDライト)		—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	
オートFPハイスピードシンク口 *8		○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	
FVロック *9		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
赤目軽減発光		○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	
カメラ起動モデリング発光		○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	

	SB-5000	SB-910	SB-900	SB-800	SB-700	SB-600	SB-500	SU-800	SB-R200	SB-400	SB-300
ユニファイドフラッシュ コントロール	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○
カメラからのスピードライト ファームアップ	○	○※10	○	○	—	—	○	—	—	—	○

- ※1 スポット測光時は設定できません。
- ※2 スピードライト側でも設定できます。
- ※3 AとAの選択は、スピードライトのカスタム設定で行います。
- ※4 カメラの【フラッシュ発光】で設定できます。
- ※5 クローズアップ撮影時のみ設定できます。
- ※6 AとAの選択は、マスターフラッシュの設定に準じます。
- ※7 使用できる機能は、光制御アドバンストワイヤレスライティングのリモートフラッシュと同じです。
- ※8 発光モードがi-TTL、A、A、GN、Mの場合のみ動作します。
- ※9 発光モードがi-TTL、「モニター発光あり」のAまたは「モニター発光あり」のAの場合のみ動作します。
- ※10 SB-910とSB-900のみカメラからのスピードライトファームアップが可能です。

■ SU-800について

ワイヤレススピードライトコマンダーSU-800は、ワイヤレスでSB-5000、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-R200を制御するコマンダーです。スピードライトを3つのグループに分けて光制御できます。SU-800には発光機能はありません。

✔ その他のスピードライトとの組み合わせで利用できる機能

次のスピードライトを使用する場合、外部自動調光 (A) あるいはマニュアル発光撮影となります。装着レンズによって機能が変更されることはありません。

スピードライト		SB-80DX SB-28DX	SB-50DX	SB-28 SB-26 SB-25 SB-24	SB-30 SB-27*1 SB-22S SB-22 SB-20 SB-16B SB-15	SB-23 SB-29 SB-21B SB-29S	
区分	A	外部自動調光	○	—	○	○	—
	M	マニュアル発光	○	○	○	○	○
		マルチフラッシュ	○	—	○	—	—
	REAR*2	後幕シンクロ	○	○	○	○	○

※1 このカメラと SB-27 を組み合わせると自動的に TTL モードになりますが、TTL モードでは使えません。SB-27 を A モードに設定し直してください。

※2 カメラ側のフラッシュモードで設定してください。

✔ 別売スピードライトのFVロックについて

- 別売のスピードライトの発光モードが TTL、「モニター発光あり」の  A または「モニター発光あり」の A のいずれかにセットされている場合は、FV ロックを行えます (別売スピードライトの発光モードについては、スピードライトの使用説明書をご覧ください)。
- 増灯時に FV ロックを使用する場合は、主灯 (マスターフラッシュ) または補助灯 (リモート) グループのうち、少なくとも 1 グループの発光モードを TTL、 A または A のいずれかにセットしてください。

▼ スピードライトのFVロック時の測光エリアについて

スピードライトを使用したFVロック時の測光エリアは次のようになります。

撮影状態	発光モード	測光エリア
1灯撮影時	i-TTLモード	画面中央 φ6 mm相当
	絞り連動外部自動調光 ()	スピードライトの 外部測光エリア
アドバンストワイヤレス ライティングによる 増灯時	i-TTLモード	全画面
	絞り連動外部自動調光 ()	スピードライトの 外部測光エリア
	外部自動調光 (A)	

▼ スピードライト使用時のご注意

- 詳細はお使いになる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応のスピードライトの使用説明書にカメラ分類表が記載されている場合は、ニコンクリエイティブライティングシステム対応デジタル一眼レフに該当する箇所をお読みください。なお、このカメラはSB-80DX、SB-28DX、SB-50DXの使用説明書に記載のデジタル一眼レフカメラには該当しません。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト使用時には、i-TTLや外部自動調光モードにおいて、フル発光でも露出不足になる可能性のある場合に、発光直後に (レディーライト) が約3秒間点滅して露出アンダー警告を行います。
- i-TTLモード時のISO感度連動範囲はISO 64～12800 (Z 6はISO 100～12800) 相当です。
- ISO感度を12800よりも増感した場合には、距離や絞り値によっては適正な発光量にならない場合があります。
- 撮影モードがPの場合、下表の絞り値よりも絞りを開くことはできません。

ISO感度と開放側の限界絞り (F)

64	100	200	400	800	1600	3200	6400	12800
3.5	4	5	5.6	7.1	8	10	11	13

※ 制御される絞り値よりも開放絞りが暗い場合は、装着レンズの開放絞りによって制御されます。

- スピードライトSB-5000、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-400の使用時に、フラッシュモードが赤目軽減、赤目軽減スローシンクロモードの場合は、スピードライト側で赤目軽減発光が行われます。

- パワーアシストバック SD-8A または SD-9 をカメラに固定した状態でフラッシュ撮影をすると、筋状のノイズが写り込むことがあります。その場合は、ISO感度を下げるか、SD-8AまたはSD-9をカメラから離してお使いください。
- AF補助光の照射条件が満たされると、カメラのAF補助光を自動的に照射します。スピードライトのAF補助光は照射されません。
- i-TTLモード時に、調光コードSC-17、SC-28、SC-29を使用してカメラからスピードライトを離して撮影する場合、スタンダードi-TTL調光以外では適正露出を得られない場合があります。この場合は、スタンダードi-TTL調光に切り換えて撮影してください。また、あらかじめテスト撮影を行ってください。
- i-TTLモード時に、発光面に内蔵パネルまたは付属のバウンスアダプター以外の部材（拡散板など）を装着しないでください。カメラ内の演算に誤差が生じ、適正露出とならない場合があります。

✔ 別売スピードライトの調光補正について

i-TTL調光時および絞リ連動外部自動調光 (⊗A) 時に、静止画撮影メニュー [フラッシュ調光補正] で設定した調光補正と、スピードライト本体または静止画撮影メニュー [フラッシュ発光] で設定した調光補正を同時に行う場合、両方の補正値を加算します。

ヒント：モデリング発光について

- 別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト装着時には、カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能] で [レビュー] を割り当てたボタンを押すとモデリング発光が行われます。
- アドバンストワイヤレスライティングによる増灯時には、使用する全てのスピードライトのモデリング発光が行われ、照射光の効果を簡単に確認できます。
- 照射光による影の効果は、撮影画面よりも被写体を見て確認することをおすすめします。
- プレビュー時にモデリング発光を行わないようにするには、カスタムメニュー e5 [モデリング発光] を [しない] に設定してください。

ヒント：スタジオ用フラッシュを使う場合

カスタムメニュー d8 [Lvに撮影設定を反映] を [しない] に設定すると、撮影画面が見やすい色味や明るさで表示され、構図の確認などがしやすくなります。

使用できるアクセサリ

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリが用意されています。

電源

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15b

ニコンデジタルカメラZ 7/Z 6用のバッテリーです。

- EN-EL15b の代わりにEN-EL15c/EN-EL15a/EN-EL15 も使えます。EN-EL15a/EN-EL15を使用する場合、EN-EL15bを使用したときよりも撮影可能コマ数（電池寿命）が減少します（□237）。

バッテリーチャージャー MH-25a

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL15b用のチャージャーです。

- MH-25aの代わりにバッテリーチャージャーMH-25も使えます。

バッテリーバックMB-N10

ニコンミラーレスカメラ用のバッテリーバックです。カメラ本体に取り付けて、Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL15b 2個を電源として使用できます。

本体充電ACアダプター EH-7P

バッテリーを挿入したカメラ本体に接続して、バッテリーを充電できます。

- カメラの電源がONの場合は充電できません。
- EN-EL15a または EN-EL15 を使用している場合は、本体充電ACアダプターでの充電はできません。

パワーコネクター EP-5B、ACアダプター EH-5c/EH-5b ※

ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給できます。

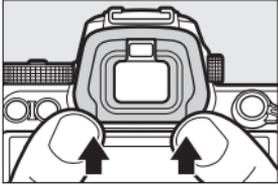
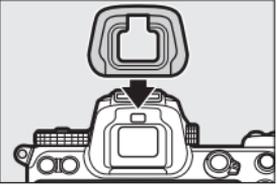
- このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するためにパワーコネクター EP-5Bが必要で、カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する方法については、「カメラとパワーコネクター、ACアダプターの接続方法」(□194) をご覧ください。

※ 日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。

☑ 使用できるアクセサリについて

- 国または地域によって、販売していないまたは販売が終了している場合があります。
- アクセサリの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

フィルター	<ul style="list-style-type: none"> • フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、ニュートラルカラー NCをお使いください。 • 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。 • 露出倍数のかかるフィルター（Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL（円偏光フィルター）、ND25、ND45、ND4、ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12）を使用する場合、マルチパターン測光の効果が得られない場合があります。その場合、測光モードを中央部重点測光に切り換えて撮影することをおすすめします。詳しくは、各フィルターの使用説明書をご覧ください。 • 特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやピント表示（●）が行えないことがありますのでご注意ください。
リモートコード	<p>リモートコードMC-DC2（長さ：約1m）</p> <p>リモートコードMC-DC2をカメラのアクセサリターミナルに接続すると、カメラから離れてリリース操作ができます。</p>
GPSユニット	<p>GPSユニットGP-1/GP-1A</p> <p>GP-1/GP-1Aをカメラのアクセサリターミナルに接続することにより、撮影時の緯度、経度、標高、UTC（協定世界時）を画像データに記録することができます。</p> <p>※ 販売は終了しています。</p>
USBケーブル	<p>USBケーブルUC-E24</p> <p>カメラ側がType-C、USB機器側がType-AのUSBケーブルです。</p> <p>USBケーブルUC-E25</p> <p>両端がType-CのUSBケーブルです。</p>
HDMIケーブル	<p>HDMIケーブルHC-E1</p> <p>カメラ側がType C、HDMI機器側がType AのHDMIケーブルです。</p>
ホットシューアダプター	<p>ホットシューアダプター AS-15</p> <p>アクセサリシューに装着すると、シンクロナーターミナルを利用してスタジオ用フラッシュなどを接続できます。</p>
アクセサリシューカバー	<p>アクセサリシューカバー BS-1</p> <p>スピードライトを取り付けるアクセサリシューを保護するためのカバーです。</p>

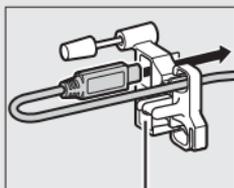
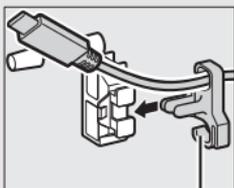
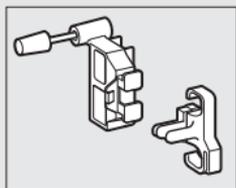
<p>ボディ キャップ</p>	<p>ボディキャップBF-N1 レンズを取り外したカメラボディに取り付けることにより、ゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。</p>
<p>ファインダー用 アクセサリ</p>	<p>接眼目当てDK-29 接眼部に取り付けて使用する、ゴム製の接眼目当てです。ファインダー視野がよりはっきり確認でき、目の疲れを軽減します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>マウント アダプター</p>	<p>マウントアダプター FTZ (□227)</p>
<p>外部マイク</p>	<p>ステレオマイクロホンME-1 ステレオマイクロホンME-1を外側マイク入力端子に接続すると、ステレオ録音ができます。また、動画撮影中にオートフォーカスでピント合わせをしたときに生じるレンズの動作音などが録音されるのを軽減できます。</p> <p>ワイヤレスマイクロホンME-W1 Bluetooth無線通信技術を搭載したワイヤレスマイクロホンです。カメラの動画撮影時に離れた場所の音声を収録できます。</p>
<p>ワイヤレス トランスミッター</p>	<p>ワイヤレストランスミッター WT-7 * カメラで撮影した画像をワイヤレスで転送したり、別売のCamera Control Pro 2を使ってパソコンからカメラを遠隔操作ができます。さらに、パソコンやスマートフォンのWebブラウザから画像の閲覧やリモート撮影ができます。</p> <p>*ワイヤレストランスミッターをお使いいただく場合は、LANの知識および環境が必要です。ワイヤレストランスミッターで使用するソフトウェアは、必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。</p>

<p>ワイヤレス リモートコント ローラー</p>	<p>ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10/WR-T10</p> <ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスリモートコントローラーWR-R10をカメラのアクセサリターミナルに装着すると、ワイヤレスリモートコントローラーWR-T10からの操作で無線での遠隔撮影を行えます。 WR-R10を使用して、電波制御に対応したスピードライトを制御することもできます。 WR-R10を装着したカメラを複数台用意してWR-R10をペアリングすると、複数のカメラを連動してシャッターをきる連動リリースを行えます。 <p>※ WR-R10を装着するときは、USB/HDMI/アクセサリターミナル端子カバーをすべて開けてください。</p> <p>ワイヤレスリモートコントローラー WR-1</p> <p>WR-1は、他のWR-1やWR-R10またはWR-T10と組み合わせて、送信機または受信機として使います。WR-R10または受信機に設定したWR-1をカメラのアクセサリターミナルに取り付けると、送信機に設定したWR-1からの操作で、遠隔撮影したりカメラの設定を変更したりすることができます。</p> <p>※ ワイヤレスリモートコントローラーをお使いいただく場合は、WR-R10のファームウェアをVer.3.0以降、WR-1のファームウェアをVer1.0.1以降の最新版にバージョンアップしてください。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページでご確認ください。WR-R10のファームウェアをVer.2.0以前からVer.3.0以降にバージョンアップする場合は、ニコンサービス機関にお問い合わせください。</p>
<p>ニコンデジタル カメラ専用 ソフトウェア</p>	<p>Camera Control Pro 2</p> <p>パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接ハードディスクなどへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。Camera Control Pro 2で画像の記録先の設定が【PC】になっている場合、カメラとパソコンを接続してCamera Control Pro 2を起動すると、表示パネルにPC接続中マークPCが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアは必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。ご使用のパソコンがインターネットに接続されている場合、OSログオン後に所定時間を経過すると、ニコンメッセージセンター 2はソフトウェアの更新情報などを確認します（初期設定）。更新情報がある場合は、「通知の画面」が自動的に表示されます。 対応OSについては、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

▼ HDMI/USBケーブルクリップについて

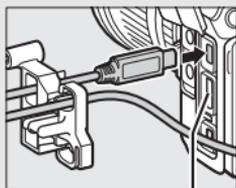
付属のHDMI/USBケーブルクリップを取り付けると、カメラから別売のHDMIケーブルやUSBケーブルが不用意に外れることを防ぐことができます（HDMI/USBケーブルクリップは、市販のHDMI端子用ケーブルで使用できない場合があります）。

- ここではUSBケーブルを使って説明しています。
- HDMI/USBケーブルクリップを使用するときは、画像モニターを収納してください。

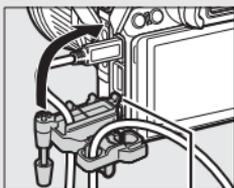


HDMIケーブルの場合
はここに通します。

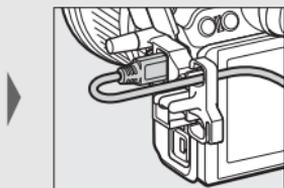
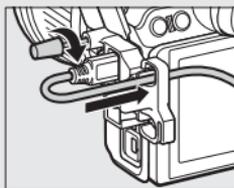
HDMIケーブルの場合
はここに通します。



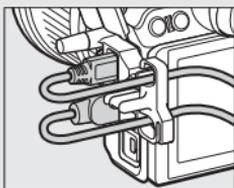
HDMIケーブルの場合
はここに差し込みます。



ケーブルクリップの突起部をカメラのくぼみに引っかけてから取り付けます。



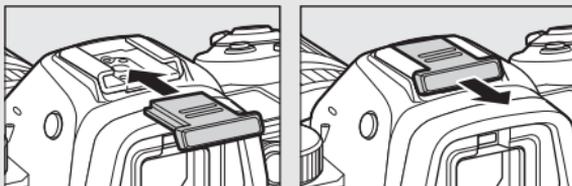
USBケーブルを使用する
場合



HDMIケーブルとUSBケーブルを同時に使用する
場合

✓ アクセサリーシューカバーの取り付けおよび取り外し方

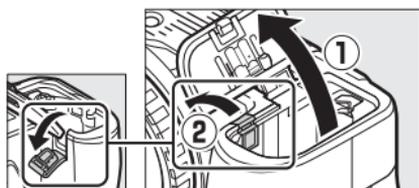
アクセサリーシューカバー BS-1を取り付けるには、カバーを図のようにカメラのアクセサリーシューに差し込みます。取り外すときは、カメラをしっかりと支えて、カバー全体を親指で押さえながら矢印の方向にスライドさせます。



カメラとパワーコネクター、ACアダプターの 接続方法

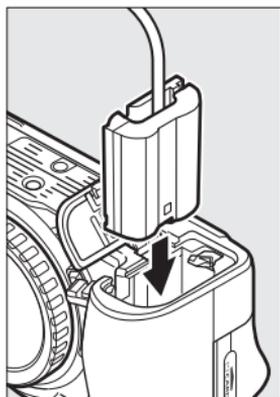
カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する前に、カメラ本体の電源がOFFになっていることを確認してください。

- 1** カメラのバッテリー室
カバー (①) とパワーコ
ネクターカバー (②) を
開ける



- 2** パワーコネクター EP-5Bを入れる

- パワーコネクターは、接点の向きに注意しながら入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをパワーコネクター側面で押しながら、パワーコネクターを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがパワーコネクターに掛かり、パワーコネクターがロックされます。



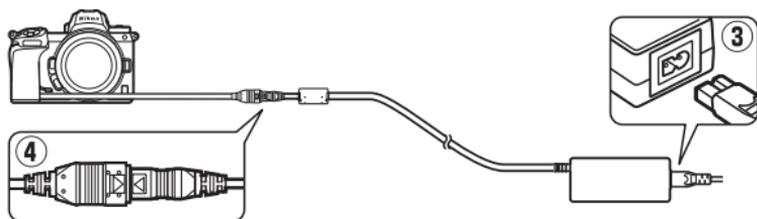
- 3** カメラのバッテリー室
カバーを閉じる

- パワーコネクターのコードがパワーコネクターカバーを開けた部分から出るように注意して、バッテリー室カバーを閉じます。



4 パワーコネクターとACアダプター EH-5c/EH-5bを接続する

- 電源コードのACプラグを、ACアダプターのACプラグ差し込み口に差し込みます (③)。
- パワーコネクターのDCプラグコネクターにACアダプターのDCプラグを差し込みます (④)。
- パワーコネクターとACアダプターの使用時には、撮影画面上のバッテリー残量表示がに変わります。



カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

カメラを保管するときは、下記の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所

クリーニングについて

カメラ本体	ほこりや糸くずをブローアード払い、柔らかい乾いた布で軽く拭き取ります。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。 ご注意：カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
レンズ・ファインダー	レンズ面は傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブローアード払いします。スプレー缶タイプのブローアードは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズやファインダーを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、レンズ面を傷つけないように注意して拭き取ります。
画像モニター	ほこりや糸くずをブローアード払いします。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

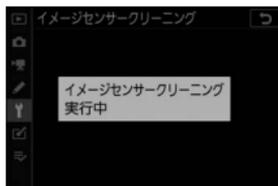
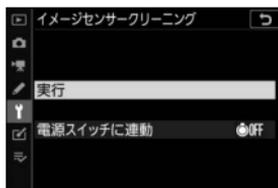
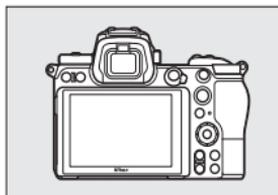
アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

撮像素子のお手入れについて

レンズを取り付けるときなどに、撮像素子の前面にゴミやほこりが付くと、画像に影が写り込むことがあります。イメージセンサークリーニングを作動させると、撮像素子前面のゴミをふるい落とすことができます。イメージセンサークリーニングは、メニューから操作する方法と、電源のOFF時に自動的に行う方法があります。イメージセンサークリーニングでゴミやほこりを取りきれないときは、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。

■ セットアップメニューの【イメージセンサークリーニング】から操作する

- 効果的にゴミをふるい落とせるように、正位置（カメラを横位置で構えるときの向き）にしてください。
- セットアップメニューの【イメージセンサークリーニング】を選び、【実行】を選んで **OK** ボタンを押すと、イメージセンサークリーニングが開始されます。実行中は撮像素子のチェックも行われます。
- イメージセンサークリーニング実行中は、カメラの操作はできません。バッテリーやACアダプターを取り外さないでください。
- クリーニングが完了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。

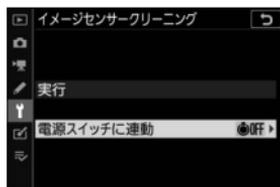


■ 電源OFF時にイメージセンサークリーニングする

 電源OFFで実行	電源OFFと同時にイメージセンサークリーニングが作動します。
実行しない	電源をOFFにしてもイメージセンサークリーニングは作動しません。

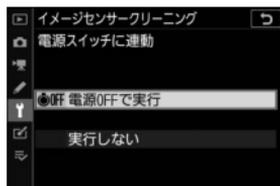
1 [イメージセンサークリーニング] 画面で [電源スイッチに連動] を選ぶ

- [電源スイッチに連動] を選んでマルチセクターの  を押しと、[電源スイッチに連動] 画面が表示されます。



2 イメージセンサークリーニングの方法を選ぶ

-  ボタンを押して設定します。



イメージセンサークリーニングについてのご注意

- 電源スイッチに連動してイメージセンサークリーニングが作動しているときにカメラを操作すると、イメージセンサークリーニングは中断します。
- イメージセンサークリーニングを連続して行くと、内部の回路を保護するため、一時的に作動しなくなる場合があります。少し時間をおくと再び作動するようになります。

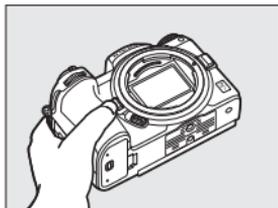
撮像素子前面をブローで掃除する

イメージセンサークリーニングでゴミやほこりを取りきれないときは、撮像素子前面を次の手順でクリーニングできます。ただし、カメラ内部の撮像素子は非常に傷つきやすいため、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。

1 カメラの電源をOFFにしてからレンズを取り外す

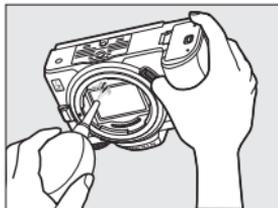
2 カメラの内部に光が当たるようにカメラを持ち、ゴミやほこりが付いていないかどうかを点検する

ゴミやほこりが付いていない場合は、手順4にお進みください。



3 撮像素子前面に付いたゴミやほこりをブローで払う

- ブラシの付いていないブローアーをお使いください。ブラシで撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
- ブローアーで取り除けない汚れがある場合は、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。絶対に、手でこすったり、布で拭き取ったりしないでください。



4 付属のボディキャップを付ける

▼ 撮像素子前面に付着するゴミなどについて

撮像素子前面には、カメラからレンズまたはボディキャップを取り外した際に外部からカメラ内に入ったゴミや、まれにカメラ内部の潤滑剤や細粉などが付着することがあり、撮影条件によっては撮像素子前面に付着したゴミや潤滑剤、細粉などが撮影画像に写り込む場合があります。カメラ内へのゴミの侵入を防止するため、ほこりの多い場所でのレンズ交換やボディキャップの着脱は避け、カメラ本体のマウント部およびレンズのマウント部、ボディキャップのゴミを除去してからカメラに取り付けてください。レンズを外してカメラを保管するときは、必ず付属のボディキャップを装着してください。撮像素子前面に付着したゴミなどをイメージセンサークリーニング（□197）で取り除ききれないときは、「撮像素子前面をブローで掃除する」（□199）の手順でクリーニングしていただくか、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。なお、ゴミの写り込みは、画像加工アプリケーションなどで修正できます。

▼ 定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

カメラとバッテリーの使用上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、静電気が発生する環境では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色、焼き付き、破損を起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● レーザー光などの光線について

レーザー光などの強い光線がレンズに向けて照射されると、撮像素子が破損を起こすおそれがあります。

● カメラ本体のお手入れについて

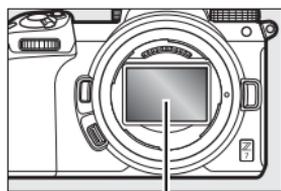
カメラ本体のお手入れの際は、プロアールでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。さらに、ブラシなどで表示パネルを拭いた場合に、静電気で表示パネルが点灯したり、黒く変色したりすることがありますが、故障ではありません。しばらくすると元に戻ります。

● レンズやファインダーのお手入れについて

レンズやファインダーは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブローアで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブローアの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズやファインダーを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● 撮像素子に触れない

撮像素子を押さえたり、突いたり、ブローアなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。



撮像素子

● 撮像素子の手入れ方法について

撮像素子のクリーニングの方法については□□197をご覧ください。

● レンズの信号接点について

レンズの信号接点を汚さないようにご注意ください。指などが触れないようにご注意ください。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。防虫剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因となります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくことより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● **バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする**
カメラの電源がONの状態では、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● **画像モニターとファインダーについて**

- 画像モニター（ファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で画像モニターが見えにくい場合があります。
- 画像モニター表面を強くこすったり、強く押ししたりしないでください。画像モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブローで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、画像モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。
- ファインダーを見ながら撮影をしている場合に、次のいずれかの症状を感じた時は、使用をやめ、回復するまで休んでください。
 - 吐き気・目の痛み、目の疲れ
 - めまい・頭痛・首の痛み、肩こり
 - 気分が悪い・手と目の感覚のずれ
 - 乗り物酔いの症状
- 連続撮影時に、撮影画面が素早く点灯と消灯を繰り返すことがあります。このとき、撮影画面を見続けることで体調不良などの症状が起きる恐れがあります。その場合は使用をやめ、回復するまで休んでください。

● **線状のノイズについて**

逆光撮影や輝度の高い光源に向けて撮影する場合、まれに撮影した画像上に線状のノイズが発生することがあります。

バッテリーの使用上のご注意

● 使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
 - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
 - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
 - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
 - 必ず指定のバッテリーを使う。
 - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
 - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態でカメラから取り外し、涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。
- バッテリーは0℃～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- バッテリーの温度が0℃～15℃、45℃～60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、バッテリーに充電できる容量は少なくなります。新品のバッテリーでも、約5℃以下の低温で充電した場合、セットアップメニューの【電池チェック】で劣化度が「1」と表示されることがありますが、約20℃以上で再充電すると劣化度の表示は「0」に戻ります。

- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確にバッテリー残量として表示します。そのため、十分に充電したバッテリーでも、充電したときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることがあります。
- カメラの使用後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

- 電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。電池残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。
- 十分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリーをお求めください。

● 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、接点部をビニールテープなどで絶縁しリサイクル協力店へお持ちください。

詳しくは一般社団法人JBRCホームページ (<https://www.jbrc.com>) をご覧ください。



Li-ion00

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

チャージャーの使用上のご注意

- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- チャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャー MH-25aに対応していないバッテリーは、バッテリーチャージャー MH-25aで充電しないでください。

本体充電ACアダプターの使用上のご注意

- 充電中にカメラをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはカメラを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- 本体充電ACアダプターの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- 本体充電ACアダプターを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

主な仕様

ニコンデジタルカメラ Z 7/Z 6

型式

型式	レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント	ニコンZマウント

使用レンズ

使用レンズ	<ul style="list-style-type: none">• Zマウント用NIKKORレンズ• Fマウント用NIKKORレンズ（マウントアダプター使用時、一部機能制限あり）
-------	--

有効画素数

有効画素数	<ul style="list-style-type: none">• Z 7 : 4575万画素• Z 6 : 2450万画素
-------	---

撮像素子

方式	35.9×23.9 mmサイズCMOSセンサー（ニコンFXフォーマット）
総画素数	<ul style="list-style-type: none">• Z 7 : 4689万画素• Z 6 : 2528万画素
ダスト低減機能	イメージセンサークリーニング、イメージダストオフデータ取得（NX Studioが必要）

記録形式

記録画素数	<p>Z 7 :</p> <ul style="list-style-type: none">• 撮像範囲 [FX (36×24)] の場合： 8256×5504ピクセル（サイズL：45.4 M） 6192×4128ピクセル（サイズM：25.6 M） 4128×2752ピクセル（サイズS：11.4 M）• 撮像範囲 [DX (24×16)] の場合： 5408×3600ピクセル（サイズL：19.5 M） 4048×2696ピクセル（サイズM：10.9 M） 2704×1800ピクセル（サイズS：4.9 M）• 撮像範囲 [5:4 (30×24)] の場合： 6880×5504ピクセル（サイズL：37.9 M） 5152×4120ピクセル（サイズM：21.2 M） 3440×2752ピクセル（サイズS：9.5 M）
-------	---

- 撮像範囲 **[1:1 (24×24)]** の場合：
5504×5504ピクセル (サイズL : 30.3 M)
4128×4128ピクセル (サイズM : 17.0 M)
2752×2752ピクセル (サイズS : 7.6 M)
- 撮像範囲 **[16:9 (36×20)]** の場合：
8256×4640ピクセル (サイズL : 38.3 M)
6192×3480ピクセル (サイズM : 21.5 M)
4128×2320ピクセル (サイズS : 9.6 M)
- 動画の画像サイズを**3840×2160**に設定し、
動画モード中に静止画撮影した場合：
3840×2160ピクセル
- 動画の画像サイズを**3840×2160**以外に設定し、
動画モード中に静止画撮影した場合：
1920×1080ピクセル

Z6 :

- 撮像範囲 **[FX (36×24)]** の場合：
6048×4024ピクセル (サイズL : 24.3 M)
4528×3016ピクセル (サイズM : 13.7 M)
3024×2016ピクセル (サイズS : 6.1 M)
- 撮像範囲 **[DX (24×16)]** の場合：
3936×2624ピクセル (サイズL : 10.3 M)
2944×1968ピクセル (サイズM : 5.8 M)
1968×1312ピクセル (サイズS : 2.6 M)
- 撮像範囲 **[1:1 (24×24)]** の場合：
4016×4016ピクセル (サイズL : 16.1 M)
3008×3008ピクセル (サイズM : 9.0 M)
2000×2000ピクセル (サイズS : 4.0 M)
- 撮像範囲 **[16:9 (36×20)]** の場合：
6048×3400ピクセル (サイズL : 20.6 M)
4528×2544ピクセル (サイズM : 11.5 M)
3024×1696ピクセル (サイズS : 5.1 M)
- 動画の画像サイズを**3840×2160**に設定し、
動画モード中に静止画撮影した場合：
3840×2160ピクセル
- 動画の画像サイズを**3840×2160**以外に設定し、
動画モード中に静止画撮影した場合：
1920×1080ピクセル

記録画素数

記録形式	
画質モード	<ul style="list-style-type: none"> • RAW 12ビット/14ビット（ロスレス圧縮、圧縮、非圧縮）、サイズL/M/S選択可能（サイズM/Sは12ビット、ロスレス圧縮に固定） • TIFF（RGB） • JPEG-Baseline準拠、圧縮率（約）：FINE（1/4）、NORMAL（1/8）、BASIC（1/16）サイズ優先または画質優先選択可能 • RAWとJPEGの同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	オート、スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、フラット、Creative Picture Control（ドリーム、モーニング、ポップ、サンデー、ソーパー、ドラマ、サイレンス、ブリーチ、メランコリック、ピュア、デニム、トイ、セピア、ブルー、レッド、ピンク、チャコール、グラフィート、バイナリー、カーボン）、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能
記録媒体	XQDカード、CFexpressカード（Type B）
対応規格	DCF 2.0、Exif 2.31、PictBridge
ファインダー	
ファインダー	電子ビューファインダー、0.5型 Quad-VGA OLED、約369万ドット、明るさ調整可能（オート、マニュアル11段階）、カラーカスタマイズ可能
視野率	上下左右とも約100%（対実画面）
倍率	約0.8倍（50mmレンズ使用時、 ∞ 、 -1.0 m^{-1} のとき）
アイポイント	接眼レンズ面中央から21mm（ -1.0 m^{-1} のとき）
視度調節範囲	$-4\sim+2\text{ m}^{-1}$
アイセンサー	ファインダー表示と画像モニター表示の自動切り換え
画像モニター	
画像モニター	チルト式3.2型TFT液晶モニター（タッチパネル）、約210万ドット、視野角170°、視野率約100%、明るさ調整可能（マニュアル11段階）、カラーカスタマイズ可能
シャッター	
型式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター、電子先幕シャッター、電子シャッター
シャッター速度	1/8000～30秒（1/3、1/2ステップに変更可能）、Bulb、Time、X200

シャッター	
フラッシュ同調 シャッター スピード	X=1/200秒、1/200秒以下の低速シャッタースピードで同調 • オートFPハイスピードシンクロ可能
レリーズ機能	
レリーズモード	1コマ撮影、低速連続撮影、高速連続撮影、高速連続撮影（拡張）、セルフタイマー撮影
連続撮影速度	Z7： <ul style="list-style-type: none"> • 低速連続撮影：約1～5コマ/秒 • 高速連続撮影：約5.5コマ/秒（14ビットRAW設定時：約5コマ/秒） • 高速連続撮影（拡張）：約9コマ/秒（14ビットRAW設定時：約8コマ/秒） Z6： <ul style="list-style-type: none"> • 低速連続撮影：約1～5コマ/秒 • 高速連続撮影：約5.5コマ/秒 • 高速連続撮影（拡張）：約12コマ/秒（14ビットRAW設定時：約9コマ/秒） ※ ニコン試験条件での最大撮影速度
セルフタイマー	作動時間：2、5、10、20秒、撮影コマ数：1～9コマ、連続撮影間隔：0.5、1、2、3秒
露出制御	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	<ul style="list-style-type: none"> • マルチパターン測光 • 中央部重点測光：φ12 mm相当を測光（中央部重点度約75%）、画面全体の平均に変更可能 • スポット測光：約φ4 mm相当（全画面の約1.5%）を測光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動 • ハイライト重点測光
測光範囲	<ul style="list-style-type: none"> • Z7：-3～17 EV • Z6：-4～17 EV ※ ISO 100、f/2.0レンズ使用時、常温20℃
撮影モード	☺：オート、P：プログラムオート（プログラムシフト可能）、S：シャッター優先オート、A：絞り優先オート、M：マニュアル ユーザーセッティングU1～U3に登録可能
露出補正	P、S、A、M時に設定可能、範囲：±5段、補正ステップ：1/3、1/2ステップに変更可能
AEロック	輝度値ロック方式

露出制御

ISO感度 (推奨露光指数)	<ul style="list-style-type: none">● Z7 : ISO 64~25600 (1/3、1/2ステップ)、ISO 64に対し約0.3、0.5、0.7、1段 (ISO 32相当) の減感、ISO 25600に対し約0.3、0.5、0.7、1段、2段 (ISO 102400相当) の増感、感度自動制御が可能● Z6 : ISO 100~51200 (1/3、1/2ステップ)、ISO 100に対し約0.3、0.5、0.7、1段 (ISO 50相当) の減感、ISO 51200に対し約0.3、0.5、0.7、1段、2段 (ISO 204800相当) の増感、感度自動制御が可能
アクティブ D-ライティング	オート、より強め、強め、標準、弱め、しない
多重露出	加算、加算平均、比較明合成、比較暗合成
その他の機能	HDR (ハイダイナミックレンジ)、静止画フリッカー低減撮影

オートフォーカス

方式	ハイブリッドAF (位相差AF/コントラストAF)、AF補助光付
検出範囲	<ul style="list-style-type: none">● Z7 : -2~19 EV (ローライトAF時: -4~19 EV)● Z6 : -3.5~19 EV (ローライトAF時: -6~19 EV) ※ 静止画モード、シングルAFサーボ (AF-S)、ISO 100、f/2.0レンズ使用時、常温20℃
レンズサーボ	<ul style="list-style-type: none">● オートフォーカス : シングルAFサーボ (AF-S) またはコンティニュアスAFサーボ (AF-C)、常時AF (AF-F) (動画モードのみ)、予測駆動フォーカスあり● マニュアルフォーカス (M) : フォーカスエイド可能
フォーカス ポイント	<ul style="list-style-type: none">● Z7 : 493点● Z6 : 273点 ※ 静止画モード、撮像範囲FX、シングルポイントAF時
AFエリアモード	ピンポイントAF (静止画モードのみ)、シングルポイントAF、ダイナミックAF (静止画モードのみ)、ワイドエリアAF (S)、ワイドエリアAF (L)、オートエリアAF
フォーカスロック	サブセレクターの中央押し、またはシングルAFサーボ (AF-S) 時にシャッターボタン半押し

手ブレ補正機能

カメラ内手ブレ補正	イメージセンサーシフト方式5軸補正
レンズ手ブレ補正	レンズシフト方式 (VRレンズ使用時)

フラッシュ

調光方式	TTL調光制御：i-TTL-BL調光（マルチパターン測光、中央部重点測光またはハイライト重点測光）、スタンダードi-TTL調光（スポット測光）可能
フラッシュモード	先幕シンクロ、スローシンクロ、後幕シンクロ、赤目軽減、赤目軽減スローシンクロ、発光禁止
調光補正	P、S、A、M時に設定可能、範囲：-3～+1段、補正ステップ：1/3、1/2ステップ
レディーライト	別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光による露出不足警告時は点滅
アクセサリシュー	ホットシュー（ISO 518）装備：シンクロ接点、通信接点、セーフティーロック機構（ロック穴）付
ニコンクリエイティブライティングシステム	i-TTL調光、電波制御アドバンストワイヤレスライティング、光制御アドバンストワイヤレスライティング、モデリング発光、FVロック、発光色温度情報伝達、オートFPハイスピードシンクロ、ユニファイドフラッシュコントロール

ホワイトバランス

ホワイトバランス	オート（3種）、自然光オート、晴天、曇天、晴天日陰、電球、蛍光灯（7種）、フラッシュ、色温度設定（2500K～10000K）、プリセットマニュアル（6件登録可）、色温度設定以外は微調整可能
----------	--

ブラケティング

ブラケティング	AEブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバランスブラケティング、アクティブD-ライティングブラケティング
---------	---

動画機能

測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、ハイライト重点測光
記録画素数/フレームレート	<ul style="list-style-type: none">• 3840×2160（4K UHD）：30p/25p/24p• 1920×1080：120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p• 1920×1080スロー：30p（4倍）/25p（4倍）/24p（5倍）※ 120p：119.88fps、100p：100fps、60p：59.94fps、50p：50fps、30p：29.97fps、25p：25fps、24p：23.976fps※ 標準/★高画質選択可能（3840×2160、1920×1080 120p/100p、1920×1080スローは★高画質のみ）
ファイル形式	MOV、MP4
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	リニアPCM、AAC

動画機能	
録音装置	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能、マイク感度設定可能、アッテネーター機能
露出補正	P、S、A、M時に設定可能、範囲：±3段、補正ステップ：1/3、1/2ステップに変更可能
ISO感度 (推奨露光指数)	<p>Z7：</p> <ul style="list-style-type: none"> • M：ISO 64～25600（1/3、1/2ステップ）、ISO 25600に対し約0.3、0.5、0.7、1段、2段（ISO 102400相当）の増感、感度自動制御（ISO 64～Hi 2）が可能、制御上限感度が設定可能 • P、S、A：感度自動制御（ISO 64～Hi 2）、制御上限感度が設定可能 • ：感度自動制御（ISO 64～25600） <p>Z6：</p> <ul style="list-style-type: none"> • M：ISO 100～51200（1/3、1/2ステップ）、ISO 51200に対し約0.3、0.5、0.7、1段、2段（ISO 204800相当）の増感、感度自動制御（ISO 100～Hi 2）が可能、制御上限感度が設定可能 • P、S、A：感度自動制御（ISO 100～Hi 2）、制御上限感度が設定可能 • ：感度自動制御（ISO 100～51200）
アクティブ D-ライティング	静止画の設定と同じ、より強め、強め、標準、弱め、しない
その他の機能	タイムラプス動画、電子手ブレ補正、タイムコード、動画Log（N-Log）出力
再生機能	
再生機能	1コマ再生、サムネイル（4、9、72分割）、拡大再生、拡大再生中のトリミング、動画再生、スライドショー（静止画/動画選択再生可能）、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影情報表示、位置情報表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング
インターフェース	
USB	Type-C端子（SuperSpeed USB）（標準装備されたUSBポートへの接続を推奨）
HDMI出力	HDMI端子（Type C）装備
アクセサリ ターミナル	あり（別売リモートコードMC-DC2など使用可能）

インターフェース

外部マイク入力	ステレオミニジャック（φ3.5mm）、プラグインパワーマイク対応
ヘッドホン出力	ステレオミニジャック（φ3.5 mm）

Wi-Fi（無線LAN）・Bluetooth

Wi-Fi	<ul style="list-style-type: none">• 準拠規格：IEEE802.11b/g/n/a/ac• 周波数範囲（中心周波数）：2412～2472 MHz（13ch）、5180～5700MHz• 出力（EIRP）：<ul style="list-style-type: none">- Z 7 7.0 dBm（2.4 GHz） 12.1 dBm（5 GHz）- Z 6 7.4 dBm（2.4 GHz） 12.2 dBm（5 GHz）• 認証方式：オープンシステム、WPA2-PSK
Bluetooth	<ul style="list-style-type: none">• 通信方式：Bluetooth標準規格 Ver.4.2• 周波数範囲（中心周波数）： Bluetooth：2402～2480 MHz Bluetooth Low Energy：2402～2480 MHz• 出力（EIRP）：<ul style="list-style-type: none">- Z 7 Bluetooth：1.5 dBm Bluetooth Low Energy：0 dBm- Z 6 Bluetooth：1.9 dBm Bluetooth Low Energy：0.4 dBm
通信距離（見通し）	約10 m* * 電波干渉がない場合。通信距離は遮蔽物や電波状態などにより影響されます。

電源

使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15b* 1個使用 * EN-EL15bの代わりにEN-EL15c/EN-EL15a/EN-EL15も使えます。EN-EL15a/EN-EL15を使用する場合、EN-EL15bを使用したときよりも撮影可能コマ数（電池寿命）が減少します（□237）。本体充電ACアダプターを使用した充電はEN-EL15c/EN-EL15b使用時のみ可能。
------	--

電源

バッテリーパック	バッテリーパックMB-N10 (別売) : Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15b* 2個使用 ※ EN-EL15bの代わりにEN-EL15c/EN-EL15a/EN-EL15も使えます。EN-EL15a/EN-EL15を使用する場合、EN-EL15bを使用したときよりも撮影可能コマ数(電池寿命)が減少します。
本体充電ACアダプター	本体充電ACアダプター EH-7P (別売)
ACアダプター	ACアダプター EH-5c/EH-5b (パワーコネクター EP-5Bと組み合わせて使用) (別売)

三脚ネジ穴

三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
-------	----------------

寸法・質量

寸法 (W×H×D)	約134×100.5×67.5 mm
質量	約675 g (バッテリーおよびメモリーカードを含む、ポディーキャップを除く)、約585 g (本体のみ)

動作環境

温度	0℃～40℃
湿度	85%以下 (結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格またはガイドラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- カメラに表示されるサンプル画像、および説明書内の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■ バッテリーチャージャー MH-25a

電源	AC 100–240 V、50/60 Hz、0.23–0.12 A
定格入力容量	21–28VA
充電出力	DC 8.4 V、1.2 A
適応充電電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15c/EN-EL15b/ EN-EL15a/EN-EL15
充電時間	約2時間35分 ※ 残量の少ない状態からの充電時間（周囲温度25℃）
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約95×33.5×71 mm（突起部除く）
質量	約115 g（電源プラグ（直付け型）を除く）

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

～ AC（交流）、≡ DC（直流）、 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

■ 本体充電ACアダプター EH-7P（別売）

電源	AC 100–240 V、50/60 Hz、MAX 0.5 A
定格入力容量	40–50VA
定格出力	DC 5.0 V、3.0 A
適応充電電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15c/EN-EL15b
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約65.5×26.5×58.5 mm
質量	約135 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

～ AC（交流）、≡ DC（直流）、 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

■ Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15b

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	7.0 V、1900 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約40×56×20.5 mm
質量	約80 g（端子カバーを除く）

🔪 カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリーカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリーカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。

本製品を譲渡/廃棄する際は、使用者によって本製品内に登録または設定された、無線LAN接続設定などの個人情報を含む内容を、カメラのセットアップメニュー[カメラの初期化]を行って削除してください。

🔪 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

使用説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

🔪 このカメラの準拠規格

- **Design rule for Camera File system (DCF) Version 2.0**：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- **Exif Version 2.31**：(Exif = Exchangeable image file format for digital still cameras)：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- **PictBridge**：デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接印刷するための標準規格です。
- **HDMI (High-Definition Multimedia Interface)**：家庭用電化製品およびAV機器用のマルチメディアインターフェース規格です。1本のケーブルをつなぐだけで、画像、音声、制御信号をHDMI対応機器に送信できます。

🔪 商標説明

- CFexpressは米国およびその他の国におけるCompactFlash Associationの商標です。
- NVMe Expressは米国およびその他の国におけるNVMe Express Inc.の商標です。
- XQDはソニー株式会社の商標です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple®、App Store®、Appleロゴ、iPhone®、iPad®、iPod touch®、Mac、macOSおよびOS Xは米国およびその他の国々で登録された、Apple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社 (<https://www.iphone.co.jp/>) のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。Androidロボットは、Googleが作成および提供している作品から複製または変更したものであり、Creative Commons 3.0 Attributionライセンスに記載された条件に従って使用しています。
- IOSの商標は、米国およびその他の国におけるCiscoのライセンスに基づき使用しています。
- PictBridge は、CIPA（カメラ映像機器工業会）の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

🔪 FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (<https://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

🔪 MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2018 The HarfBuzz Project (<https://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

Unicode® Character Database License (Unicode® Character Database)

本製品のソフトウェアは、オープンソースソフトウェア (Unicode® Character Database) を利用しています。本オープンソースソフトウェアのライセンスは、下記活用ガイド内の「Unicode® Character Database License (Unicode® Character Database)」をご参照ください。

https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/492/Z_7.html

https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/493/Z_6.html

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
- (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<https://www.mpegla.com> をご参照ください。

BSD License (NVM Express Driver)

本カメラのNVM Express制御部分に含まれるオープンソースソフトウェアに適用されるライセンス条件は下記URLをご覧ください。

<https://imaging.nikon.com/support/pdf/LicenseNVMe.pdf>

NIKKOR Z 24-70mm f/4 S使用説明書

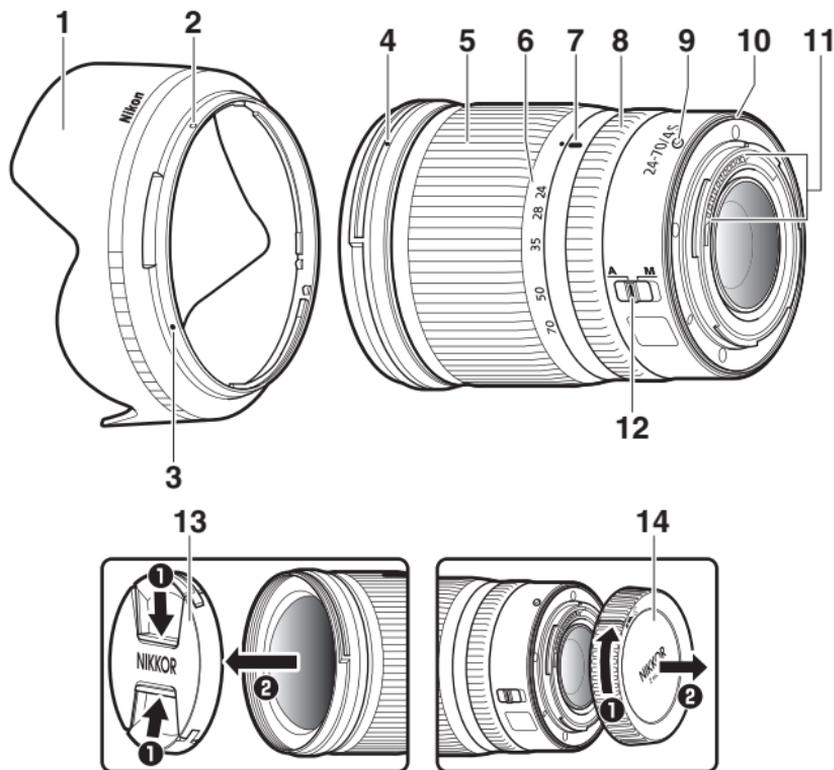
このカメラとNIKKOR Z 24-70mm f/4 Sをレンズキットでご購入の場合は、こちらをレンズの使用説明書としてお使いください。

国または地域によっては、レンズキットを販売していない場合があります。

レンズの使い方

■ 各部の名称と機能

各部の名称と機能は以下の通りです。



1 フード	画像に悪影響を及ぼす光線をカットします。 レンズ面の保護にも役立ちます。
2 フードセット指標	
3 フード取り付け指標	レンズにフードを取り付けるときの指標です。
4 フード着脱指標	レンズにフードを取り付けるときの指標です。
5 ズームリング	回転させるとズームができます。 撮影前にレンズを繰り出してください。
6 焦点距離目盛	
7 焦点距離目盛指標	ズーム時の焦点距離の目安として使用します。
8 コントロールリング	<ul style="list-style-type: none"> • オートフォーカス時：回転させると、カメラで設定した機能を利用することができます。 • マニュアルフォーカス時：回転させると、マニュアルでピント合わせを行うことができます。
9 レンズ着脱指標	カメラにレンズを取り付けるときの指標です。
10 レンズマウントゴムリング	—
11 CPU信号接点	カメラとレンズの間で情報を伝達します。
12 フォーカスモード切り換えスイッチ	[A] を選ぶとオートフォーカスになり、[M] を選ぶとマニュアルフォーカスになります。 カメラのフォーカスモードがマニュアルフォーカスのときは、レンズで [A] を選んでいてもマニュアルフォーカスになります。
13 レンズキャップ	—
14 裏ぶた	—

■ カメラへの取り付け方・取り外し方

取り付け方

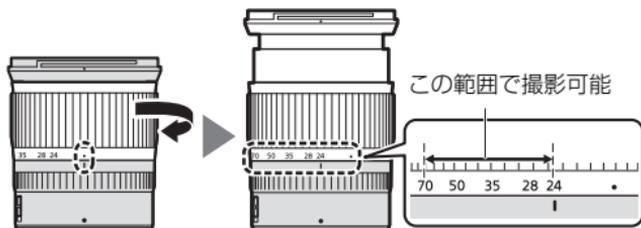
- 1 カメラの電源をOFFにして、レンズの裏ぶたとカメラのボディキャップを外す
- 2 カメラとレンズのレンズ着脱指標を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回す

取り外し方

- 1 カメラの電源をOFFにする
- 2 レンズ取り外しボタンを押しながら、時計回りにレンズを回して取り外す

■ 撮影前の準備

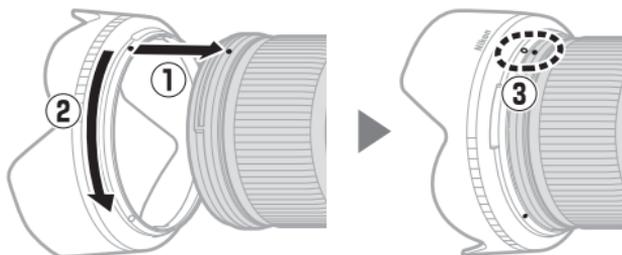
このレンズは沈胴機構を採用しており、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。ズームリングを矢印の方向にカチッと音がするまで回すと、レンズが繰り出します。焦点距離目盛が24–70の範囲内でのみ撮影できます。



- レンズを収納するときは、レンズを繰り出すときと逆の方向に (●) の位置までズームリングを回してください。
- レンズを繰り出さずに電源をONにすると、警告メッセージが表示されます。撮影するときはレンズを繰り出してください。

■ フードの取り付け方・取り外し方

- フード着脱指標 (●) とフード取り付け指標 (●) を合わせて (①)、フードを矢印 (②) の方向に回転させ、フード着脱指標とフードセット指標 (○) を合わせてください (③)。



- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標 (●) 付近を持って回転させてください。
- 取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

■ カメラに取り付けたときのご注意

ピント合わせを行った後に、カメラの電源をOFFにして再びONにするとピント位置が変わることがあります。撮影時に再度ピント合わせを行ってください。ピントをあらかじめ合わせておいて被写体等待置きピン撮影などでは、ピントを合わせてからシャッターをきるまでにカメラの電源をOFFにしないことをおすすめします。

取り扱い上のご注意

- フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- CPU信号接点は汚さないようにご注意ください。
- レンズマウントゴムリングが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- レンズをカメラに装着していないときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを保管するときは、レンズ内部を保護するために太陽光のあたらない所に保管してください。

- レンズを水にぬらすと、部品がサビつくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。
- ストープの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。
- 極端に温度差のある場所に急にレンズを持ち込むと、レンズ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。レンズをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。
- レンズを傷から守るために、持ち運ぶときはレンズケースに入れることをおすすめします。

レンズのお手入れ

- レンズ面を清掃する場合、通常はほこりを払う程度にしてください。
- フッ素コート加工されたレンズ面に指紋など油分を含む汚れがついたときは、柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーでレンズの中心から外周へ渦巻き状に拭いてください。汚れがひどいときは、少量の真水、無水アルコール（エタノール）、または市販のレンズクリーナーで湿らせた柔らかい布を使って軽く拭いてください。フッ素コート加工されたレンズ面は、撥水性、撥油性が高いため、水滴状の拭き残りが生じることがあります。その場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- フッ素コート加工されていないレンズ面に指紋など油分を含む汚れがついたときは、少量の無水アルコール（エタノール）や市販のレンズクリーナーで湿らせた柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ渦巻き状に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐには、別売のニュートラルカラーNCフィルターなどの使用をおすすめします。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

アクセサリ

■ 付属アクセサリ

- 72 mm スプリング式レンズキャップLC-72B
- 裏ぶたLF-N1
- バヨネットフードHB-85
- レンズケースCL-C1

☑ レンズケースのお取り扱いについて

- レンズケースはレンズを傷から守ることを目的としており、落下や衝撃からレンズを保護する機能はありません。
- レンズケースに撥水機能はありません。
- レンズケースは材質の特性上、雨や水などで濡れた場合や摩擦によって、色落ち、変色、色移り、伸縮することがあります。
- ほこりは柔らかいブラシで払い落としてください。
- 表面に付着した汚れや水分は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使わないでください。
- 直射日光が当たる場所や、温度、湿度の高い場所に放置しないでください。
- レンズ面や液晶画面などを拭くクリーニングクロスとしては使用できません。
- レンズを収納して持ち運ぶ際、レンズが転がり出ないようにご注意ください。

レンズケースの素材：ポリエステル

■ 使用できるアクセサリ

72 mm ネジ込み式フィルター

☑ フィルターを使用する場合

- フィルターは1枚で使用してください。
- フィルターは、フードを取り外してから装着してください。また、円偏光フィルターの偏光効果の調節も、フードを取り外した状態で行ってください。

仕様

マウント	ニコンZマウント
焦点距離	24 mm-70mm
最大口径比	1 : 4
レンズ構成	11群14枚 (EDレンズ1枚、ED非球面レンズ1枚、非球面レンズ3枚、ナノクリスタルコートあり、最前面のレンズ面にフッ素コートあり)
画角	• 84°-34° 20' (撮像範囲 FX) • 61°-22° 50' (撮像範囲 DX)
焦点距離目盛	24、28、35、50、70 mm
フォーカシング方式	IF (インターナルフォーカス) 方式
最短撮影距離	撮像面から 0.3m (ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚 (円形絞り)
絞りの範囲	f/4-22
アタッチメントサイズ	72 mm (P=0.75 mm)
寸法	約77.5 mm (最大径) ×88.5 mm (レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時)
質量	約500 g

製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

マウントアダプター FTZ使用説明書

このカメラとマウントアダプター FTZをマウントアダプターキットでご購入の場合は、こちらをマウントアダプターの使用説明書としてお使いください。

- 国または地域によっては、マウントアダプターキットを販売していない場合があります。
- このマウントアダプターをニコン Z マウントのミラーレスカメラに装着すると、ニコン F マウント用の NIKKOR レンズを取り付けることができます。
- このマウントアダプターは、ニコン F マウントのデジタル一眼レフカメラおよびニコン 1 マウントのレンズ交換式デジタルカメラ（Nikon 1）に装着することはできません。
- このマウントアダプターに 1 ニッコールレンズを取り付けることはできません。
- お使いのレンズによっては、オートフォーカスなどカメラの機能に制限が生じる場合があります。

ヒント：使用できる F マウントレンズについて

マウントアダプター FTZ に装着して Z マウント用カメラで使用できる F マウントレンズの詳細な情報については、「使用できる F マウントレンズについて」をご覧ください。「使用できる F マウントレンズについて」はニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

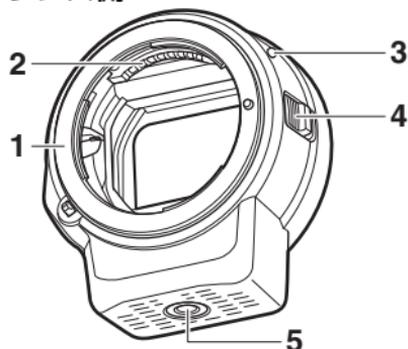
<https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/491/FTZ.html>



マウントアダプターの使い方

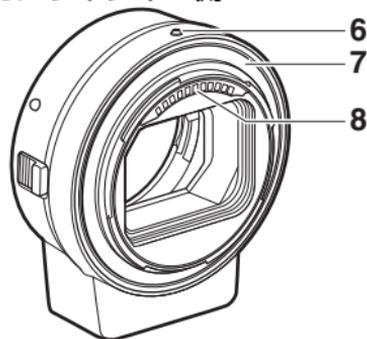
■ 各部の名称

レンズ側



- 1 ニコンFマウント面
- 2 レンズ信号接点
- 3 レンズ取り付け指標
- 4 レンズ取り外しレバー
- 5 三脚用ネジ穴

カメラボディ側



- 6 カメラ取り付け指標
- 7 ニコンZマウント面
- 8 CPU信号接点

■ 取り付け方・取り外し方

マウントアダプターをカメラに取り付けたり取り外すとき、レンズをマウントアダプターに取り付けたり取り外すときは、ほこりなどがそれぞれの内部に入らないように注意してください。

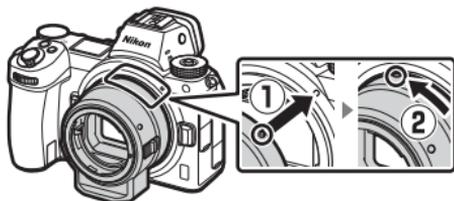
- 取り付け・取り外しは、必ずカメラの電源をOFFにし、直射日光を避けて行ってください。
- レンズを取り付けるときは、マウントアダプターのレンズ取り外しレバーやカメラのレンズ取り外しボタンを押さないようにご注意ください。

取り付け方

1 マウントアダプターからボディーキャップと裏ぶたを、カメラからボディーキャップを取り外す

2 マウントアダプターをカメラに取り付ける

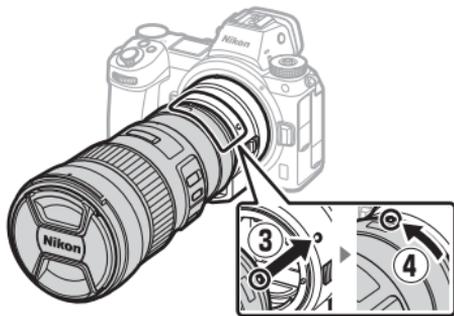
マウントアダプターのカメラ取り付け指標とカメラのレンズ着脱指標を合わせ (①)、反時計回りにカチッと音がするまでマウントアダプターを回します (②)。



3 レンズの裏ぶたを取り外す

4 マウントアダプターにレンズを取り付ける

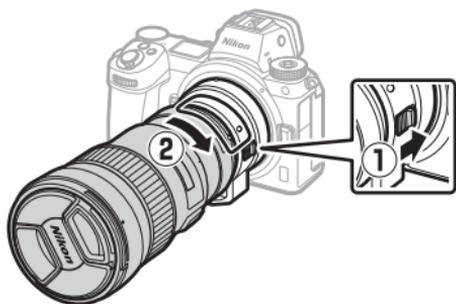
マウントアダプターのレンズ取り付け指標とレンズのレンズ着脱指標を合わせ (③)、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回します (④)。



取り外し方

1 マウントアダプターからレンズを取り外す

- マウントアダプターのレンズ取り外しレバーを押しながら (①)、時計回りにレンズを回して取り外します (②)。
- 取り外したレンズには、レンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。



2 マウントアダプターをカメラから取り外す

- カメラのレンズ取り外しボタンを押しながら (③)、時計回りにマウントアダプターを回して取り外します (④)。
- 取り外したマウントアダプターには、ボディーキャップと裏ぶたを取り付けてください。また、カメラにボディーキャップを取り付けてください。



✔ 絞りリングのあるCPUレンズについてのご注意

絞りリングのあるCPUレンズをマウントアダプターに取り付ける場合は、最小絞り（最大F値）にしてから取り付けてください。

✔ 使用できないレンズおよびアクセサリ

このマウントアダプターに次のレンズおよびアクセサリは使用できません。無理に装着しようとすると、マウントアダプターやレンズが破損する恐れがありますのでご注意ください。次のレンズ以外でも、個体の状態によっては装着できないことがあります。装着時にきつく感じる場合などは、無理に装着しないでください。

- AI改造をしていないレンズ（AI方式以前の連動爪を使用するタイプ）
- IXニッコール
- AFテレコンバーター TC-16AS
- フォーカシングユニットAU-1を必要とするレンズ（400mm f/4.5、600mm f/5.6、800mm f/8、1200mm f/11）
- フィッシュアイ（6mm f/5.6、7.5mm f/5.6、8mm f/8、OP10mm f/5.6）
- 2.1cm f/4
- K2リング
- ED 180–600mm f/8（製品No.174041～174180）
- ED 360–1200mm f/11（製品 No.174031～174127）
- 200–600mm f/9.5（製品 No.280001～300490）
- F3AF用（AF 80mm f/2.8、AF ED 200mm f/3.5、テレコンバーター TC-16S）
- PC 28mm f/4（製品 No.180900以前の製品）
- PC 35mm f/2.8（製品 No.851001～906200）
- 旧PC 35mm f/3.5
- 旧レフレックス1000mm f/6.3
- NIKKOR-H Auto 2.8cm f/3.5（28mm f/3.5）（No.361999以前の製品）
- NIKKOR-S Auto 3.5cm f/2.8（35mm f/2.8）（No.927999以前の製品）
- NIKKOR-S Auto 5cm f/2（50mm f/2）
- NIKKOR-Q Auto 13.5cm f/3.5（135mm f/3.5）（No.752999以前の製品）
- Micro-NIKKOR 5.5cm f/3.5
- Medical-NIKKOR Auto 200mm f/5.6
- Auto NIKKOR Telephoto-Zoom 85–250mm f/4–4.5
- Auto NIKKOR Telephoto-Zoom 200–600mm f/9.5–10.5

撮影時のご注意

- このマウントアダプターとFマウント用NIKKORレンズを使ってオートフォーカスで撮影するときは、ピントが甘くなることがあります。ピントを合わせにくいときは、カメラのAFエリアモードをシングルポイントAFに設定し、中央のフォーカスポイントでピント合わせを行うか、マニュアルフォーカスでピント合わせを行って撮影してください。
- お使いのレンズによっては、カメラの手ブレ補正機能が有効のときに、画像周辺部に減光やケラレが生じたり、手ブレ補正の効果が充分に得られない場合があります。

取り扱い上のご注意

- 質量が1300gを超えるレンズをカメラに装着した状態で、カメラだけを持ったり、カメラのストラップを使ったりしないでください。カメラのマウント部分が破損するおそれがありますので、必ずレンズを持ってください。
- マウントアダプターには三脚用ネジ穴がありますが、三脚座のある望遠レンズをお使いの場合は、レンズの三脚座に三脚を取り付けてください。
- CPU信号接点、レンズ信号接点は汚さないようにご注意ください。
- マウントアダプターを水にぬらすと、部品がサビつくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。
- ストープの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

マウントアダプターのお手入れ

- マウントアダプターの内部に触らないでください。ゴミやほこりがついた場合は、ブローアードで吹き払うか、柔らかい刷毛で払うようにし、内部をこすらないでください。
- マウントアダプターのお手入れの際は、ブローアードでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- マウントアダプターを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

アクセサリー

■ 付属アクセサリー

- ボディーキャップBF-1B
- 裏ぶたLF-N1

仕様

型式	マウントアダプター
対応カメラ	ニコンZマウントのミラーレスカメラ
寸法	約70 mm（最大径、突起部除く）×80 mm
質量	約140 g

製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

使用できるメモリーカード

- このカメラはXQDカードおよびCFexpressカード (Type B) を使用できます。
- 動画撮影には、最大 45MB/s (300 倍速) 以上の転送速度を持つメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の記録が途中で終了することがあります。また、カメラでの動画再生がスムーズに行われないことや途中で終了することがあります。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、メモリーカードメーカーにご相談ください。

記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数

画質モード（□106）、画像サイズ（□107）の組み合わせによって、[撮像範囲設定]が[FX (36×24)]の場合に64GBのメモリーカードに記録できるコマ数、および連続撮影できるコマ数は、次のようになります*1。ただし、カードの種類や撮影条件によって、コマ数は増減することがあります。

Z7:

画質モード	画像サイズ	1コマあたりのファイルサイズ*2	記録可能コマ数*2	連続撮影可能コマ数*2, 3
RAW (ロスレス圧縮RAW/ 12ビット記録)	L	約44.7 MB	748コマ	23コマ
	M	約31.5 MB	1000コマ	19コマ
	S	約24.5 MB	1400コマ	19コマ
RAW (ロスレス圧縮RAW/ 14ビット記録)	L	約55.8 MB	654コマ	19コマ
RAW (圧縮RAW/ 12ビット記録)	L	約40.7 MB	1000コマ	23コマ
RAW (圧縮RAW/ 14ビット記録)	L	約49.4 MB	845コマ	19コマ
RAW (非圧縮RAW/ 12ビット記録)	L	約74.1 MB	748コマ	23コマ
RAW (非圧縮RAW/ 14ビット記録)	L	約85.1 MB	654コマ	18コマ
TIFF (RGB)	L	約134.6 MB	412コマ	21コマ
	M	約76.5 MB	723コマ	22コマ
	S	約34.8 MB	1500コマ	25コマ
FINE*4	L	約17.2 MB	1900コマ	25コマ
	M	約11.7 MB	3200コマ	25コマ
	S	約6.8 MB	6500コマ	25コマ
NORMAL*4	L	約11.8 MB	3700コマ	25コマ
	M	約7.0 MB	6400コマ	25コマ
	S	約3.5 MB	12700コマ	25コマ
BASIC*4	L	約3.8 MB	7500コマ	25コマ
	M	約2.6 MB	12300コマ	25コマ
	S	約1.6 MB	24100コマ	25コマ

Z6:

画質モード	画像サイズ	1コマあたりのファイルサイズ※2	記録可能コマ数※2	連続撮影可能コマ数※2、3
RAW (ロスレス圧縮RAW/ 12ビット記録)	L	約22.5 MB	1300コマ	35コマ
	M	約16.1 MB	1900コマ	26コマ
	S	約12.7 MB	2500コマ	26コマ
RAW (ロスレス圧縮RAW/ 14ビット記録)	L	約28.2 MB	1100コマ	43コマ
RAW (圧縮RAW/ 12ビット記録)	L	約20.4 MB	1800コマ	37コマ
RAW (圧縮RAW/ 14ビット記録)	L	約24.8 MB	1500コマ	43コマ
RAW (非圧縮RAW/ 12ビット記録)	L	約38.5 MB	1300コマ	33コマ
RAW (非圧縮RAW/ 14ビット記録)	L	約44.1 MB	1100コマ	34コマ
TIFF (RGB)	L	約69.3 MB	759コマ	27コマ
	M	約39.5 MB	1300コマ	31コマ
	S	約18.4 MB	2800コマ	35コマ
FINE※4	L	約9.4 MB	3400コマ	44コマ
	M	約6.6 MB	5600コマ	50コマ
	S	約4.0 MB	10400コマ	51コマ
NORMAL※4	L	約6.4 MB	6700コマ	44コマ
	M	約3.9 MB	10900コマ	50コマ
	S	約2.1 MB	19900コマ	51コマ
BASIC※4	L	約2.3 MB	13000コマ	46コマ
	M	約1.7 MB	20800コマ	50コマ
	S	約1.2 MB	35200コマ	50コマ

※1 SONY QD-G64Eのメモリーカードを使用した場合 (2018年7月現在)

※2 数値は全ておおよその目安です。撮影条件により、ファイルサイズ、連続撮影可能コマ数、および記録可能コマ数は増減することがあります。

※3 ISO感度がISO 100の場合の、連続撮影速度を維持して撮影できるコマ数です。次のような場合などには、連続撮影可能コマ数は減少します。

- [画質モード] で画質を優先した ([★] が付いた) 項目に設定してJPEG画像を撮影した場合
- [自動ゆがみ補正] を [する] に設定した場合

※4 1コマあたりのファイルサイズおよび記録可能コマ数は、[画質モード] でサイズを優先した ([★] が付いていない) 項目に設定されている場合です。画質を優先した ([★] が付いた) 項目に設定した場合、記録可能コマ数は減少します。

撮影可能コマ数（電池寿命）について

■ 静止画モード：撮影可能コマ数※1

- モニターモード [ファインダーのみ] 時：約330枚（Z 6は約310枚）
- モニターモード [モニターのみ] 時：約400枚（Z 6は約380枚）

■ 動画モード：動画撮影可能時間※2

- モニターモード [ファインダーのみ] 時：約85分
- モニターモード [モニターのみ] 時：約85分

※1 CIPA（カメラ映像機器工業会）基準準拠。初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影する。装着レンズNIKKOR Z 24-70mm f/4 S、温度23（±2）℃。SONY QD-G64Eのメモリーカードを使用した場合（2018年7月現在）。

※2 電池寿命測定方法を定めたCIPA規格による実撮影電池寿命。装着レンズNIKKOR Z 24-70mm f/4 S、温度23（±2）℃。SONY QD-G64Eのメモリーカードを使用した場合（2018年7月現在）。カメラは初期設定状態。

- 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は29分59秒です。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。

※ Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15b 使用時の電池寿命です。EN-EL15b の代わりにEN-EL15c/EN-EL15a/EN-EL15 も使えます。EN-EL15a/EN-EL15を使用する場合、EN-EL15bを使用したときよりも撮影可能コマ数（電池寿命）が減少します。

※ バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって電池寿命は異なります。

次の場合などは、バッテリーの消耗が早くなります。

- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- BluetoothおよびWi-Fi（無線LAN）機能を使用した場合
- アクセサリーを装着して使用した場合
- レンズ使用時にズーム操作を繰り返した場合

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15bの性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、十分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

Wi-Fi (無線LAN) 機能/ Bluetooth機能について

●電波に係わるご注意

- 本製品はWi-Fi (無線LAN) およびBluetooth機能を搭載しています。国や地域によって、法律によりWi-Fi (無線LAN) およびBluetooth機能が使用できない場合があります。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載のニコン カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- この機器は、電波法に基づく認証を受けており、機器に添付されている以外の証明ラベルは次の通りです。

2.4 DS2/OF1

Wi-Fi (無線LAN) 機能 : 2.4DS2/OF1

本製品の使用周波数は2.4 GHz 帯、変調方式はDS-SS、OFDM、与干渉距離は約10mです。

2.4 FH2/XX1

Bluetooth機能 : 2.4FH2/XX1

本製品の使用周波数は2.4 GHz 帯、変調方式はFH-SS、その他の方式、与干渉距離は約10mです。

ご使用時の注意

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯 (W52/W53/W56) の3種類の帯域を使用することができます。5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN (W52/W53) の屋外使用は電波法で禁止されています。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しているか、画面で確認ができます。以下の行為は法令で罰せられることがあります。
 - 無線設備のある製品の分解/改造
 - 無線設備のある製品から証明ラベルをはがす

- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。

- 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- アマチュア無線局（免許を要する無線局）

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiアクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書の裏表紙に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）およびBluetooth機器としてお使いください。

Wi-FiおよびBluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi および Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

●セキュリティについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの個人情報漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様上、特殊な方法によりセキュリティが破られることもありますので、ご理解の上で使用ください。
- スマートフォンに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

●本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations (EAR) を含む米国内閣令の対象です。EAR の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア：変更される可能性があります）以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許可は不要です。

●個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線 LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡 / 廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi 接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー [カメラの初期化] で工場出荷時の設定にリセットしてください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

🔍 認証マークの表示

セットアップメニューの [認証マークの表示] では、このカメラが取得している認証マークの一部を確認できます。

索引

マーク・英数字

- AUTO** (オート).....41, 45
P (プログラムオート).....72
S (シャッター優先オート).....72
A (絞り優先オート).....73
M (マニュアル).....74
U1、U2、U3
(ユーザーセッティングモード).....76
[S] (1コマ撮影).....86, 89
[L] (低速連続撮影).....86
[H] (高速連続撮影).....86
[H⁺] (高速連続撮影 (拡張)).....87
[T] (セルフタイマー).....87
[C] (連続撮影).....89
[S] (サイレント撮影).....67
[Pi] (ピンポイントAF).....54
[A] (シングルポイントAF).....54
[D] (ダイナミックAF).....55
[Wide S] (ワイドエリアAF (S)).....55
[Wide L] (ワイドエリアAF (L)).....55
[A] (オートエリアAF).....55
[M] (マルチパターン測光).....109
[C] (中央部重点測光).....109
[S] (スポット測光).....109
[A*] (ハイライト重点測光).....109
MENU ボタン.....17
i ボタン.....21, 95
[P] ボタン.....49
[B] ボタン.....51
ISO ボタン.....81
[E] (露出補正) ボタン.....84
[R] (レリーズモード) ボタン.....86
[T] (セルフタイマー) ボタン.....86
[H] (ヘルプあり表示).....20
i メニュー.....21, 95
[i] メニューのカスタマイズ.....22
1コマ撮影.....86, 89
ACアダプター.....194
AEロック.....92
AF-C (コンティニューアスAF).....53
AF-F (フルタイムAF).....53
AF-ON ボタン.....16
AF-S (シングルAF).....52
AFエリアモード.....54
AF点数.....56
Creative Picture Control
(クリエイティブピクチャー
コントロール).....97
DISP ボタン.....15
Fn1 ボタン.....24, 63
Fn2 ボタン.....24, 52
Hi (ISO).....82
ISO感度.....81
ISO感度設定.....83
Li-ionリチャージャブルバッテリー
.....28
Lo (ISO).....82
MF (マニュアルフォーカス).....53
USBケーブル.....ii
Wi-Fi通信機能.....110, 121

ア

- 赤目軽減発光.....108
明るさ (ピクチャーコントロール)
.....99
アクティブD-ライティング.....111, 121
後幕発光.....108
イメージセンサークリーニング.....197

色合い (色相) (ピクチャー コントロール).....	99
色温度.....	66, 102
色温度設定 (ホワイトバランス).....	65
色の濃さ (彩度) (ピクチャー コントロール).....	99
オート (ピクチャーコントロール)	96
オート (ホワイトバランス).....	64
オートエリアAF.....	55

カ

顔認識AF.....	57
画質モード.....	106
カスタムメニュー.....	141
画像サイズ.....	107
画像サイズ/フレームレート.....	116
画像編集メニュー.....	156
感度自動制御機能.....	83
距離基準マーク.....	62
記録可能コマ数.....	235
クイックシャープ (ピクチャー コントロール).....	99
蛍光灯 (ホワイトバランス).....	64
高感度.....	82
高速連続撮影.....	86
高速連続撮影 (拡張).....	87
コマンドダイヤル.....	17
コンティニューAF.....	53
コントラスト (ピクチャー コントロール).....	99
コントロールリング.....	61

サ

最近設定した項目.....	158
再生メニュー.....	125
サイレント撮影.....	67

削除.....	51
撮影モードダイヤル.....	41, 71
撮影モードダイヤルロックボタン.....	71
撮像範囲設定.....	120
サブコマンドダイヤル.....	17
サブセレクター.....	16, 91
自然光オート (ホワイトバランス)	64
視度調節ノブ.....	8
絞り値.....	73, 74
絞り優先オート.....	73
シャッタースピード.....	72, 74
シャッター優先オート.....	72
シングルAF.....	52
シングルポイントAF.....	54
水準器.....	15, 16
スタンダード (ピクチャー コントロール).....	96
スポット測光.....	109
スローシャッター.....	108
スローモーション動画.....	118
静止画/動画切り換えレバー.....	41, 45
静止画撮影メニュー.....	127
晴天 (ホワイトバランス).....	64
晴天日陰 (ホワイトバランス).....	64
セットアップメニュー.....	150
セルフタイマー.....	87, 90
全押し (シャッターボタン).....	44
測光モード.....	109, 121

タ

ターゲット追尾AF.....	59
ダイナミックAF.....	55
タイム撮影.....	79
タッチシャッター.....	60
タッチパネル.....	10
地域と日時.....	37
チャージャー.....	28

中央部重点測光.....	109
長時間露出.....	79
調色 (ピクチャーコントロール).....	99
通常発光.....	108
低感度.....	82
低速連続撮影.....	86
適用度 (ピクチャーコントロール)	99
手ブレ補正.....	113, 122
電球 (ホワイトバランス).....	64
電子手ブレ補正.....	122
動画撮影ボタン.....	46
動画撮影メニュー.....	135
動画の画質.....	116
動物瞳AF/顔認識AF.....	58
曇天 (ホワイトバランス).....	64

ナ

内蔵マイク.....	46
日付と時刻を設定する.....	37
ニュートラル (ピクチャー コントロール).....	96

ハ

ハイライト重点測光.....	109
発光禁止.....	108
バッテリー.....	28, 31
バッテリーチャージャー.....	28
バルブ撮影.....	79
パワーオフ時間.....	44
パワーコネクタ.....	194
半押し (シャッターボタン).....	43
半押しタイマー.....	44
ピーキング表示 (フォーカスピーキング).....	62
ピクチャーコントロール.....	96, 116
ヒストグラム.....	15, 16

瞳AF.....	57
ピビッド (ピクチャー コントロール).....	97
ピント表示.....	61
ピンポイントAF.....	54
ファインダー.....	8
フィルター効果 (ピクチャー コントロール).....	99
風景 (ピクチャーコントロール).....	97
フォーカスモード.....	52
フォーカスリング.....	61
フォーカスロック.....	92
フラッシュ (ホワイトバランス).....	64
フラッシュモード.....	108
フラット (ピクチャー コントロール).....	97
フランジバック.....	62
プリセットマニュアル (ホワイトバランス).....	65, 103
フルタイムAF.....	53
プログラムオート.....	72
プログラムシフト.....	72
プロテクト.....	70
ポートレート (ピクチャー コントロール).....	97
ホワイトバランス.....	63, 100
本体充電ACアダプター.....	29

マ

マイク感度.....	119
マイメニュー.....	158
マウントアダプター.....	227
マニュアル (撮影モード).....	74
マニュアルフォーカス.....	53, 61
マルチパターン測光.....	109
ミドルレンジシャープ (ピクチャーコントロール).....	99

明瞭度 (ピクチャーコントロール)	99
メインコマンドダイヤル	17
メモリーカード	31, 234
モニターモード切り換えボタン	8
モノクローム (ピクチャー コントロール)	97

ヤ

ユーザーセッティングの登録	76
ユーザーセッティングのリセット	78
ユーザーセッティングモード	76

ラ

輪郭強調 (ピクチャー コントロール)	99
レーティング	69
レリーズモード	86, 112
レンズの取り付け	35
レンズの取り外し	36
連続撮影	89
連続撮影可能コマ数	88
露出インジケーター	75
露出補正	84

ワ

ワイドエリアAF (L)	55
ワイドエリアAF (S)	55



A series of horizontal lines for writing, starting from the top of the page and extending to the bottom. A solid black rectangular bar is positioned on the left side of the page, partially overlapping the first few lines.



A series of horizontal lines for writing, with a dark grey rectangular block on the left side.

修理サービスのご案内

■修理のご依頼

ニコンサービス機関（修理センター、ニコンプラザサービスセンター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

※修理品をお預けいただく場合のご注意

- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けください。
- 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。

■インターネットでのお申込み

<https://www.nikon-image.com/support/repair/>

■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター



修理センター ナビダイヤル

0570-02-8200

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを除く毎日)

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター(03) 6702-0577 におかけください。
- 最新情報につきましては、下記のホームページをご覧ください。
<https://www.nikon-image.com/support/repair/>

■ニコンピックアップサービス

修理品梱包用資材のお届けから修理が完了した製品のご返送までをセットにしたサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。



ニコンピックアップサービス専用 フリーダイヤル

0120-02-8155

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを除く毎日)

- ※ 上記フリーダイヤルは、修理のお申込み専用です。修理内容に関するお問い合わせは、修理センターへ、製品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターへお願いいたします。

補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品（機能維持に必要な部品）の保有期間内を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っていきます。



ニコンプラザショールーム ナビダイヤル

0570-02-8080



ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル

0570-02-8060

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

ニコンプラザについては、当社ホームページの下記URLをご覧ください。

<https://www.nikon-image.com/support/showroom/>



ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内



<https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/>

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。「ニコンイメージング会員のご案内」ページからお手続きいただけます。

ニコンイメージング会員とは登録製品に関するサポート情報や、お得で便利な会員特典*などフォトライフをよりお楽しみいただくための会員サービスです。この機会にぜひご登録ください。

*特典は登録製品ごとに異なります。

ニコンイメージングサポートページのご案内



<https://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧ください。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

製品の使い方に関するお問い合わせ先

<https://www.nikon-image.com/support/contact/>



ニコン カスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

営業時間：9：30～18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを除く毎日）

- ・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。
- ・ファクシミリは、（03）5977-7499 にお送りください。
- ・最新情報につきましては、下記のホームページをご覧ください。
<https://www.nikon-image.com/support/contact/>

お問い合わせ時のお願い

- ・おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象（表示されたメッセージ）」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

Printed in Thailand